

教職員のための指導資料

「性に関する指導」

令和4年3月

山形県学校保健連合会
山形県教育委員会

発刊にあたって

近年、社会環境や生活環境の急激な変化により、生活習慣の乱れによる肥満や生活習慣病、アレルギー疾患、新興感染症、喫煙・飲酒、薬物乱用、性の逸脱行動など、子どもたちの健康課題は複雑化・困難化・多様化しています。また、これらの現代的な健康課題に対応するため、学校保健に大きな期待が寄せられております。

子どもたちが成長し、社会の一員としてよりよく生き抜くためには、確かな学力をはじめ、主体的に学び行動する力や、多様性を尊重し他者と協働しながら新たな価値を生み出していく力、それらの力の発揮の前提となる健康でたくましい身体の育成が必要です。そのために、性に関する指導も学校の教育活動の中にしっかりと位置づけて実施することにより、時代の変化に柔軟に対応し、困難を乗り越えられる確かな力を身に付けることができるものと考えます。

このような観点に立ち、この度、県教育委員会と共に「教職員のための指導資料 性に関する指導」を発刊する運びとなりました。

山形の未来を切り拓く子どもたちを育てるために教師用の指導資料として大いに活用され、心身ともに健康でたくましい生徒の育成に役立てていただくことを期待します。

最後に、本書の作成にあたりお力添えをいただきました作業部会の皆様方及び関係者の方々に心から感謝申し上げます、発刊の挨拶といたします。

令和4年3月

山形県学校保健連合会
会 長 中目 千之

はじめに

学校教育においては、何よりも子どもたちの心身の調和的発達を重視する必要があり、子どもたちの心身の成長発達について正しく理解することが不可欠です。

しかし、近年、スマートフォンやタブレットなどの普及に伴う性に関する情報の氾濫、性被害や若年層の妊娠、そして性の多様化等、性・いのちに関する諸問題が懸念されるなど、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化してきています。

こうした状況の中、子どもたちが性に関して適切に理解し、正しい情報を収集・選択し、意思決定や行動選択ができるようになることが重要です。

本県における性に関する指導は、学校全体で共通理解を図りつつ、体育科、保健体育科や特別活動などにおいて学習内容を関連付け、計画的・組織的に教育活動全体を通じて行われております。その際、教科書や県が作成した「性といのちの学習」の手引きを用いて実施してきましたが、さらに、学習指導要領の改訂を受け、現代の性に関する諸問題にも対応できるよう、この度、新たに、教職員のための指導資料「性に関する指導」を作成いたしました。

本資料は、各学校の実態に即した指導に活かすことができるよう、小・中・高・特別支援学校の発達段階に応じた指導内容や指導方法を数多く掲載したものとなっております。未来を切り拓く心身ともに健康で、たくましい子どももの育成に向けて、すべての学校で効果的に活用いただき、さらなる性に関する指導の推進が図られることを期待いたします。

終わりに、教職員のための本指導資料の作成にあたり、ご協力いただきました山形県医師会、性に関する指導資料作業部会の皆様をはじめ、各学校並びに関係の方々には心より感謝申し上げます。

令和4年3月

山形県教育委員会
教育長 菅間 裕晃

目 次

発刊にあたって

はじめに

第1章 指導編	1
1 山形県における「いのちの教育」と「性に関する指導」	2
2 学校における「性に関する指導」の基本的な考え方・進め方	4
3 保健教育のあり方と「性に関する指導」の進め方	6
4 学校・家庭・地域社会、関係機関との連携について	13
5 特別な支援を要する児童生徒への指導について	17
第2章 実践編<具体的な指導例>	21
1 小学校編(指導計画例)	22
(1) 体育科 保健領域	
4年 体の成長とわたし	23
(2) 特別活動	
1年 たいせつなからだ、おへそのひみつ	26
2年 おなかの中のわたし	30
3年 男らしさ・女らしさって何?	33
4年 命の誕生、いのちのつながり	35
5年 性被害の防止～SNSの危険～、自分をみつめる	40
6年 自分らしく生きる	45
コラム【多様な性から多様性を学ぶ】	49
2 中学校編(指導計画例)	50
(1) 保健体育科 保健分野	
3年 感染症の予防	51
(2) 特別活動	
1年 思春期の不安や悩みの解消	54
2年 性情報への対応、性犯罪被害・加害の防止	58
3 高等学校編(指導計画例)	62
(1) 保健体育科 科目保健	
2年 生涯を通じる健康	63
(2) 特別活動	
2年 自分らしく生きる	67
3年 性行動と責任	69
コラム【子どもの性被害を防ぐために必要なこと】	72
4 特別支援学校編(指導計画例)	73
(1) 特別活動	
小学部 知っておこう プライベートゾーン	75
高等部 すてきな恋愛をするためのマナー	77
第3章 資料編	81
1 学習指導要領について(小、中、高)	82
2 性感染症・人工妊娠中絶の実態について	89
3 発達段階の理解	92
4 性に関する相談窓口一覧、「性に関する指導」協力団体一覧	95
奥付(執筆協力者一覧)	

第1章 指導編

- 1 山形県における「いのちの教育」と「性に関する指導」
- 2 学校における「性に関する指導」の基本的な考え方・進め方
- 3 保健教育のあり方と「性に関する指導」の進め方
- 4 学校・家庭・地域社会、関係機関との連携について
- 5 特別な支援を要する児童生徒への指導について

(3) いのちをつなぐ「性」について考える

私たちが今、生きていることは、長い人類の歴史の中で、「結婚・誕生・成長」のサイクルが繰り返されていて、いのちがつながってきたという証であり、親としてしっかりと子どもを育て、未来へといのちをつないでいくことは尊いことです。そのいのちの尊厳を見つめることが自分自身の生き方を確かなものにしていきます。

人間の成長過程で、性にかかわって、特に重要な二つの時期があります。それは、男女の体のちがいを不思議に思い始める「幼児期」と、性機能の発達に体が現れ、性意識に目覚める「思春期」です。特に、思春期は、心が不安定になる時期でもあり、周りの大人のしっかりとした導きと支えが必要になります。

今日、インターネット等の急激な広がりとともに、有害で危険なものも含めた性情報があふれ、それらに影響を受けて自分を見失ったり、犯罪に巻き込まれたりして、心や体に深い傷を負ってしまう子どもたちも増えています。このような状況を踏まえ、家庭と学校が力を合わせて、これらの危険から子どもたちを守る取り組みを進めていく必要があります。そして、相手を思いやること、自らの衝動をコントロールしていくこと、結果を予測して危険から身を遠ざけることなどの、道徳性や自立心を高めることが求められています。

また、子供たちの心身の成長・発達に十分配慮しながら、性に関する正しい知識を段階的に教えていくことが求められています。特に、妊娠中絶や性感染症については、事前に回避できるようにしなければなりません。

自らの心や体に傷を負ったり、相手に負わせてしまったりすることなく、お互いが「かけがえのないいのち」であることを認め、生きる喜びを実感することができるような「性に関する指導」を進めていくことが重要です。

「いのちの教育」の指針より
山形県教育委員会

2 学校における「性に関する指導」の基本的な考え方・進め方

学習指導要領と「性に関する指導」

平成28年12月の中央教育審議会答申では、(健康、安全、食に関する資質・能力)において学校における性に関する指導に関連して、次のことが示されました。

- ①情報化社会の進展により、様々な健康情報や性・薬物等に関する情報の入手が容易になるなど、子供たちを取り巻く環境が大きく変化している。子供たちが、健康情報や性に関する情報等を正しく選択して適切に行動できるようにするとともに、薬物乱用防止等を徹底することが課題となっている。
- ②生涯にわたって健康で安全な生活や健全な食生活を送ることができるよう、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行うことができる力を子供たち一人一人に育むことが強く求められている。
- ③教科横断的な視点で育むことができるよう、教科等間相互の連携を図っていくことが重要である。

このように、学校における性に関する指導は、情報化社会の進展により、性情報の氾濫など、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化してきており、生涯にわたって健康で安全な生活を送るためにも、子どもたちが性に関して適切に理解し、正しい情報を収集・選択し、適切な行動選択ができる力を育むことが重要になってきます。

また、体育科・保健体育科、家庭科や特別活動の時間はもとより、各教科でそれぞれの特性に応じて、連携を図りながら適切に行うことに留意する必要があります。

学習指導要領の「性に関する指導」の主な内容について次のように整理しました。性を含めた健康に関する指導は、児童・生徒の実態や課題に応じて、教育活動全体を通じた各教科等において、関連付けて指導することになっています。(詳細は資料編を参照)

体育・保健体育

小学校(第4学年)	(2)体の発育・発達	(イ)思春期の体の変化
中学校(第1・3学年)	(1)健康な生活と疾病の予防	(オ)感染症の予防
	(2)心身の機能の発達と心の健康	(イ)生殖に関わる機能の成熟
高等学校	(1)現代社会と健康	(イ)現代の感染症とその予防
	(2)生涯を通じる健康	(ア)生涯の各段階における健康

特別活動

小学校	学級活動	(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	ウ：心身ともに健康で安全な生活態度の形成
中学校	学級活動	(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	イ：男女相互の理解と協力 ウ：思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
高等学校	ホームルーム活動	(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	イ：男女相互の理解と協力 オ：生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

性に関する現代的課題としては、性感染症、人工妊娠中絶、SNSの普及による被害などが挙げられます。これらの課題に適切に対応するためには、それぞれの発達過程や性の意識、性行動、性情報等の実態を把握したうえで、集団または個別の指導を進めていく必要があります。

【性に関する指導に当たっての留意点】

- ① 児童・生徒の発達の段階を踏まえること
- ② 学校全体で共通理解を図ること
- ③ 家庭・地域との連携を推進し保護者や地域の理解を得ること
- ④ 集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うこと

① 児童・生徒の発達の段階を踏まえること

性に関する学習内容は、学習指導要領において、小→中→高と系統性のある内容に明確化されています。よって、児童・生徒の実態を把握し、発達段階を踏まえて指導を行うことが極めて重要であり、それぞれの教科等における性教育に関する指導内容について児童・生徒の発達段階を踏まえたものとなっているかといった観点から体系化を図る必要があります。中学校で教える内容を小学校で教えてしまわないように十分、注意しましょう。

② 学校全体で共通理解を図ること

性に関する指導の全体構想を踏まえ、年間指導計画や単元計画等の立案を通じて、学校の基本方針をはじめ、各教科等の内容を相互に関連付けながら学校の教育活動全体を通じて行うことが必要です。

③ 家庭・地域との連携を推進し保護者や地域の理解を得ること

学校で把握した子どもの性に関する状況、学校としての性に関する指導の目的や目標、指導に当たっての方針や内容などを家庭や保護者に伝え、理解と協力が得られるようにする。さらに、地域の各種の関係機関・団体との連携を深めることも重要です。

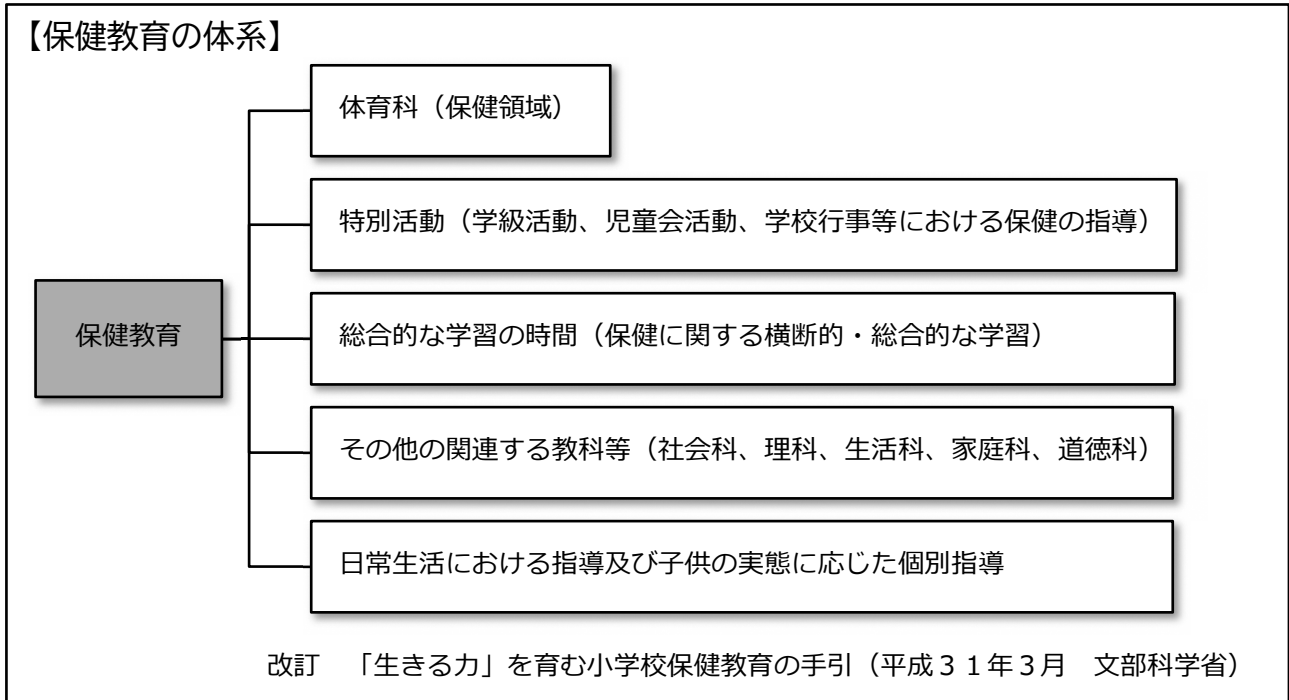
④ 集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うこと

心身の成長には個人差があることから、集団指導で教えるべき内容と個別指導で教えるべき内容を明確にし、それらに関連させて指導することが重要となります。

3 保健教育のあり方と「性に関する指導」の進め方

保健教育は、体育科保健領域、保健体育科保健分野、保健体育科「科目保健」、特別活動、総合的な学習の時間など関連する教科等がそれぞれの特質に応じて行われた上で、相互を関連させて指導していく必要があります。（教科横断的な視点）

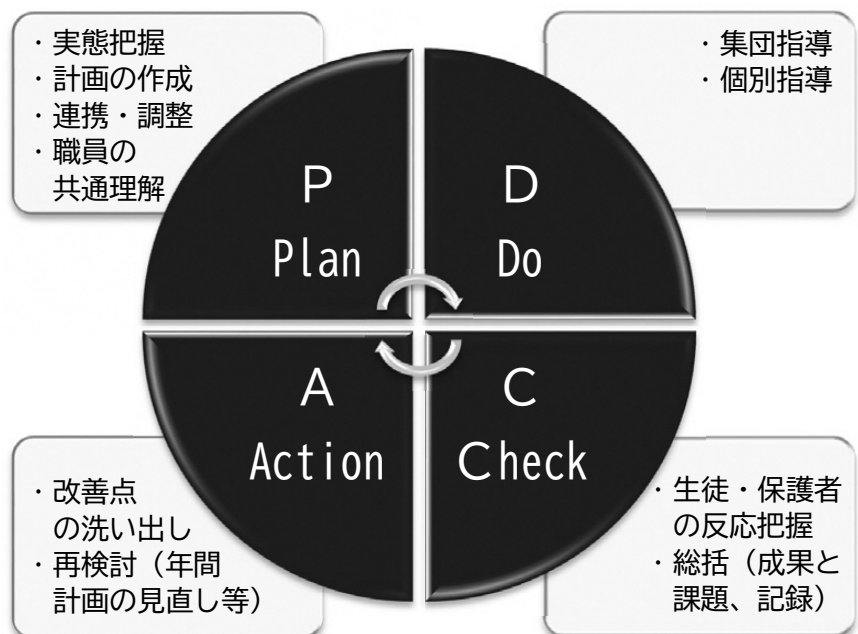
学校における「性に関する指導」は、教育課程において実施されることから、学習指導要領に基づいて行うことが重要です。その指導は、児童生徒が性に関して正しく理解し、適切に行動を取れるようにすることを目的に実施されており、体育科、保健体育科、特別活動をはじめとして、学校教育活動全体を通じて指導することが大切です。指導にあたっては、その発達段階を踏まえることが重要で、集団指導と個別指導によりさらに指導の効果を高めることができます。また、必要に応じ健康相談の対象とすることを考慮しましょう。



【保健教育を効果的に進めるための留意点】

- ①教育課程の編成及び教職員の共通理解
- ②教科等横断的視点に立った各教科等の関連を図った指導
- ③家庭・地域との連携

保健教育に関わる各教科等の年間計画には、評価欄を設けたり、気づいた時点で朱書きにしたりするなどして実践の気づきや課題を書き込み、次年度に活用できるようにし、指導計画をPDCAのマネジメントサイクルに乗せることにより、教職員の保健教育に関する共通理解を深めることができます。



(1) 体育科・保健体育科について

保健における小・中・高の系統性について

小学校体育科領域、中学校保健体育科保健分野、高等学校保健体育科「科目保健」の学習は、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目標として学習指導内容が体系的に位置づけられています。

学習指導要領は、小・中・高それぞれに指導すべき内容を指導すべき時期に指導することを示しており、その系統性を理解した上で指導にあたるのが、「発達の段階を踏まえた指導」につながります。

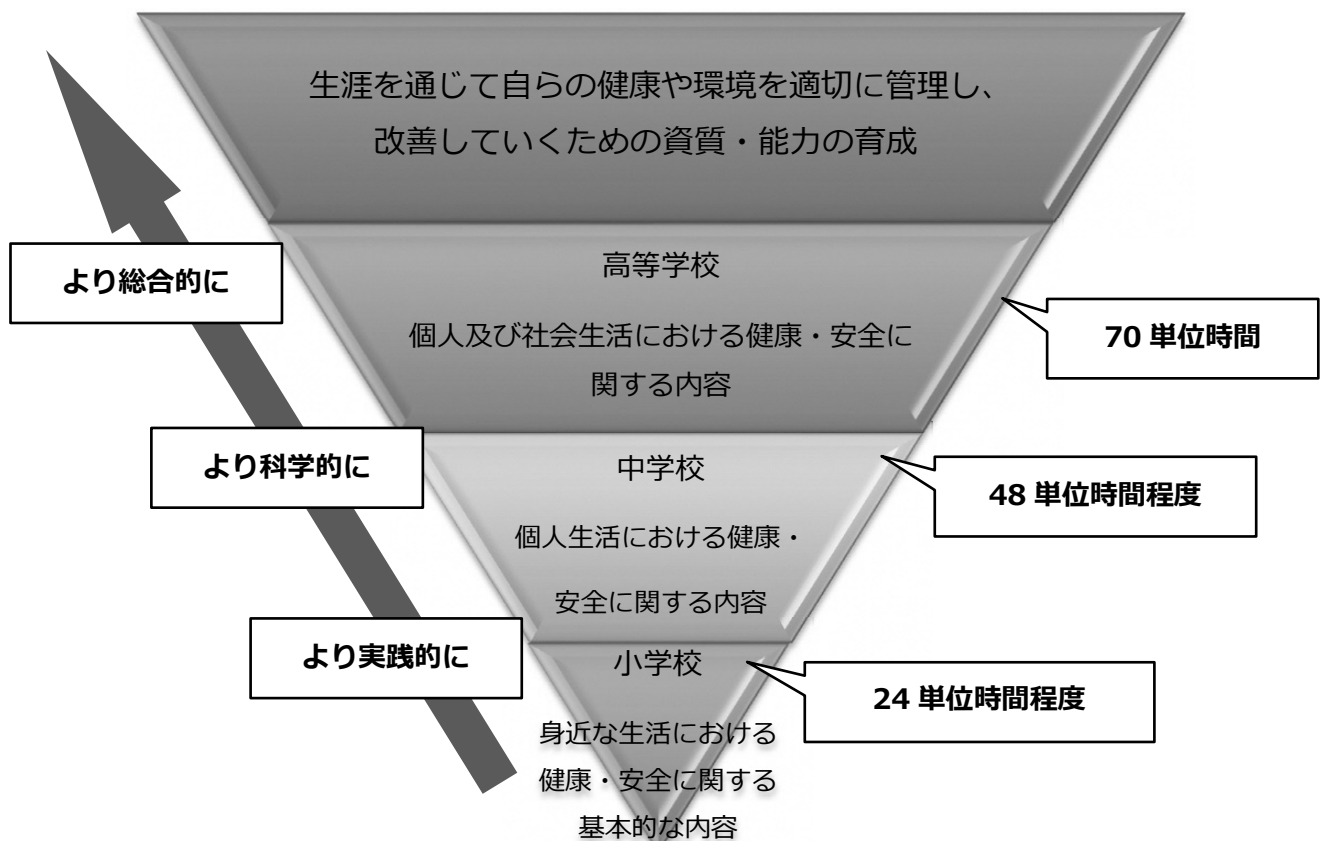
【各校種における保健・保健体育の目標】

小学校：身近な生活における自己の健康課題を見付け、その課題解決に向けて自ら取り組み、思考・判断したことを表現するとともに、健康な家庭や学校づくりに貢献するための資質・能力の基礎を育成する。

中学校：個人生活における自己の健康課題を見付け、その課題解決に向けて自ら取り組み、思考・判断したことを表現するとともに、健康な家庭や学校づくりに貢献するための資質・能力の基礎を育成する。

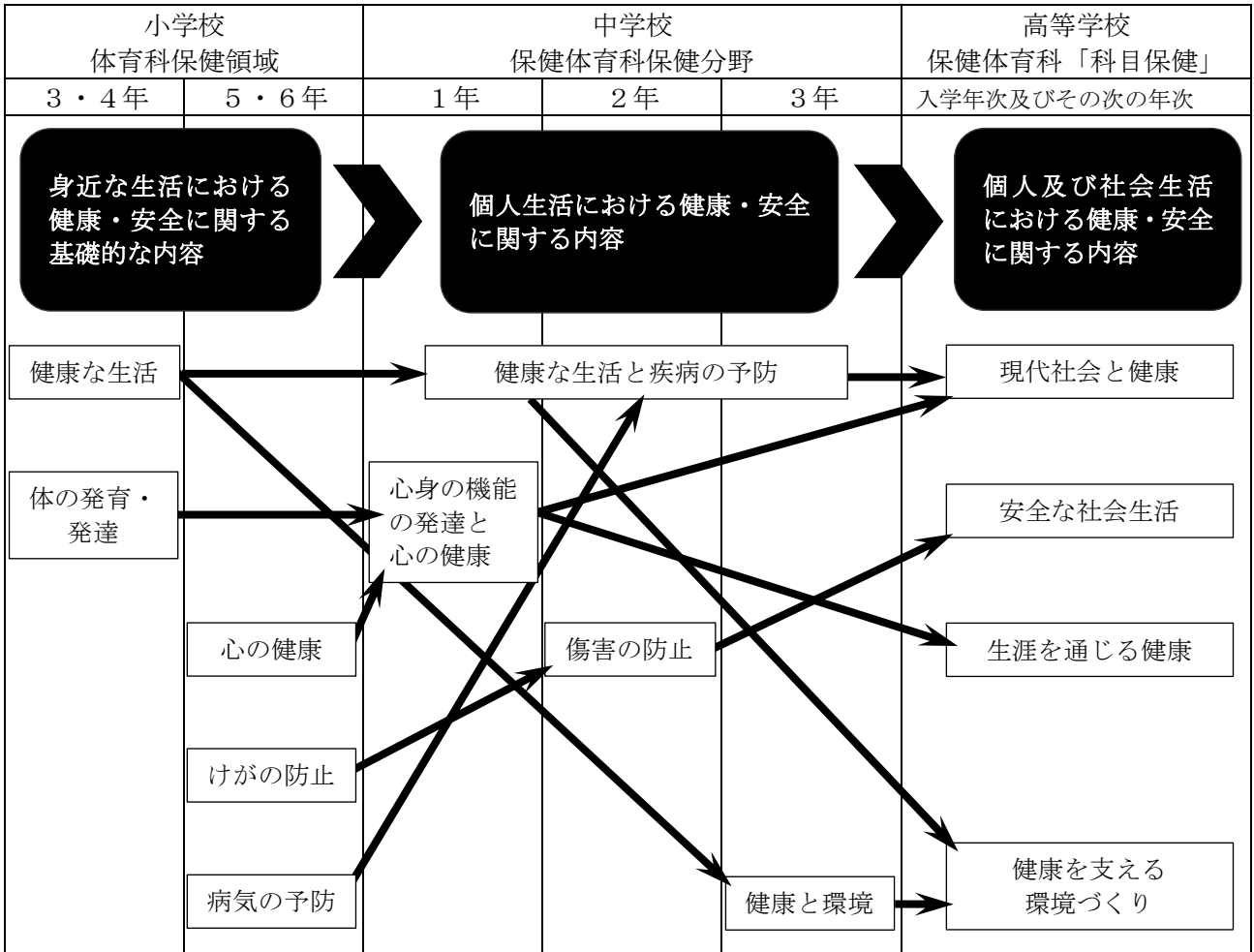
高等学校：個人生活や社会生活における健康課題を見付け、その課題解決に向けて自ら取り組み、思考・判断したことを表現するとともに、健康な家庭や学校、そして社会づくりに貢献するための資質・能力の基礎を育成する。

【保健における体系イメージ】



改訂 「生きる力」を育む小学校保健教育の手引（平成31年3月 文部科学省）

【保健における内容の系統性】



改訂 「生きる力」を育む小学校保健教育の手引（平成 31 年 3 月 文部科学省）

【性に関する内容（保健領域、保健分野、科目保健）】

校種	学習指導要領解説の内容（キーワード）
小学校 (第4学年)	(イ) 思春期の体の変化 思春期、体つきの変化、男子はがっしりした体つき、女子は丸みのある体つき、男女の特徴、初経、精通、変声、発毛、異性への関心、個人差がある、大人の体に近づく現象 ■自分と他の人では発育・発達などに違いがあることを肯定的に受け止めることが大切
中学校 (第1学年)	(イ) 生殖にかかわる機能の成熟 思春期、性腺刺激ホルモン、生殖器の発育、生殖機能が発達、男子では射精、女子では月経、妊娠が可能、個人差、性衝動、異性の尊重、性情報への対処、性に関する適切な態度や行動の選択 ■受精・妊娠を取り扱う、妊娠の経過は取り扱わない
中学校 (第3学年)	(オ) 感染症の予防 エイズ及び性感染症の増加、青少年の感染、疾病概念、感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法、エイズの病原体、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)、性的接触、コンドームを使うことなどが有効 ■後天性免疫不全症候群(エイズ)及び性感染症についても取り扱う
高等学校	(イ) 現代の感染症とその予防 エイズ及び性感染症の原因、予防のための個人の行動選択や社会の対策
高等学校	(ア) 生涯の各段階における健康 ㊦ 思春期と健康 心身の発達や性的成熟に伴う変化、健康課題、自分の行動への責任感、異性を理解したり尊重したりする態度、性に関する情報等への適切な対処 ㊧ 結婚生活と健康 結婚生活、心身の発達や健康の保持増進、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、健康課題には年齢や生活習慣などの関わり、家族計画の意義、人工妊娠中絶の心身への影響、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係、家族や周りの人からの支援、母子の健康診査の利用、保健・医療サービスの活用、妊娠のしやすさを含む男女それぞれの生殖に関わる機能 ■生殖に関する機能については必要に応じ関連付けて扱う程度とする

学校での性に関する指導においては、何よりも子どもたちの心身の調和的発達を重視する必要がある、そのためには、子どもたちが心身の成長発達について正しく理解することが不可欠です。

また、近年、性情報の氾濫など、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化してきており、子どもたちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっていることから、体の発育・発達や心身の健康などに関する知識について体育科保健領域（小学校）や保健体育科保健分野（中学校）、保健体育科「科目保健」（高等学校）を中心に確実に身に付けることはもちろん、特別活動等で生命の尊重や、自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成、男女相互の理解と協力、思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応などを重視し、これらを関連付けて指導することが重要です。

指導の工夫

指導方法を選ぶ際には、その時間の目標を達成するために最も効果的であるかを吟味するとともに、選んだ指導方法の効果を発揮させるために必要な時間配分が可能かを考慮しましょう。

保健教育で用いられる指導方法の例

指導方法	健康課題やその解決方法に関する具体的な活動	期待される資質・能力等の育成	活用例
ブレインストーミング	様々なアイデアや意見を出していく	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 知識の習得 	<ul style="list-style-type: none"> かぜをひいたときの原因 がんが発生する原因 ストレスへの対処方法 運動の効果
事例などを用いた活動	日常生活で起こりやすい場面を設定し、その時の心理状態や対処の仕方等を考える	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 知識の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 性に関する課題へのアドバイス 一日の食生活チェック
実験	仮説を設定し、これを検証したり、解決したりする	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 学びに向かう力、人間性等の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 気体検知管による二酸化炭素濃度の測定 照度計による教室内の明るさの測定
実習	実物等を用いて体を動かす	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 知識及び技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> リラクゼーション法の意義と方法 心肺蘇生の意義と方法
ロールプレイング	健康課題に直面する場面を設定し、当事者の心理状態や対処の仕方等を疑似体験する	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙などを助長する断りにくい心理の存在 心肺停止に陥ったと思われる人への対処
フィールドワーク	実情を見に行ったり、課題解決に必要な情報の詳しい人に質問したりする	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等の育成 学びに向かう力、人間性等の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故や自然災害の原因 保健機関の役割
インターネット、図書、視聴覚教材	コンピュータや図書館等を利用して、情報を収集する	<ul style="list-style-type: none"> 知識の習得 健康に関する情報処理能力等の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 医療品の正しい使い方 エイズの現状
保健・医療機関等の参画 (外部講師の活用)	外部講師による専門的知見に基づく授業参画	<ul style="list-style-type: none"> 知識及び技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用防止教育(警察職員、薬剤師など) がん教育(医療従事者、がん経験者など) 性に関する指導(医師、看護師、助産師など)

改訂 「生きる力」を育む中学校保健教育の手引(令和2年3月 文部科学省)

(2) 保健指導（特別活動）について

特別活動の目標

中学校における特別活動の目標は、学習指導要領に次のように示されています。

【1 目標】

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や事故の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

例えば中学校における学級活動の目標は、次のように示されています。

【1 目標】

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

【2 内容】

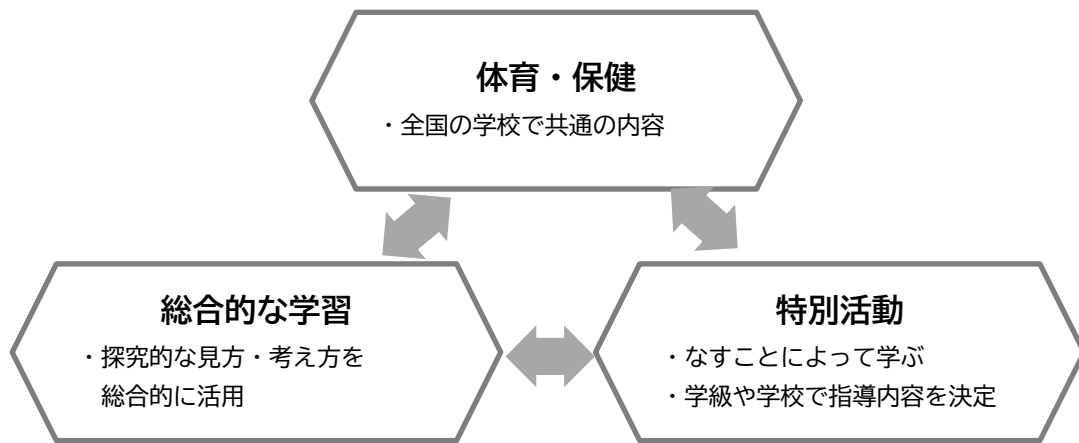
1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

そして、同じく中学校の「学級活動」の内容には、以下の項目が示されています。

- (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 - ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成
 - イ 男女相互の理解と協力 (内容項目ウとも関連)
 - ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
 - エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
 - オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

この場合、ウの「性的な発達への対応」が「性に関する指導」に関する内容に該当します。イの「男女相互の理解と協力」もウの項目と関連すると考えられます。

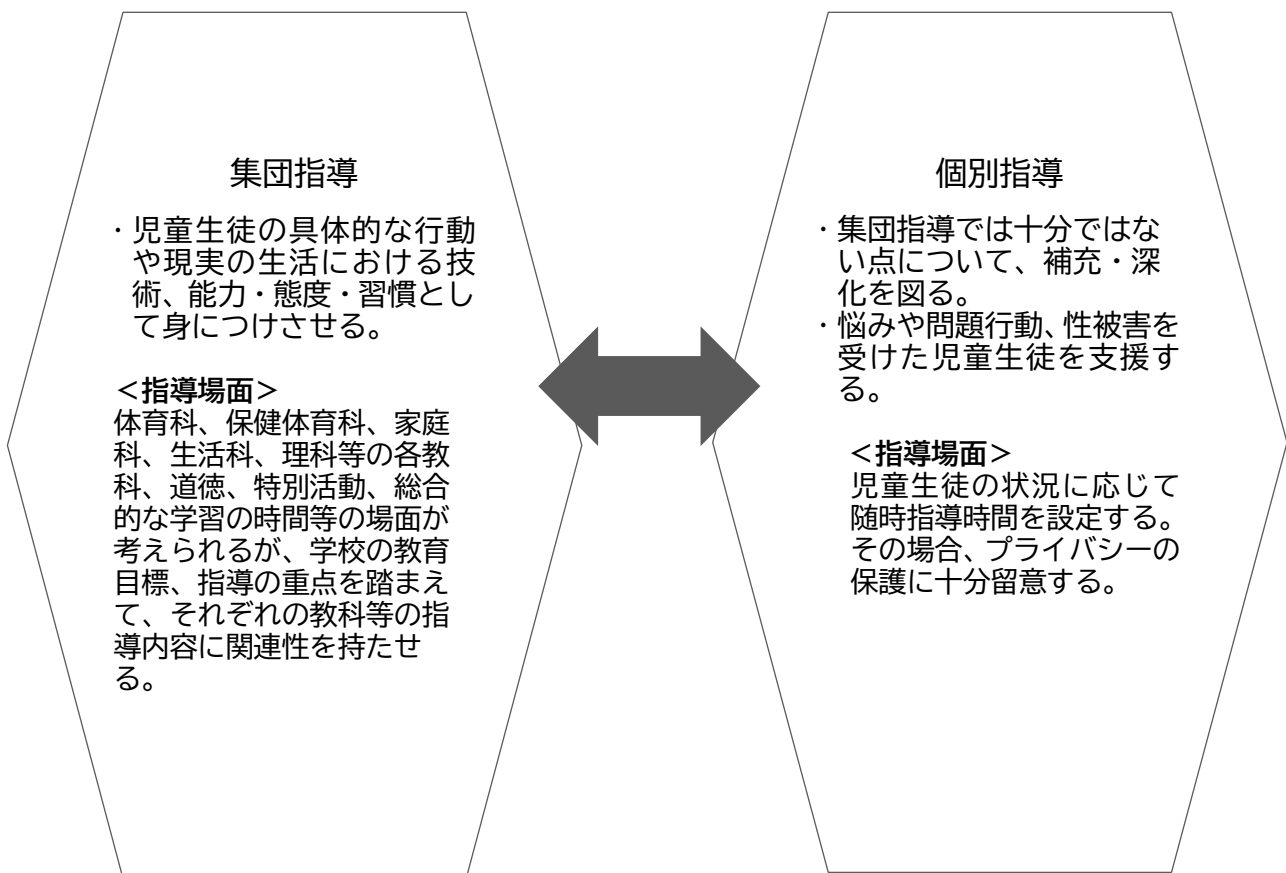
次の図に示した通り、体育や保健は知識体系に基づいた教科であり、全国の学校で共通の内容を指導します。これに対し、特別活動は「なすことによって学ぶ」領域であり学級や学校で指導内容を決定します。また、総合的な学習と関連付けて、効果的な指導に発展させていくことが重要となります。



(3) 個別指導（特別な支援を要する児童・生徒への指導）について

子どもたちの心身の成長発達には、個人差があることから、すべてを集団指導で教えるだけではなく、必要な子には、個別に丁寧に対応する必要があります。集団指導と個別指導の内容を明確にし、それらに関連させて指導することが重要です。

家庭や地域との連携も深めつつ、バランスよく推進していきましょう。



4 学校・家庭・地域社会、関係機関との連携について

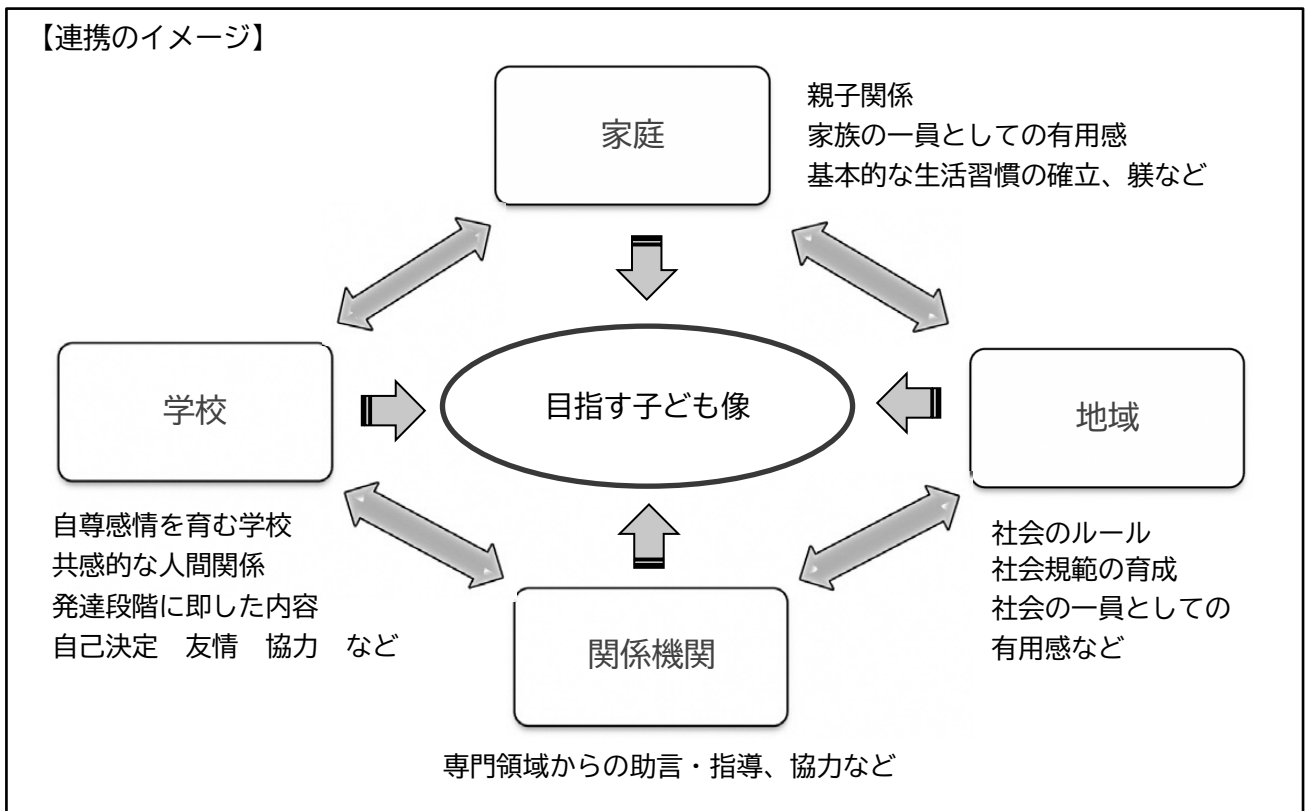
児童生徒の自尊感情が育まれる原点は、自らの「誕生」にあり、成長過程において家庭や学校・地域社会の中での人との関わりや体験等によって育まれていきます。

学校における「性に関する指導」は、家庭・地域、関係機関が互いの役割を理解し、目指す子ども像に向けて連携、協力してそれぞれの役割を果たすことが大切です。

【連携のポイント】

- (1) 学校保健委員会、保護者研修会等を活用し、児童・保護者・学校が抱えている課題を明確にする。
- (2) 指導計画は、小・中・高の指導内容を意識し、家庭・地域の連携を考慮に入れ保護者に理解を求めて作成する。
- (3) 授業参観を積極的に活用し、保護者の理解を得る。
- (4) 学校・家庭での役割を認識しながら、互いに協力できることや家庭での悩みを気軽に話し合える場を設定する。
- (5) 学校は、関係機関・地域社会の活動内容を踏まえ、全体として調和の取れた効率的な連携・協力が図れるように留意する。

【連携のイメージ】



【家庭・地域連携の具体例】

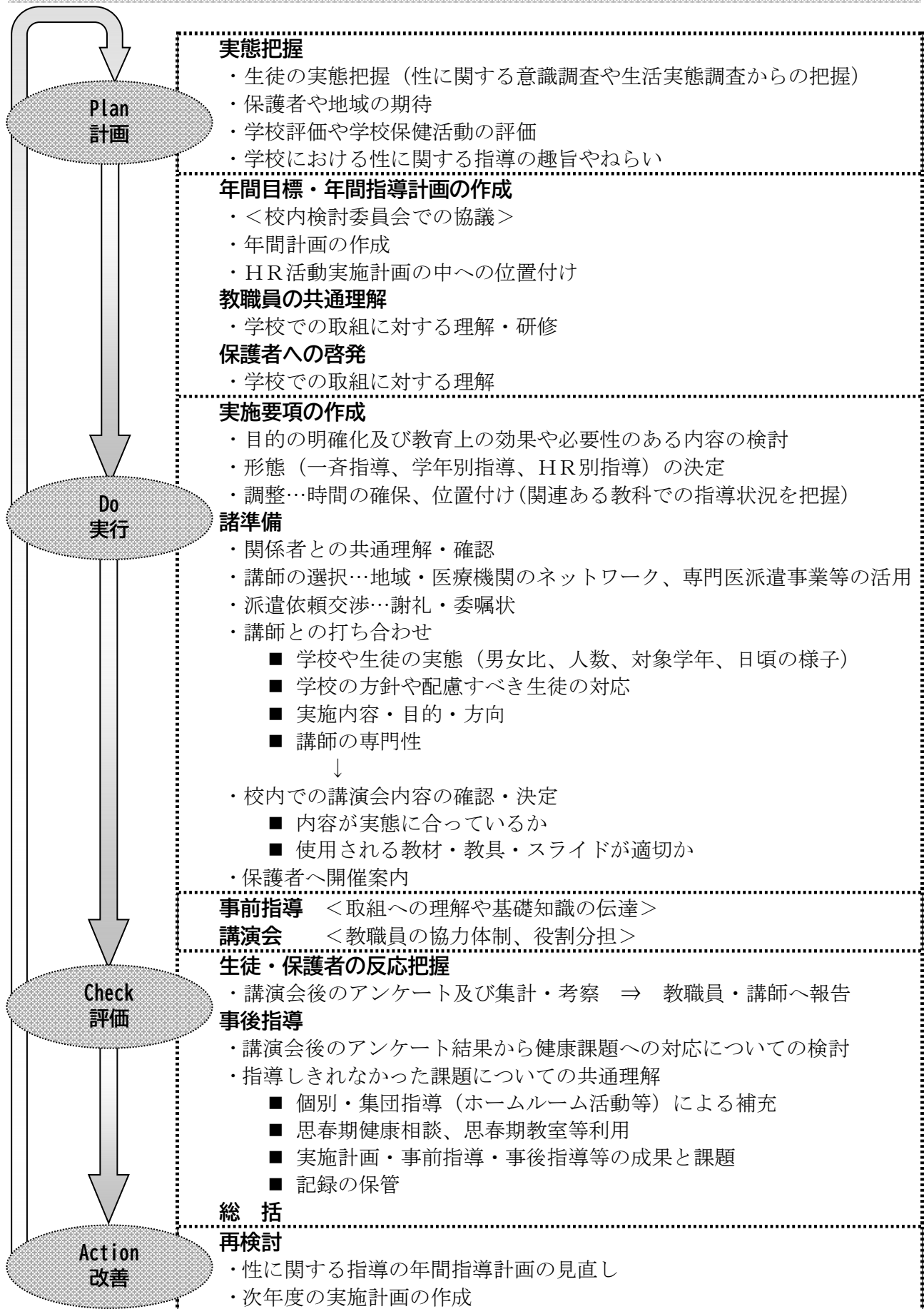
- (1) 学校だより・保健だより等による情報提供
- (2) アンケート調査による実態把握
- (3) 学校行事や授業参観、懇親会、講演会を通じた連携
- (4) 学校保健委員会やPTA活動や研修会を介した連携

【連携の主な関係機関先】

- (1) 児童相談所、警察、教育センター、精神保健福祉センター、医療機関、保健所など
- (2) 幼・小・中・高等学校や市町村教育委員会、近隣の学校など

【主な関係機関と基本的役割】

区分	基本的役割	取り組み内容
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各市町村、各校で立案した性に関する指導の全体計画が、学習指導要領に合った内容か、小・中・高の発達課題として位置づけているか検討 ・ 性に関する教育プログラムを作成し実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業：保健体育、学級活動、道徳 ・ 講演会：専門家による講話 ・ 性に関わる個別の相談活動
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性に関する指導の必要性について共通認識をもつ ・ 学校における性に関する指導計画に沿って協力する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開への参加 ・ 保護者会で性に関する教育をテーマにした講演会の企画 ・ 子どもからの性についての疑問と相談への対応
医 療 機 関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性と生殖に関する健康づくりのための医学的知識を提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前授業 ・ 保護者対象の講演会 ・ 性のトラブルの相談 ・ 虐待への対応と連携
保 健 所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの性に関する健康指導 ・ 次世代への支援、予防的対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性に関する知識の普及、思春期相談窓口
児 童 相 談 所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童虐待や子どもの生活問題に関する危機の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスクがあるケースの調査、緊急対応が必要な子どもへの措置手続き
民 生 委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子育て問題の把握と児童相談所への通告 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の生活状況や学校と情報交換の上、虐待リスクを把握
幼 稚 園 保 育 所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の教育と発達支援 ・ 子育て相談と支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の性に関する教育の実施 ・ 保護者対象の研修会の実施
警 察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命・安全の確保 ・ 犯罪の予防と捜査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の安全確保 ・ 学校での不審者対応の講師 ・ 登下校の安全指導
民 間 施 設 N P O 法 人 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て・虐待問題・性の悩みの相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談窓口と電話等を通して性についての相談に対応等



〔専門医による講話〕

- 1 テーマ「知っていてほしい性と生 産婦人科医師からのメッセージ」
- 2 対 象 3 学年
- 3 専門医 井上 聡子 医師(産婦人科)
- 4 実施月 10 月
- 5 内 容(キーワード)
意図しない妊娠、中絶、
将来の夢の実現に向けて
性感染症、性被害



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

- ①健康課題の解決について
有効だった
有効でなかった

<その理由>

* 高校進学を控えたこの時期に、専門医から性の正しい知識を聞いて、自分の生き方や命について考える良い機会となったため。

- ②校内の組織づくりについて
有効だった
有効でなかった

<その理由>

* 教員が、今後の指導において同じ方向の意識を持つことができた。今後の組織として、性教育推進がしやすくなった。

- ③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

* 井上先生とのつながりができたため、性に関する問題等があった際に相談できる窓口が増えてよかった。

〔受講者の感想など〕

- 産婦人科は妊娠したときだけではなく、性的暴力や精神的暴力などのDVを受けたとき、困ったことがあるときなど様々な場面で受診できることを知りました。
- 今回、正しい情報を得ることができてよかったです。今日話を聞いて、辛い思いをしている人がいると思うと、将来はそういう人を助けられる井上先生のような職、人になりたいと思いました。
- 性に対する危険性や相手の気持ちを考えることなど、性に対する判断力・決断力を磨けたらと思います。相手のことをしっかり考えられる大人になりたいです。



〔教科やその他の指導との関連性〕

- 1年生「思春期の体の変化」(保健体育)
- 2年生「男女交際のあり方」(学級活動)
- 3年生「性感染症」(保健体育)
- 道徳の教科でも生命尊重についての題材で学習している。

5 特別な支援を要する児童生徒への指導について

児童生徒の健康状況や家庭の実態は多様であり、個別の事情を考慮する必要があります。

また、思春期の性に関する問題は、多様性があり、その支援の方法もその場に応じた臨機応変な対応が求められます。

さらに、特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童生徒への指導の場合は、個々の発達段階に応じて、それぞれの発達課題が達成できるように支援する必要があります。

指導の際には、児童生徒の置かれた状況を理解し、必要に応じてチームを編成し、連携、協力を図りながら行うことが大切です。

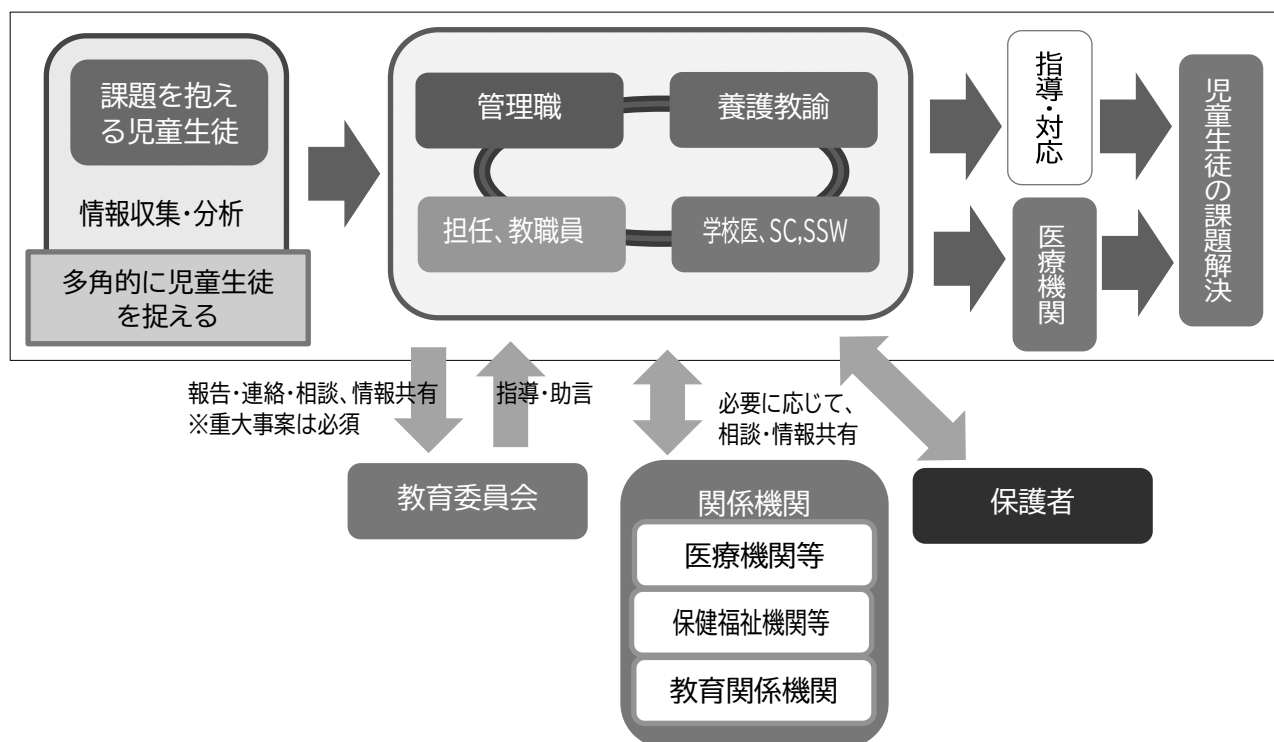
【個別の支援の意義】

- (1) 集団指導だけでは十分でないところを補完し、充実させる。
- (2) 性に関する悩みや問題などの早期発見と深刻化の防止を図る。
- (3) 性に関する問題をもつに至った児童生徒に対して支援する。
- (4) 児童生徒一人ひとりの実態に合ったきめ細かい指導を行う。

【対応のポイント】

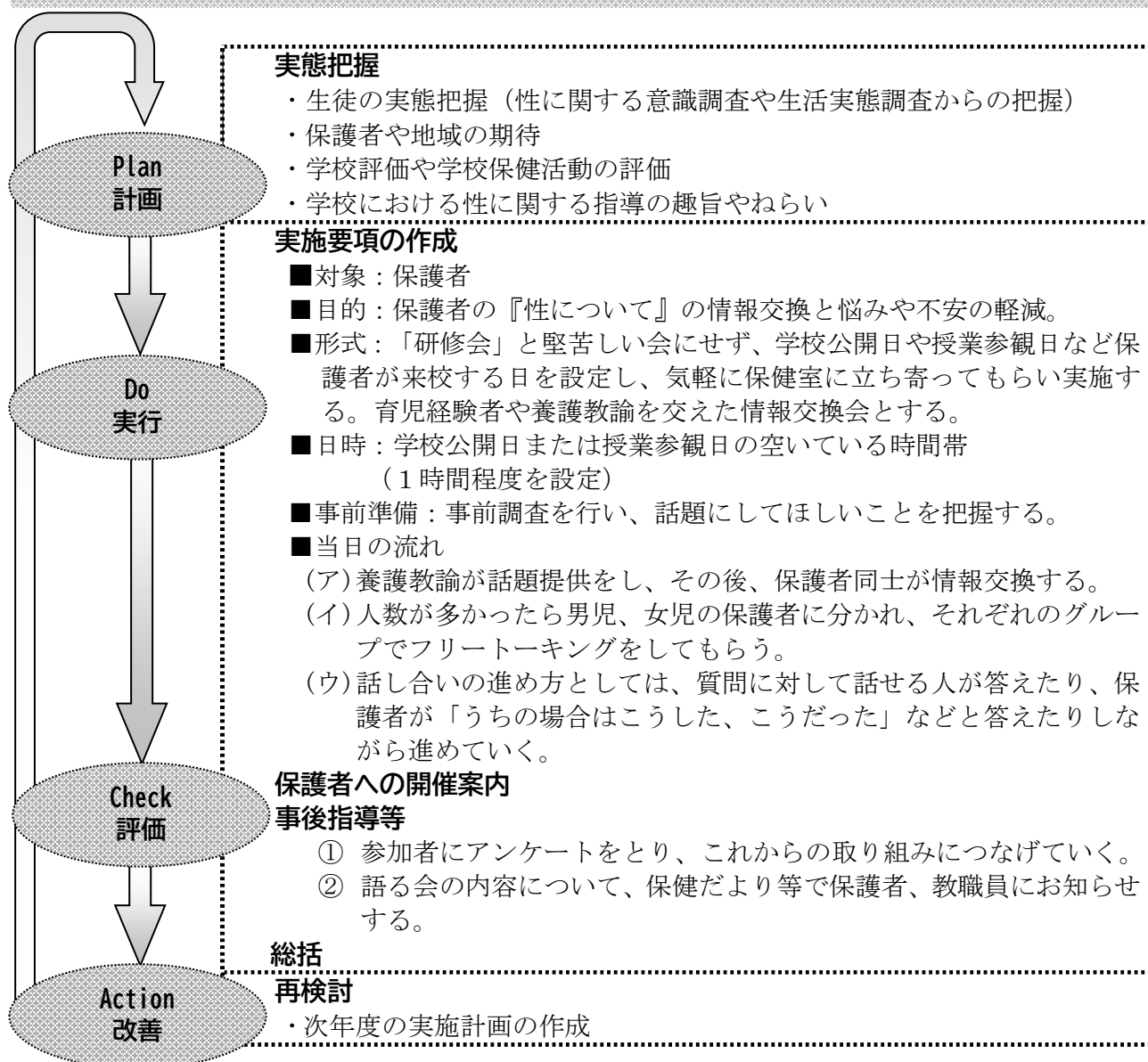
- (1) 児童生徒と信頼関係を築く。
- (2) 性に関する問題を前向きにとらえ、一人ひとりの発達段階に応じた指導支援を行う。
(具体的に、明確に、端的に、繰り返し)
- (3) 秘密保持に万全の配慮を尽くす。
- (4) 保護者とは丁寧に連絡を取り合いながら、児童生徒の自立に向けて支援する。
- (5) 必要時は保護者との連携をもとに、関係機関との連携を図る。(速やかで弾力的に対応)
- (6) 児童生徒の発達段階と身体の成長に応じて様々な目標を設定する。
- (7) 普段からできることを増やす、わかることを増やす、やってはいけないことが分かり実践できるように支援する。

【対応のフロー】



(参考) 現代的健康課題を抱える子どもたちへの支援
～養護教諭の役割を中心として～
平成 29 年 3 月発行 文部科学省

—特別支援学校における「性について語る会」：個別への対応（例）—



実態把握

- ・生徒の実態把握（性に関する意識調査や生活実態調査からの把握）
- ・保護者や地域の期待
- ・学校評価や学校保健活動の評価
- ・学校における性に関する指導の趣旨やねらい

実施要項の作成

- 対象：保護者
- 目的：保護者の『性について』の情報交換と悩みや不安の軽減。
- 形式：「研修会」と堅苦しい会にせず、学校公開日や授業参観日など保護者が来校する日を設定し、気軽に保健室に立ち寄ってもらい実施する。育児経験者や養護教諭を交えた情報交換会とする。
- 日時：学校公開日または授業参観日の空いている時間帯（1時間程度を設定）
- 事前準備：事前調査を行い、話題にしてほしいことを把握する。
- 当日の流れ
 - (ア) 養護教諭が話題提供をし、その後、保護者同士が情報交換する。
 - (イ) 人数が多かったら男児、女児の保護者に分かれ、それぞれのグループでフリートーキングをしてもらう。
 - (ウ) 話し合いの進め方としては、質問に対して話せる人が答えたり、保護者が「うちの場合はこうした、こうだった」などと答えたりしながら進めていく。

保護者への開催案内

事後指導等

- ① 参加者にアンケートをとり、これからの取り組みにつなげていく。
- ② 語る会の内容について、保健だより等で保護者、教職員にお知らせする。

総括

再検討

- ・次年度の実施計画の作成

—PTA 研修部「性の研修会」を開催して（特別支援学校例）—

- 1 対 象…「研修会」全校保護者及び職員の希望者
 - 2 ねらい…性について、専門家からご講演いただき、性に対する基礎知識を養い、保護者の不安や悩みの解消をめざす
 - 3 内 容…PTA研修部「性の研修会」開催
 - (1) 日時 平成 年 月 日 () 13:15～14:45
 - (2) 講演 演題「自立に向けて、性を健康に生きるために」
講師 () 大学 () 教授 () 氏
 - (3) 講演内容
 - ① 青少年の性行動の現状
 - ② 性を健康に生きるための性教育
◇性教育は何のためか：性が健康であるための教育
◇性が健康とはどういうことか
◇性が健康のためには正しい知識が必要、知識を身につけるはどうしたらいいか
◇困ったら相談してもらえ親子の関係づくり
◇性教育は毎日の生活の中で
◇攻撃されやすい人（知的障がい者の場合）：自分は大事にされている存在
 - ③ 性教育は、日常生活の中にある
 - ④ 事前アンケートから
 - ⑤ 質疑応答
Q：恥ずかしいということ、どう教えたらいいか？
A：障がいの程度によっては難しいが、具体的に繰り返し根気強く伝える。
Q：母子分離の必要性の根拠？
A：社会に出るときには、自立への弊害になってしまうため、異性との一線をはっきりさせる必要がある（母親も異性）。
 - (4) 保護者アンケート結果
＜学んだこと＞
 - ・性について、否定的ではなく肯定的に教えていくことが必要であるということに気付かされた（時間、場所を決めるなど）。
 - ・障がい者も性に対する考えは同じ、積極的に関わるべきだということ。
 - ・障がいのあるなしに関係なく、性について悩んでいることは、まず相談することが大事。悩んでいる親は自分だけではないと思うと少し気持ちがほっとした。
 - ・親子であっても、異性ならある程度の年齢で距離をとるべき、というところが改めて考えさせられた。
 - ・「寝た子を起こす？」という言葉が印象に残った。眼を反らすのではなく、否定的な態度、言葉を避け、悪いことではない事を教え、良い所、悪い所、マナーなどを繰り返し教える。
- 4 成果と課題
 - 「性の研修会」は保護者からの強い要望があり開催された。保護者の参加者も40名と多く、関心の高さが伺えた。
 - 講師選定、交渉に、PTA研修部長（保護者）が積極的に加わり、保護者の思いを伝えてくださり、講演内容に反映していただけた。
 - 保護者の多くが、悩んでいるのは自分だけではないということがわかり、性に対して前向きに考えられる様になった。
 - 児童生徒の行動に対する具体的な手立てについてのお話に期待している保護者が多かったため、事前をお願いしておくべきだった。
 - 講師の情報が不足しており、保護者の希望に添える講師の決定が難しい。

第2章 実践編

- 1 小学校編
指導計画例
 - (1) 具体的な指導例（体育科 保健領域）
 - (2) 具体的な指導例（特別活動）コラム 「多様な性」から「多様性」を学ぶ
- 2 中学校編
指導計画例
 - (1) 具体的な指導例（保健体育科 保健分野）
 - (2) 具体的な指導例（特別活動）
- 3 高等学校編
指導計画例
 - (1) 具体的な指導例（保健体育科 科目保健）
 - (2) 具体的な指導例（特別活動）コラム 子どもの性被害を防ぐために必要なこと
- 4 特別支援学校編
指導計画例
 - (1) 具体的な指導例（特別活動）

※性に関する指導に当たっての留意点（第1章 P4, P5 参照）

- ・児童生徒の発達段階を踏まえること
- ・学校全体で共通理解を図ること
- ・家庭、地域との連携を推進し保護者や地域の理解を得ること
- ・集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うこと

※掲載している指導例は、様々なことに配慮して、児童の実態についての記載を省略しています。

性に関する指導計画（小学校 参考例）

		体育（保健領域）	特別活動	関連教科等 総合的な学習の時間
1年	4月 ↓ 3月	水泳学習の前の マナー指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ たいせつなからだ ・ 体の名前や働きについて知ること、自分や他の人の体を大切にすること。 ○ おへそのひみつ ・ 生命誕生に関する正しい知識を知ること、自分や他の人の命と体を大切にしようとする。 	【道徳】 内容項目 1 9 生命の尊重 4 個性の伸長 【国語】 どうぶつの 赤ちゃん
	4月 ↓ 3月		<ul style="list-style-type: none"> ○ おなかの中のわたし ・ 胎児の成長の様子を知ること、命の大切さに気付く。 	【生活科】 はっけんじぶんのよいところ 自分のことをもっと知りたいな 今の自分がある喜びと周囲への感謝
3年	4月 ↓ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日の生活と健康 健康の大切さを意識し、健康に良い生活の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男らしさ・女らしさって何？ ・ 男の子らしさ、女の子らしさにこだわらないで、互いの良さや自分らしさを大切にする。 	【道徳】 内容項目 3 節度・節制 4 個性の伸長
	4月 ↓ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体の発育・発達 思春期の体の発育・発達と個人差について理解する。 ・ 体の成長とわたし 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 命の誕生 ・ 生命誕生について話し合い、今後の生活の中でできることを決める。 ○ いのちのつながり ・ 自分の命や生活につながる人の存在に気付き、自分を大切にすること。 	【理科】 人の体のつくりと運動 骨や筋肉の運動器官のつくりや働きについて
5年	4月 ↓ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心の健康 心の発達や不安、悩みへの対処の方法について理解する。 ・ 心と体のつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 性被害の防止～SNSの危険～ ・ SNSの危険性について知り、自分の利用方法を決める。 ○ 自分を見つめる ・ リフレーミングで自己を肯定に受け止め、自分の良さを生活に生かす。 	【理科】 動物の誕生 動物の発生・成長について 【家庭科】 家族との触れ合い 家族の中の役割
	4月 ↓ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病気の予防 病気の予防について理解する。 ・ 病気の起こり方 ・ 感染症の予防 ・ 生活習慣病の予防 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分らしく生きる ・ 思春期の心と体と性については個人差や多様性があること知り、自分らしく生きることを実践すること。 	【道徳】 内容項目 2 正直、誠実 3 節度・節制 【理科】 人の体のつくりと働き 体内の臓器のつくりや働きについて
6年	4月 ↓ 3月			

小学校第4学年 単元名「体の成長とわたし」

1 単元の見どころ

- (1) 年齢に伴う体の変化と個人差や、思春期には体つきに変化が起こり男女の特徴が現れることを理解できるようにする。
- (2) 体の発育・発達について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにする。
- (3) 体の発育・発達について、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができるようにする。

2 単元について

本単元は、小学校での性に関する指導の中心となる学習であり、中学校の保健体育「心身の機能の発達と心の健康」、高等学校の保健体育「生涯を通じる健康」と関連しており、発達段階を踏まえて指導することが大切となる。そこで、本単元では、初経、精通について大人の体に近づく具体的な現象として捉えさせ、近い将来それが起こったときに不安にならないように指導する。さらに、自分の体の変化や個人による発達の違いなどについては、自分のこととして実感できるように配慮する。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けている。 ②体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達させるための方法を考えているとともに、考えたことを学習カードなどに書いたり、発表したりして友達に伝えている。	①体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や教科書や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。

4 単元計画

	第1時	第2時（本時）	第3時	第4時
主な学習内容	育ちゆくわたしたちの体	思春期に現れる変化①	思春期に現れる変化②	よりよく成長するための生活
学習活動	○体は年齢に伴って発育すること、発育の仕方には個人差があること。	○思春期には、体つきの変化が起こり、男女の特徴が現れること。	○思春期に起こる体の中や心に様々な変化が起こること。	○よりよく発育・発達するためには、心と体の状態をよくしておくことが大切であること、運動、食事、休養及び睡眠のそれぞれの中で特に気を付けること。
	1. 身長伸びを示したグラフで自分の身長を実感する。 2. グループで伸び方を比べて気づいたことを話し合	1. 思春期に起こる体つきの変化について知る。 2. 思春期に現れる変化をまとめる。 3. 悩んでいる友だちへのア	1. 思春期に起こる体の変化について知る。 2. 思春期には、心にも変化が起こることを知る。 3. 悩んでいる友だちへのア	1. よりよく発育・発達するために必要なことを知る。 2. よりよく発育・発達するために実践できることを考え、発表する。

う。 3. 悩んでいる友だちへのアドバイスを考え、発表する。 4. 学習を振り返り、まとめをする。 (知識・技能①)	ドバイスを考え、発表する。 4. 学習を振り返り、まとめをする。 (知識・技能②) (思考・判断・表現①)	ドバイスを考え、発表する。 4. 学習を振り返り、まとめをする。 (知識・技能③) (思考・判断・表現②)	3. 単元の学習を振り返り、まとめる。 (知識・技能④) (主体的に学習に取り組む態度①)
---	--	--	---

5 展開例（2時間目）

(1) 本時の目標

- 思春期になると人によって違いがあるものの、次第に大人の体に近づき、体つきに変化が起こり男女の特徴が現れることや変声や発毛が起こることについて理解することができるようにする。【知識】
- 思春期の体の変化について、学習したことを、自己の体の発育・発達と結び付けて考えることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

(2) 展開 : ねらい : 発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 「声あてクイズ」や「シルエットクイズ」に取り組み、変声や男女の体つきの変化に気付く。 <予想される反応> ・小学校に入学する前は、後ろ姿だと男女の区別が分かりにくいな ・大人だと分かりやすい	前時の内容を振り返りながら取り組ませる。 ○ICTを活用し提示していく。 ○気づいた理由についても触れながら聞いていく。	教材 声あてクイズ シルエットクイズ
展開	2 本時のめあてがわかる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">大人に近づくと、体はどのように変化するかを知ろう。</div> 3 思春期に起こる体の変化についてグループで話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">大人に近づくとつれて体にはどんな特徴があらわれますか。</div> ・ひげが生える ・身長が伸びる ・声が変わる ・ニキビができる ・体重が増える ・毛が生える ・胸が大きくなる・丸みのある体つき ・こしまわりが大きくなる ・がっしりとした体つき ・かたはばが広がる 4 養護教諭の話を聞く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">思春期に起こる体の変化について話を聞いてください。</div> ・変化の仕方や時期は個人差がある。 ・異性への関心等についても個人差がある。	○6年生程度のイラストを提示する。 ○個人で考える時間を設けてから、グループで考える。 ○付箋紙を使って、ブレーンストーミングで意見を出し合い、同じ意見をまとめて分類する。 ○学習カードに記入する。 ◆思春期には体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて言ったり書いたりしている。 (学習カード)【知識②】 ※性差を扱う際に、LGBTの視点が出てきた場合、3時間目の学習につなげていく。 ○話す内容について事前に担任と養護教諭で相談する。 ○今後、体の変化について不安なことがあった場合に相談できることを伝える。	イラスト教材 思考ツール
まとめ	5 学習したことを活かし、悩んでいる友達への声がけを考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">思春期の体つきの変化について悩んでいる児童に、学習したことをいかして声がけしてみよう</div> 6 ふりかえり	○事例を準備し、学習したことを活かして自分事として声がけできるように、学習カードを準備する。 ◆思春期の体の変化について、学習したことを自己の体の発育と結び付けて課題を見付け、声がけを考えている。	学習カード

	【思考・判断・表現①】(学習カード・発言) ○自己の体の発育と結び付けて振り返らせる。	
--	--	--

(3) 資料等 学習カード

6 他教科・領域との関連

(1) 特別活動との関連 (学級活動、児童会活動、学校行事等における保健指導)

学校生活において不安等が高まるのは、高学年での宿泊学習等である。養護教諭と連携をとり、女子を中心に月経の手当の仕方や入浴でのエチケット等を学ぶ時間を確保する。

(2) 総合的な学習の時間との関連

保健学習での知識と関連付けて、総合的な学習の時間において「生命」の尊さについて指導する。

思春期にあらわれる変化①

4年 名前()

1, 大人に近づくにつれて、体つきはどのような変化があるかな？

2, 思春期になって、次のようになやんでいる友だちに、その人が安心できるような言葉を考えましょう。そして、その理由も書いてください。

このごろ、急に声が低くなって、声を出すことが、はずかしいな。

友達はむねがふくらんでいるのに、わたしはまだなんだ。だいじょうぶかな。

こんなにやんでいるのに、なんでそんなこというの？

なぜなら、

3, 今日の学習で分かったことやこれからの学習に生かしたいことを書きましょう。



小学校第1学年 題材名「たいせつなからだ」

1 題材について

○ 題材設定の理由

本題材は、心身共に健康で安全な生活形成にかかわる内容である。この時期の子どもたちは、男女の別なく仲良く遊んでいる。また、何でも知りたい好奇心旺盛な時期でもある。しかし、時に、友達をたたいたり、傷つけることを言ったりする場面も見られる。

そこで、体の名前や働きについて知ることで、自分の体に関心を持ち、自分や他の人の体を大切にすることを実践できるようになってほしいと願い、本題材を設定した。

○ 本題材の指導

本題材では、体の名前や働き、大切さを学習することにより、自分の体に関心を持たせたい。また、プライベートゾーンの大切さについて知り、自分の体も友達の体も大切にしていこうとする気持ちを育てたい。そして、学級だよりで学習内容を紹介し、家庭との連携を図る。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身につけている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲良くしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

3 事前指導

活動内容	○指導上の留意点
「からだ」の絵本(※1)を紹介する。	○「からだ」の本の読み聞かせを聞き、自分の体についての興味・関心を高める。

(※1) 関連する絵本の例：『だいじ だいじ どーこだ?』（作 遠見才咲子 絵 川原瑞丸 大泉書店 2021）

4 展開例

・ 本時の目標

体の名前や働きを知ることを通じて、体の大切さを理解し、自分や他の人の体を大切にすることを実践できるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

□：ねらい □：発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 体の名前や働きを知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">からだにはどんなものがあるかな？どんなはたらきがあるかな？</div> <予想される反応> ・目はものを見ます。 ・鼻はにおいをかぐところ。	○体の名称や働きについて知っていることを発表する。 ○クイズ形式で問うことで発言しやすくする。 □体の大切さを考え、自分が気をつけることを決めよう	学習プリント
展開	2 体（内臓等）の名前や働きを知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">体の中は見えないけど、どんなものがあるかな？どんな働きをしているかな？</div> ・心臓 ・脳 ・胃 3 プライベートゾーンの大切さについて話し合う。 <反応> ・きれいにする（トイレ・お風呂）。	○子どもの発言を認めて、出てきた内容についてみんなで確認する。 ○プライベートゾーン（水着で隠れる部分）について説明する。 ○プライベートゾーン（むね、おしり、せいき）は人に見せたり、触らせたりしてはいけない大切な場所であること、なぜ大切な	プライベートゾーン

	<ul style="list-style-type: none"> ・いたずらしたりしない。 ・人に見せたりしない。 	のか説明する。 ○自分のからだだけでなく、他の人のからだも大切にすることを。	
まとめ	4 体を大切にするために自分が気をつけることを考え、発表する。 <予想される反応> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいにする。 ・いたずらしない。 5 振り返りをする。	○体について分かったことを書く。 ○自分の生活を振りかえって、体を大切にする方法を考える。 ○考えたことを発表させる。 ◆話し合ったことを参考にして、自分が体を大切にするために、気を付けることを決める。【思考・判断・表現】	(学習プリント・発言)

5 事後の指導

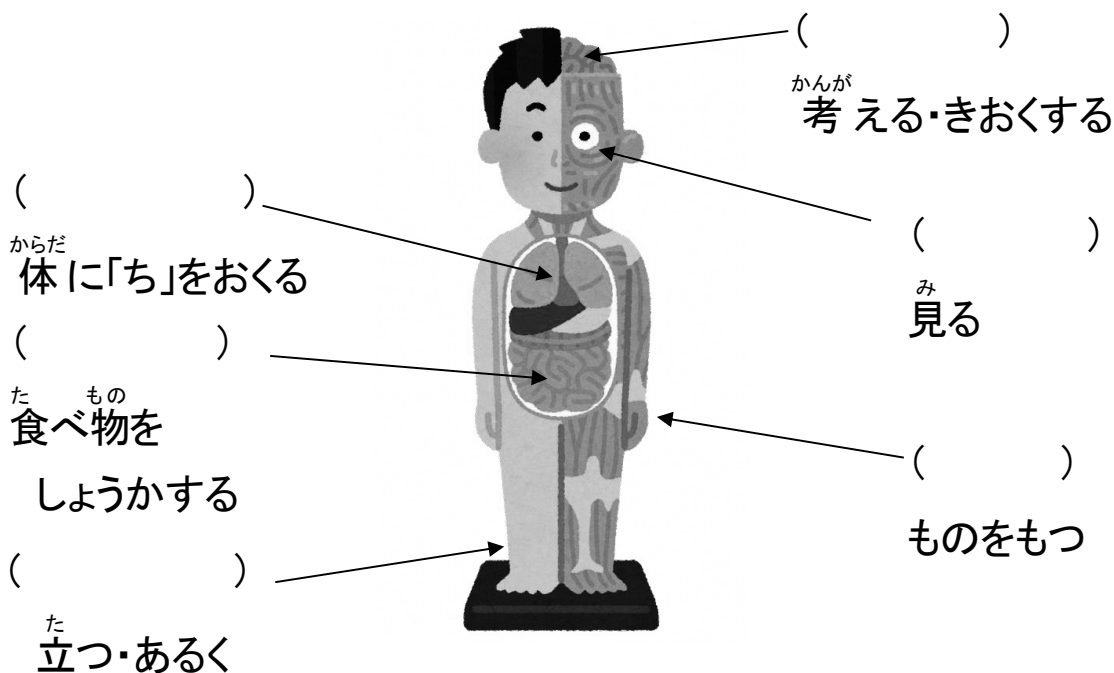
活動内容	○指導上の留意点
学級便り等に学習内容を掲載し、保護者に伝える。	○学習内容や自分の体を大切にする方法を個々に実践していくことについて保護者に伝え、家庭と連携して称賛したり励ましたりする。

6 資料等

たいせつなからだ

年 名まえ

1、からだの名まえを()にかきましょう。



2、からだについてわかったこと、たいせつにするためにきをつけることをかきましょう。

小学校第1学年 題材名「おへそのひみつ」

1 題材について

○ 題材設定の理由

本題材は、心身共に健康で安全な生活形成にかかわる内容である。この時期の子どもたちは、生命誕生について素朴な疑問を抱いている。国語や道徳でもいのちの誕生について学習しており、自分の誕生にも興味・関心が高い。

そこで、生命誕生に関する正しい知識を知ることで、自分や他の人のいのちとからだを大切にすることを実践できるようになってほしいと願い、本題材を設定した。

○ 本題材の指導

本題材では、へその役割を学ぶことにより、自分のいのちも友達のいのちも、愛情を受けて大切に育まれて誕生した大切ないのちであることに気づかせたい。また、家庭環境にも配慮して指導する。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身につけている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲良くしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
へその「ある・なしクイズ」を出題する。	○クイズを通して、動物には、おへそがあるものと無いものがあること知り、へその役割について考えるように知らせる。 ◆へその「ある・なしクイズ」について考えることができる。 【思考・判断・表現】（ワークシート）

4 展開例

・ 本時の目標

生命誕生に関する正しい知識を知るとともに、自分や他の人のいのちとからだを大切にしようとする気持ちを育てる。【知識及び技能】

□：ねらい □：発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 おへそが「ある」「なし」の組に分ける。 おへそはなんのためにあるのでしょうか？ <予想される反応> ・え～ ・お母さんとつながっている。	○事前に出题したクイズについて想起し、いろいろな動物の絵カードを、おへそがある・ない組に分けていく。 ○おへそのあるなしは、胎生・卵生の違いであることを押さえ人間は赤ちゃんで生まれることを明確にする。 おへそのやくわりをしろう。	動物の絵カード
展開	2 へその緒の働きについて知る。 おへそはどこにつながっていたのかな？ <予想される反応> ・おかあさん 赤ちゃんはどうやって大きくなるのかな？ 水の中にいるのに、どうして息をしないでいられるの？ <予想される反応> ・へその緒からえいようやさんそをもらう！	○おへそは、長い管になっていて、お母さんの子宮の壁にくっついていてを説明する。 ○へその緒は、母親と赤ちゃんをつなぐ大切な命の綱であることを説明する。 ○お母さんが食べたものの栄養が、へその緒を通して赤ちゃんに届けられるから大きくなることを説明する。 ○赤ちゃんのお部屋は温かいお湯が入っていて守られていることを説明し、お母さんが吸った空気中の酸素が、へその緒を通して届けられるから、水の中で生きていられることを説明する。 ○あかちゃんだった自分も母親のおなかの中で、がんばって大きくなったことを知る。	へその緒の模型

まとめ	3 分かったことや感想をプリントに書き、発表する。 〔自己決定〕 <予想される反応> ・いのちをたいせつにしたい 4 振り返りをする。	○学習プリントを書きながら、へその緒の働きについて確認する。 ○考えたことを発表させる。 ◆友達の見解を参考にし、自他のいのちと体を大切にしようとしている。【知識・技能】	学習プリント 学習プリント・発言
-----	---	---	-------------------------

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点◆評価
いのちと体を大切にする取り組みについて、帰りの会などで振り返る。	○取り組み状況に応じて、個別に励ましや賞讃、アドバイスをする。必要に応じて授業を想起させる等の支援をする。 ◆自分や友達などのいのちと体を大切にする方法を考え、進んで取り組んでいる。【思考・判断・表現】（発言・観察）

6 資料等

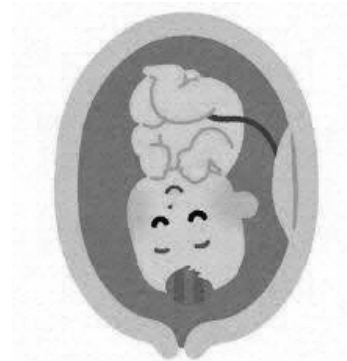
おへそのひみつ

_____年

1、()にことばをかきましょう。

赤ちゃんはお母さんのおなかの中で、えいようやくうきを()をとってもらい、せいちょうします。

生まれると、「へそのお」はいらなくなるのできります。そのあとが()です。



2、わかったことやかんそうをかきましょう。

3、いのちをたいせつにするためにしていきたいことをかきましょう。

	4 誕生について知る。	つ様子と小さな命を守り育てた母親や家族の思いに気付く。 ○6か月、9か月も同様に、調べたことを発表しあったり、人形を抱っこしたりする。補足説明を加えながら、胎児が大きくなる様子を実感させる。 ○無事誕生した時の家族の様子を知ること、お母さんも大事に育てたことと、赤ちゃんである自分も友達もがんばって生まれてきたことに気付かせる。	胎児の絵
まとめ	5 自分の命を大切にするために何をしていくかを書く。 〔自己決定〕 <予想される反応> ・大事な命だから、ケガをしないように気を付ける 6 振り返りをする。	○学習プリントで振り返りながら、自分の命を大切にするために何をしていくか考える。 ○家庭環境に配慮しながら、生活科等の活動において家族への感謝の手紙を書く活動を取り入れることもできる。 ◆友達の意見を参考にし、自分の命を大切にするために何をしていくか決める。【知識・技能】	学習プリント・発言

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点
学級便り等に学習内容を掲載し、保護者に伝える。	○学習内容や自分の体を大切に方法をお互いに実践していくことについて保護者に伝え、家庭と連携して称賛したり励ましたりする。

6 資料等

年 月 日

性といのちの学習について

〇〇小学校 2年 保護者各位

春が待ち遠しい毎日ですが、保護者の皆様には日頃より学校教育へのご協力ありがとうございます。

〇〇小学校では、学年によって計画的に性といのちの学習を行っているところです。2年生は、来週は「おなかの中のわたし」の授業をする予定です。赤ちゃんの成長の過程と、生まれるまでの家族の方々の思いを知ることで、自分の命の大切さに気がつく機会にしたいと思えます。

<「おなかの中のわたし」について調べること>

1、生まれた時の大きさ 身長（ ）cm 体重（ ）g

2、家族の人の気持ち

★ おうちの人が気を付けたこと、うれしかったことなどを教えてください。

① 3か月（赤ちゃんができたとき分かった頃）

② 6か月（おなかの中の赤ちゃんが大きくなり動くようになったころ）

③ 9か月（もうすぐ生まれるよ！）

おなかの中のわたし

年

1. おなかの中で大きくなるようす

3ヶ月



6ヶ月



9ヶ月



2. わかったことやかんそうを書きましょう。



3. じぶんのいのちをたいせつにするために、どんなことに気をつけるか書きましょう。

小学校第3学年 題材名「男らしさ・女らしさって何？」

1 題材について

○ 題材設定の理由

本題材は、希望や目標をもって生きる態度の形成と望ましい人間関係の形成に関わる内容である。子どもたちは、1、2年生の特別活動の「たいせつなからだ」「おなかの中のわたし」等で、体の器官や働き、自分と他の人の心や体を大切にすることを学んでいる。また、この時期の子供たちは、持ち物や言葉遣い、立ち居振る舞い等を見て「男のくせに」「女みたい」等と何気なく口に出している。

そこで、一人一人の性格や好みには違いがあり、その個性を認め合い、「男らしさ」「女らしさ」にとらわれず、互いの「自分らしさ」を大切にしようとする態度を育てたいと願い、本題材を設定した。

○ 本題材の指導

本題材は、「男らしさ」「女らしさ」といった枠組みの中で無意識に生活していることに気づかせ、性別にとらわれず、自分の良さを大切にしようという気持ちが高まるように配慮する。また、「性の多様性」にも触れ、悩みを打ち明けられずにいる児童に寄り添い、相談できる環境を作っていきたい。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点
同じグループの友達の良い所やすごいと思う所をカードに書く。	○日ごろの友達の様子や自分との関わりの中から、良い所やすごいと思うところなど思い出させるようにする。

4 展開例

・ 本時の目標

性別についての意識を知ることを通じて、それにこだわらなくてもよいことを理解し、互いの良さや自分らしさを大切にすることを実践できるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

□ : ねらい □ : 発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 「女子は」「男子は」から思いつく言葉を考える。 □ <u>どんな言葉が思いつきますか？</u> <予想される反応> ・女子はおとなしい ・男子は力が強い ・どっちにも当てはまる言葉もある	○いくつか具体例を挙げるにより、課題をつかみやすくする。 ○自分の考えを発表しやすいように、プリントに書く。 ○男女に分ける作業に違和感を感じたり、思い浮かばない児童もいたりすることを配慮する。 ○日頃思っていることをしっかり発表させる。	学習プリント
	□ 一人一人の個性や良さについて考え、自分や友達を大切にすることができることを決めよう。		
展開	2 身体的特徴、嗜好等を書いたカードを、話し合いながら「女子」「男子」「どちらでも」に分ける。 <予想される反応> ・青は、男の子がよく使っているよ。 ・私も、青が好きだよ。 3 黒板を見ながら、「女子」「男子」のちがいについて考え、個々の特	○「青色が好き」「背が高い」「サッカーが上手」「ダンスが上手」「音楽が好き」等が書かれたカードを分ける作業を行うと、ジェンダーを基準にして考えることが予想されるので、例外を提示する等の手立てを準備し、ジェンダーではなく、個人を基準にすることで、「どちらとも」に整理されていくようにする。 ○黒板に「女子」「男子」「どちらとも」に分け	「青色が好き」、「背が高い」、「サッカーが上手」、「ダンスが上手」、「音楽が好き」等、身体的特徴や嗜好等を書いたカード

	徴や良さについて考える。 <予想される反応> ・「どちらとも」にはいるものが多いな。	て整理していく。 ○「女子は」「男子は」という決めつけた見方をせずに、一人一人の個性や良さを大切にしていけることに気付くことができるようにする。	
まとめ	4 グループの友達と良い所を書いたカードを交換し、気を付けることを発表する。〔自己決定〕 <予想される反応> ・サッカーをする時、男とか女と関係なく、仲よく一緒にやりたい。 ・自分の良いところを、これからも大切に、みんなともっと仲よくしていきたい。 5 先生の話聞く。	○友達の発表を聞いて、必要に応じて自分の決めたことを修正する。 ○一人一人の意思決定を認め、実践への意欲を高める。 ◆友達の意見を参考にし、互いの良さや自分の良さを大切にすることができる。【思考・判断・表現】 ○個々の個性や良さを尊重しながら、助け合って生活していくことの大切さを伝える。	前に書いたグループの友達の良い所カード 学習プリント・発言

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点
関連する絵本(※1)の読み聞かせをして、感想を交流する。	○関連する絵本の読み聞かせについて感想を出し合い、個々の個性や良さを尊重しながら、助け合って生活していくことの大切さについて、思いを深められるようにする。 ○具体的な行動について触れた発言について、称賛したり励ましたりし、成果が実感できるようにする。

(※1) 関連する絵本の例：『わたしはあかねこ』(作 サトシン 絵 西村敏雄 文溪堂 2011)

『りつとにじいろのたね』(文 ながみつまき 絵 いのうえゆうこ リーブル出版 2016)

6 資料等

男らしさ・女らしさって何? _____年

1 「女子は」「男子は」から思いつく言葉を書いてみよう。

「女子は」

「男子は」

2 友達からもらったカードをはりましょう。

3 自分や友達を大切にするためにこれからどうしていくか考えよう。



小学校第4学年 題材名「命の誕生」

1 題材について

○ 題材設定の理由

一人一人は大切な存在であり、自己や他者の命は何よりも大切にされるべきであるが、児童には、時として命を粗末にする言動が見られることがある。また、中学年はそれまで自己中心的な考えから、客観的に物事が考えられるようになっていく時期である。「自分がどのように生まれたのか」ということを知り、命の誕生の不思議や神秘に触れさせ、体内での成長や出産の様子について知り、自分の命の大切さや友達の命の大切さについて思考することは意義深いと考え、本題材を設定した。

○ 本題材の指導

本題材は、単元「体の発育・発達」「思春期の体の変化」と関連付け取り組む。自分自身に新しい命を誕生する・させることができる準備が始まることを学んだのを受け、2年生で学んだ「誕生した自分の命」の大切さから、さらに本時では、「次の命を誕生させる自分の存在」の大切さに気付かせたい。

また、個々の事情を十分に配慮し支援を行い、個の心の動きに寄り添った声掛けを行いつつ、事前の家庭でのインタビューや、事後の保健だより等で学習内容や授業での児童の様子を伝え、家庭と連携を図る。

授業は1人で行うことができるが、養護教諭とTTを行うことで、専門的な説明や多様な質問に答えられることもできより効果的な実践となると考え、T1を担任、T2を養護教諭として展開例を掲載する。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
自分自身の成長について振り返り、自分自身が赤ちゃんだった時のことについて考える。	○自分自身の成長を意識させ、赤ちゃんだった時のことについて関心をもてるようにする。 ○生まれた時の様子について親や家族へインタビューする。ただし、インタビューする内容や相手については、児童の家庭環境等に配慮する。 ◆自分自身の成長について振り返り、諸問題に気付いている。 【思考・判断・表現】（観察）

4 展開例

・ 本時の目標

「生命誕生」について話し合ったことや友達の見意見を参考にし、今後の生活の中で自分ができることを決めている。【思考力、判断力、表現力等】

□：ねらい □：発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 赤ちゃん誕生について知っていることを書こう。(T1) 命の誕生について知っていることを書いてください。	○これまで赤ちゃんについて勉強したことを振りかえって、自由に発言してもらおう。 ○各自付箋に記入して、その後グループになり、仲間分けする。 ○グループごとに発表する。	付箋 ホワイトボード ペン
	命の誕生について知り、今の自分ができることを考える		
展開	2 赤ちゃんが大きくなっていく様子を知る。(T2)	○卵子のカードを渡し、赤ちゃんは精子と卵子が合わさってできることやその大きさを確認する。	スライド 「おなかの中の赤ちゃん」

		○小さな受精卵から、赤ちゃんとなって生まれるまでの様子をスライドで見せて説明する。 ○グループで出たことや質問に答えることで、内容も深めていく。	出典：赤ちゃんの誕生 文ニコル・テイラー あすなる書房
まとめ	3 自分と友達の命の大切さについて考え、今後の生活の中で自分ができることを書こう。【自己決定】 <予想される反応> (T1) ・家族に対して感謝の気持ちを言葉にする。 4 振り返りを行う。	○グループでここまで学習したことについて感想や考えたことを発表し合い、命の大切さとの関連について考えさせる。 ◆話し合ったことや友達の意見を参考にし、今後の生活の中で自分が今できることを決めている。【思考・判断・表現】	学習プリント・発言

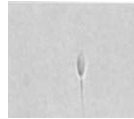
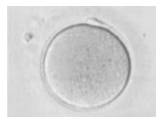
5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
意思決定したことについて、学習カードを基に振り返りを行う。	○帰りの会などを利用して、友達同士で取組を確認し合う場を設け、お互いに認め合うことができるようにし実践の継続化を図る。 ○よい取組については、保健だよりや学級だよりで紹介していく。 ◆意思決定した取組に進んで取り組んでいる。【思考・判断・表現】 (学習カード・観察)

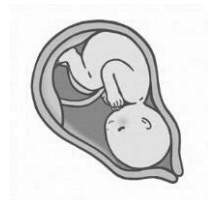
6 資料等

いのちの誕生 年 名前

1、新しい命は、()と()が合わさってできる。



2、「いのちの誕生」をみて、思ったこと、発見したこと、不思議だなと思ったことなどを書いてください。



3、「自分のいのち」や「友達のいのち」など、「いのち」について今自分ができることを考えよう。



4、授業をとおして感じたことを書こう。

小学校第4学年 題材名「いのちのつながり」

1 題材について

○ 題材設定の理由

本題材は、学級活動（2）「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の『ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成』に位置付けている。一般に中学年ごろから自己肯定感が下がる傾向にあるのは、メタ認知を働かせられる発達段階になってくるこの時期に、自分の特性（得意・苦手、好き・嫌い等）を認識し、悩みや困難を抱えることが多いことが理由の一つとして考えられる。

そこで、「自分」という存在は、多くのつながりの中で誕生したかけがえのない生命であり、周りには支えてくれる多くの人がいることに気付けるようにし、周りの人に助けを求めたり、互いに助け合ったりしながら、自他の生命を大切にしようとする態度を育てたいと願い、本題材を設定した。

○ 本題材の指導

本題材は、導入で絵本「いのちのまつり」を使うことで、自分の命は数え切れないご先祖様がだれか一人かけても生まれてこなかったことに気付かせたい。そして自分を支えてくれている人を書き出すことで、自他の生命を大切にしようとする気持ちを持たせ、生命の連続性や生命の大切さについて意識できるようにする。また、家庭環境等、児童の背負っている背景に配慮して授業を行うようにし、児童が悩みや困難さを相談できるスキルを身に付けさせるとともに、そうした環境に気付かせていきたい。

*絵本「いのちのまつり・ヌチヌグスージ」作：草場一壽 絵：平安座資尚 サンマーク出版

～本文より～

「ぼうやにいのちをくれた人は誰ね～？」 「それは・・・お父さんとお母さん？」
 「そうだねえ。いのちをくれた人をご先祖さまと言うんだよ」
 「いのちは目に見えないけれど、ずっとずっと、つながって行くのさあ～」
 「へえー、ぼくのいのちってすごいんだ」

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
道徳科において（内容項目「生命の大切さ」）学習する。	○道徳科の学習において生命の尊さについて考える機会を設定する。 ◆道徳科の評価とする。

4 展開例

・ 本時の目標

自分の生命や生活に繋がりのある人について、多角的に捉える活動を通して、自分を大切にする方法や工夫について考え、実践できるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

□：ねらい □□□□：発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 「いのちのまつり」を読む。 「いのちをくれた人はだれ？」と聞かれたとき、コウちゃんはどう思ったかな？ <予想される反応> ・お父さん、お母さん ・ご先祖様	○主人公コウちゃんが、生命のつながりを意識し始めていることを捉えることができるようにする。 ○自分の生命も親や先祖に継がっていることに気付かせるようにする。その際、児童の家庭環境等に十分に配慮する。	絵本「いのちのまつり・ヌチヌグスージ」 学習プリント
	自分の生命や生活を支えてくれている人について考え、自分の生命や生活を大切にするために、自分が取り組むことを決めよう。		

展開	<p>2 自分につながりのある人を知る。</p> <p>自分とつながっている人や自分を支えている人には、どんな人がいるかな？</p> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さん、お母さん ・おじいちゃん、おばあちゃん ・先生 ・友達 <p>3 自分を大切にしている具体的な方法や工夫について話し合う。</p> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなことをたくさんやって楽しむ。 ・友達とおしゃべりをする。 ・お母さんに話を聞いてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 父母等の血縁関係の他にも、身の回りにいる親しい人や、亡くなるなどして今は会えない人等、多様な関係性の人々を念頭に置いて発問するようにし、児童がそうした多くの人達との繋がりや支えを想起できるようにする。 ○ どんな関係の人と繋がり、支え合っているかを発表し合い、どの人も自分にとってかけがえない人であることに気付かせるようにする。 ○ 体の中では、次の生命をつなぐ準備が始まっていることについて説明する。 ○ 次の生命をつなぐのは自分であることや、自分と同じように友達の生命も受け継がれ、大切にされてきたことに気付かせるようにする。 ○ 家庭や学校での生活経験や児童の発想を生かして具体的な方法を見付けられるようにし、気分転換や相談の方法等の児童の発言内容を共感的に受け止め、価値付ける。 ○ 困った時、悩んでいる時など、具体的な場面を想起させながら、いつでも周りいる人に相談できることや、その方法等を伝える。 	
まとめ	<p>4 これから自分が取り組みたい『自分を大切にする方法』を決める。〔自己決定〕</p> <p>5 決めたことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が取り組むこと、継続していきたいことを具体的に意思決定し、実践できるようにする。 ◆ 自分の生命や生活を大切にするために取り組むことについて、具体的に考えて決めている。【思考・判断・表現】 	学習プリント・発言

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
意思決定したことについて、学習カードを基に振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帰りの会などを利用して、友達同士で取組を確認し合う場を設け、お互いに認め合うことができるようにし、実践の継続化を図る。 ◆ 意思決定した取組に進んで取り組んでいる。【思考・判断・表現】(学習カード・観察)

6 資料等

いのちのつながり

年 名前

1、「いのちをくれた人はだれ？」と聞かれた時、コウちゃんはどんなことを考えたのでしょうか？

2、自分が生まれてくるためにつながりある人や、毎日の生活を支えてくれている人はどんな人でしょうか？



3、自分を大切にしている具体的な方法や工夫について、自分がしていることや友達の話聞いて「いいな」と思ったことを書きましょう。

4、これから自分が取り組みたい『自分を大切にする方法』を決めましょう。

小学校第5学年 題材名「性被害の防止～SNSの危険～」

1 題材について

○ 題材設定の理由

本題材は、心身共に健康で安全な生活態度の形成にかかわる内容である。ほとんどの児童が、家庭でゲームやタブレット等でインターネットを通してSNSを利用できる状態である。他教科や道徳でもSNSの危険性について学習しているものの、自分事としてとらえていないことが考えられる。県内でもSNSに起因した事件や性犯罪が発生している現状について気付くとともに、安全な利用法について友達と一緒に考え、危険な状況に陥った時に大人へ相談できるようになってほしいと願い、本題材を設定した。

○ 本題材の指導

本題材は、実際に小学生の女の子がSNSで少しずつ危険な状況になっていく動画を見ることで、どのような行動に問題があるかを具体的に考えることができるようにするとともに、どのような行動をとればよかったかを具体的に考えることができるようにしたい。また、本時の学習は、実践の日常化が重要であるので、学級通信等で学習内容や授業での児童の様子を伝え家庭との連携を図る。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活の自己適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意識を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意志決定して実践している。	自己の生活をより良くするために、見通しをもったりふり返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
アンケートに記入する。	○自分自身のSNSについての認知具合や利用状況を振り返る。 ◆アンケートを記入し、自分自身のSNSとのかかわりについて考えることができている。【思考・判断・表現】（アンケート）

4 展開例

・ 本時の目標

SNSを通して他者と出会うことへの危険性を知るとともに、事例を通して自分自身のSNSの利用について今後どのように行動していくかを決める【思考、判断、表現等】

□：ねらい □：発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 SNSと生活について考える。 □この続きはどうなったでしょう？ <予想される反応> ・やばい ・いやらしいことされた ・殺された	○SNSに関する児童の実態についてアンケート結果を元に話す。 ○動画を見た後に、この続きを想像させることで、危険性に気付かせる。	文部科学省 HP 「情報モラルに関する指導の充実に資する（児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き）教材」 ネットの被害SNSを通じた出会いの危険性 学習プリント 警察署資料参照
展開	2 SNSを通じた出会いの危険性について考えよう。 □動画を見て、どんなことに気付きましたか？ <予想される反応> ・信じてしまった。・一人で会いに行った 「どうすればよかったでしょう。」 <予想される反応> ・大人に相談する。・警察に通報する。 ・情報の真偽を確かめる。	○危険なことになった原因を自分の生活に結びつけて、考えるようにする。 ○警察署などの資料を利用し、身近に実際SNSを利用した事件があることを紹介し、SNSを利用する以上危険性が含まれていることを説明する。 ○危険なことが自分に迫った場合に大人へ相談することの重要性を伝える。 ○安全なSNSの使い方について考えさせる。	

まとめ	<p>3 これからの SNS 利用の仕方について考える。〔自己決定〕 <予想される反応> ・個人情報は載せない・会いに行かない ・情報を確かめる。 ・困ったら親に相談する。 4 振り返りをする。</p>	<p>○これからの利用の仕方について考えたことをプリントに書かせる。 ◆自分自身の SNS の利用について今後どのように行動していくかを定める【思考・判断・表現】</p>	学習プリント・発言
-----	--	--	-----------

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
意思決定したことについて、プリントを基に振り返りを行う。	<p>○帰りの会などを利用して、友達同士で取組を確認し合う場を設け、お互いに認め合うことができるようにし、実践の継続化を図る。 ◆意思決定した取組に進んで取り組んでいる。【思考・判断・表現】 (学習カード・観察)</p>

6 資料等

SNS との関わり方

年 _____

1、ひかるさんの行動を見て、気がついたことや考えたことを書きましょう。

2、どうすればよかったですでしょうか？

3、自分の生活を振り返って、これから SNS を利用する際に気を付けることを書きましょう。



4、今日の学習の振り返りをしましょう。

事前アンケート

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）について

年 _____

1 SNSを知っていますか？

- ①言葉を聞いたことがある ②言葉を聞いたことがない→おしまいです。

①と答えた人は2へ進んで下さい。

2 SNSを使う目的はどんなことだと思いますか。（複数選択可）

- ①情報収集のため ②相手と連絡をとるため ③友人・知人の様子を知るため
④自分の写真や文章等を見せるため ⑤コミュニケーションをとるため
⑥ひまつぶしのため ⑦その他（ ）

3 あなたはSNSを使っていますか

- ①いつも使っている ②使ったことがある ③使ったことがない→おしまいです。

①・②と答えた人は4へ進んでください。

4 SNSを使う際の端末は何ですか。（複数選択可）

- ①スマートフォン（自分用） ②スマートフォン（家族用） ③PC（自分用）
④PC（家族用） ⑤タブレット（自分用） ⑥タブレット（家族用）
⑦音楽プレイヤー ⑧ゲーム機 ⑨その他（ ）

5 あなたが使ったことがあるSNSは何ですか。（複数選択可）

- ①LINE（ライン） ②Instagram（インスタグラム） ③Twitter（ツイッター）
④YouTube（ユーチューブ） ⑤Facebook（フェイスブック） ⑥TikTok（ティックトック）
⑦その他（ ） ⑧使ったことがない

6 あなたが使ったことがあるSNSの機能は何ですか。（複数選択可）

- ①動画を見る ②有名人の写真や記事を見る ③写真や動画などを投稿する
④友達や知り合いの投稿を見る ⑤情報の検索 ⑥電話で連絡をとる（家族）
⑦電話で連絡をとる（会ったことのある友達） ⑧電話で連絡をとる（会ったことのない人・友達）
⑨メッセージを送る（家族） ⑩メッセージを送る（会ったことのある友達）
⑪メッセージを送る（会ったことのない人・友達） ⑫その他（ ）

7 SNSの利用時間は、1日どのくらいですか

- ①30分未満 ②30分以上60分未満 ③60分以上2時間未満 ④2時間以上

	○のついたところをリフレミングしてみよう	○ヒントカードも準備しておく。	
まとめ	4 自分の良さを生活の中に活かす方法について考える。 〔自己決定〕 <予想される反応> ・負けず嫌いを活かして、あきらめずに最後までがんばる。 ・おだやかな性格を活かして、友だちにやさしくする。 5 振り返りをする。	○リフレミングした内容を発表してもらい、その良さをこれからの生活に活かす方法を考える。 ○感想や考えたことをプリントに書かせ、発表できる人に発表してもらおう。 ○うまくいかないときや悩んだときは、リフレミングしてみるとよいことを伝える。 ◆友達の意見を聞き、自分の良さに気がつき、どのように生活に活かしていくのか考えている。【思考・判断・表現】	学習プリント・発言

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点◆評価
自己決定したことについて、プリントを基に振り返りを行う。	○帰りの会などを利用して、友達同士で取組を確認し合う場を設け、お互いに認め合うことができるようにし、実践の継続化を図る。 ◆自己決定した取組に進んで取り組んでいる。【思考・判断・表現】 (学習カード・観察)

6 資料等

『自分を見つめる』

名前 _____

1、あなたはどんな人ですか？“私は…”に続くように5つ書きましょう。

(1) 私は _____ です ⇒ 私は _____ です

(2) 私は _____ です ⇒ 私は _____ です

(3) 私は _____ です ⇒ 私は _____ です

(4) 私は _____ です ⇒ 私は _____ です

(5) 私は _____ です ⇒ 私は _____ です

2、リフレミングとは（ ）や（ ）を変えること

3、1の○のついたところを、リフレミングしてみよう。

4、自分の良い所を、これからの生活の中で、生かしてみよう。

・○○のとき、○○できそう！



5、授業を振りかえって、考えたことや思ったことを書きましょう。

小学校第6学年 題材名「自分らしく生きる」

1 題材について

○ 題材設定の理由

本題材は、心身共に健康で安全な生活形成にかかわる内容である。思春期は体の変化や性への関心で悩む時期でもある。そんな時期に、性的指向や性自認に不安を覚えたり疎外感を感じたりしている児童もいる。また、普段の何気ない行動や言動がそのような少数派の人を排除したり傷つけたりしていることもある。

そこで、心や体の成長には個人差があることや性の多様性などについて知ることで、他の人と比べるのではなく「自分らしく」生きてほしいと願い、本題材を設定した。

○ 本題材の指導

本題材は、性の多様性について知ることで、性的指向や性自認について様々な形があること気づかせたい。そして、性同一性障害の方の手記を紹介することによって偏見や差別について考えさせたい。また互いに良さを見つけ合うことにより、他の人と比べるのではなく、自分の良さを大切にしようという気持ちが高まるように配慮する。この授業を行うことにより、誰にも悩みを打ち明けられずにいる児童に寄り添い、相談できる環境を作っていきたい。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活の自己適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意識を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意志決定して実践している。	自己の生活をより良くするために、見通しをもったりふり返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
アンケートに記入する。	○自分自身の心と体の性について考えさせる。 ◆アンケートを記入し、自分自身の心と体の性について考えることができている。【思考・判断・表現】（アンケート）

4 展開例

・ 本時の目標

思春期の心と体と性については個人差や多様性があることを知ることを通じて、人と比べるのではなく自分らしく生きることを実践できるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

□：ねらい □：発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 思春期の悩みについて考える。	○事前のアンケートをもとに、心や体、性についての悩みについて考えさせる。 ○思春期の体と心の発達には、個人差があり、他の人と比べる必要がないことを知る。	アンケートの結果 スライド
展開	2 性には多様性があることを知る。 3 性による差別について考える。 お話を聞いて、どのように考えましたか？	○性の多様性について、イラストで分かりやすく説明をする。 ○はっきり分かれるわけではなく、グラデーションがあることも付け加える。 ○特別なことではなく、身近にいることに気づかせる。 ○手記を読むことによって、その人たちがつらい思いをしたり、差別を受けていたりすることに気付けるようにする。 みんなが自分らしく生きるためにはどうしたらよいかを考えよう。	手記（性差別について） ※学級内にいることを踏まえ。
まとめ	4 自分らしさについて考える。 〔自己決定〕	○自分と他の人を比べるのではなく、そのままの自分でよいことや自分らしく生きることの大切さを伝える。 ○自分らしさについてプリントに書くが、自分で書けないとき	学習プリント

め	<p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と比べなくても良いことを知った。 ・自分の良いところが分かってうれしかった。 <p>5 振り返りをする。</p>	<p>は、グループや近くの人に聞いて書くことで、他の人の良いところにも気が付く機会としたい。</p> <p>◆友達の意見を聞き、「自分らしさ」に気がつき、どのように自分らしく生きていけるのかを考えている。【思考・判断・表現】</p> <p>○最後にどうしても悩んで困ったときに、相談してほしいことを伝える。</p>	
---	--	---	--

5 事後の指導

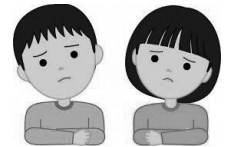
活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
自己決定したことについて、プリントを基に振り返りを行う。	<p>○帰りの会などを利用して、友達同士で状況を確認し合う場を設け、お互いに認め合うことができるようにし、実践の継続化を図る。</p> <p>◆自己決定したことを意識しながら生活している。【思考・判断・表現】</p> <p>(学習カード・観察)</p>

6 資料等

<事前アンケート> 体と心のアンケート

みなさんは大人に向かって、日々成長しています。特に思春期には、心と体が大きく変化するので、悩みが多くなることもあります。

あなたは今、どんな不安や悩み、気になることがありますか？
当てはまることに○をつけて、その他（ ）には具体的に記入して下さい。



年

1 体のこと

- ・身長や体重など体の成長が心配（ ）
- ・かみ型や顔、服装など見た目が気になる（ ）
- ・にきび・声変わり・性器に毛が生える・胸が大きくなるなど体の変化（ ）
- ・精通や月経のこと（ ）
- ・その他（ ）

2 心のこと

- ・周りの人が自分のことをどう思っているか気になる（ ）
- ・ちょっとしたことにイライラする（ ）
- ・大人に指示されたりするのがいや（ ）
- ・学校に行きたくなくなる（ ）
- ・一人になりたい（ ）
- ・ちょっとしたことでもおちこんでしまう（ ）
- ・その他（ ）

3 性のこと

- ・好きな人がいる（ ）
- ・エッチなもう想がとまらない（ ）
- ・異性と今まで通り話すことができない（ ）
- ・みんなは好きな人の話とかするけど、興味が無い（ ）
- ・現実の人より、アイドルやゲームのキャラクターなどの方がいい（ ）
- ・異性（男→女）よりも同性（男→男 女→女）の方がすき（ ）
- ・その他（ ）

4 その他 心や体について相談したいことがあったら、自由に書いて下さい。

<学習プリント>

自分らしく生きる

年 _____

1、性の多様性について話を聞き、考えたことを書きましょう。



2、あなたの「自分らしさ」は何ですか？

3、どうしたら「自分らしく生きていけていけるのか」を考えよう。

4、体のことや心のことで心配なことがあったら書いてください。

5、授業の振り返りをしましょう。

<参考文献・資料>

- ・ 4年生の保健・体育の教科書「みんなの保健」 学研
- ・ 国際セクシュアリティ教育ガイダンス【改訂版】～科学的根拠に基づいたアプローチ～ ユネスコ
- ・ 性の多様性を認め合う児童生徒の育成Ⅱ 倉敷市教育委員会
- ・ 健」2018年11月号 株式会社 日本学校保健研修社

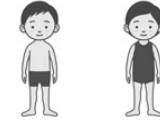
自分らしく生きる

元気に生まれたね

ここで問題！
このあかちゃん
は男の子？女の子？



すくすくと育ちました



大人になる心と体



体のこと

かっこよ
くしたい。


男の子は
はたくすの
がよい。

女の子は
かわいら
しくしたい。

男の子は
はたくすの
がよい。

女の子は
かわいら
しくしたい。

思春期の体の変化は個人差があります



その人にとって一番良いタイミングで変化が起きます。

心のこと

男の子は
はたくすの
がよい。

女の子は
かわいら
しくしたい。

男の子は
はたくすの
がよい。

女の子は
かわいら
しくしたい。

目に見えないけど、心も成長しているのです。

他人からどう思われるか気になる

自分を表現したい

大人がむかづき自分の考えで行動したい

■みんなちがって、みんないい

性のこと

男の子は
はたくすの
がよい。

女の子は
かわいら
しくしたい。

男の子は
はたくすの
がよい。

女の子は
かわいら
しくしたい。

性のあり方は多様なのです

身体的性 染色体・性腺・性ホルモン	心理性・性意識 性別役割・性役割	割り当てられた性
身体的性 染色体・性腺・性ホルモン	心理性・性意識 性別役割・性役割	心の性(性的自認)
身体的性 染色体・性腺・性ホルモン	心理性・性意識 性別役割・性役割	性的指向
身体的性 染色体・性腺・性ホルモン	心理性・性意識 性別役割・性役割	表現する性

体の性と心の性が違う時もあるし、好きになり方も、人それぞれです

グラウンディングがある

LGBT 聞いたことがあるかな

L G B T

レズビアン

ゲイ

バイセクシャル

トランスジェンダー

T(トランスジェンダー・性同一性障害)の人の手記を読みます


体は女
心は男

■あなたはどう思いましたか？

人と比べることって必要な？

■みんなちがって、みんないい

みんなが自分らしく生きるためにはどうしたらよいかを考えよう



あなたはあなたらしく生きてほしい

■自分らしくさって何だろう

自分で考えたい人、周りの人に聞いてみて！

聞いてくれてくれてありがとう

それでも悩んでしまう時
自分ではどうにもならない時

相談しよう

友達・親・家族・先生・保健の先生
スクールカウンセラー
お医者さん・こころの電話

だいじょうぶ。あなたは一人じゃないよ。

【コラム】 「多様な性」から「多様性」を学ぶ

突然ですが、皆さんそれぞれの「属性」を5つ挙げてください。

教師、夫、母親、町内会長、山形県民…その中の一つを選んで「〇〇に対する理解と対応」と言ってみてください。たとえば「教師に対する理解と対応」、当事者としてどんな印象を受けますか？「教師という集団は変わっている人々だから、その特性を理解した上でうまく対応する必要がある」と言われているようで、あまり愉快ではありませんね。このように自分事として考えてみると「理解と対応」という発想には、（意図しないものとしても）自分たちとは違う人々という意識が見え隠れして、当事者を不快で悲しい気持ちにさせる可能性があることに気づきます。文部科学省の通達により「自殺予防目的」という観点から、性的マイノリティーへの理解と対応が必要であるという認識は広まりましたが、現場の先生方から「LGBT研修会に参加したが、子どもたちにどう伝えたらよいかわからない」「当事者だとカミングアウトされたが学校では何をどう対応したらよいか」という声をお聞きします。次の3人の先生方の著書や論文、講演記録を参考にしてみてください。皆さん自身の中にあるアンコンシャス・バイアスに気づき、この悩みや戸惑いを解決する緒が見つかるかもしれません。

- ・日高庸晴先生（宝塚大学看護学部教授）<https://health-issue.jp/>「こどもの“人生を変える”先生の言葉があります2021」他、学習教材や研修会で活用できる資料が満載です。
- ・針間克己先生（はりまメンタルクリニック院長）日本性科学会理事長。性同一性障害に関する功績は多数。専門とはやや毛色が違いますが「私たちの仲間—結合双生児と多様な身体の未来（アリス・ドムラット・ドレガー著）」の訳者あとがきに私は深い感銘を受けました。「慣れ親しんだことばかりを正常と捉える人間というもののおかしさを娘から私は教えてもらったのである」
- ・熊谷晋一郎先生（東京大学先端科学技術研究センター准教授）専門は小児科学、当事者研究。カテゴリーからディメンションへ、治る基準は当事者が決める、社会を変える、をキーワードに「障害は身体の中ではなく外にある、つまり社会や環境の側を改善する」という考え方を科学者であり脳性麻痺の当事者の立場から発信しています。「自立とは依存先を増やすこと」—性教育講話ではいつもこのメッセージで締めくくっています。困った時辛い時に、周りの人に助けを求め支援を受ける力＝受援力は、私たち大人こそが最も備えたい力です。

性を学ぶことは、多様性、すなわち自分を含めたすべての人の「人権」を守ること。皆さんの人権は、守られていますか？

婦人科医 井上聡子 sinoue@f3.dion.ne.jp

性に関する指導計画（中学校 参考例）

		保健体育（保健分野）	特別活動	関連教科等 総合的な学習の時間
1年	4月	(2) 心身の機能の発達と心の健康 (ア) 身体機能の発達 (イ) 生殖に関わる機能の成熟 ・思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。 (ウ) 精神機能の発達と自己形成 (エ) 欲求やストレスへの対処と心の健康	【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事 『心肺蘇生法講習』 【学級活動】 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ 男女相互の理解と協力 中学校（特別活動）実践事例 ウ 思春期の不安や悩みの解決 性的な発達への対応 『思春期の悩みや不安の解消』	【総合的な学習の時間】 目標にふさわしい探究活動 【理科】 いろいろな生物とその共通点、生物の体の共通点と相違点 【道徳科】 (9) 相互理解、寛容 (19) 生命の尊さ等 【家庭科】 家族・家庭生活、衣食住の生活
	3月			
2年	4月	(3) 傷害の防止 (イ) 交通事故などによる傷害の防止 ・通学路を含む地域社会で発生する犯罪が原因となる傷害とその防止について取り上げる。	【学級活動】 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ 男女相互の理解と協力 【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事 『いのちの講話』 中学校（特別活動）実践事例 【学級活動】 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応 『性情報への対応、性犯罪被害・加害の防止』	【総合的な学習の時間】 目標にふさわしい探究活動 【理科】 生物の体のつくりと働き、生物と細胞・動物の体のつくりと働き 【道徳科】 (10) 遵法精神、公德心 (11) 公正、公平、社会正義等 【家庭科】 家族・家庭生活、衣食住の生活
	3月			
3年	4月	中学校（教科等）実践事例 (1) 健康な生活と疾病の予防 (ウ) 感染症の予防 ・感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。	【学校行事】 (3) 健康安全・体育的行事 『生命の尊さに関する講話』 【学級活動】 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ 男女相互の理解と協力	【総合的な学習の時間】 目標にふさわしい探究活動 【理科】 生命の連続性、生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化 【社会科】 私たちと現代社会、私たちと経済、私たちと政治、私たちと国際社会の諸課題 【道徳科】 (8) 友情、信頼 (9) 相互理解、寛容等
	3月			

1 単元の目標

- (1) 病原体が主な要因となって発生する感染症、また、発生源、感染経路、主体への対策による感染症の予防について理解することができるようにする。
- (2) 感染症に関する事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。
- (3) 感染症の予防について、自他の健康の保持増進や回復等の学習活動に自主的に取り組むことができるようにする。

2 単元について

病原体が主な要因となって起こる病気の予防は、小学校体育科保健領域で学習している。

それらを踏まえて、病原体が主な要因となって発生する感染症、発生源、感染経路、主体への対策による感染症の予防について理解できるようにする必要がある。また、感染症の予防に関する課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現できるようにすることが必要である。

本単元では、感染症の予防について理解させることにより、生涯を通じて感染症の予防に必要なことを考えさせたい。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減すること、また、自然環境、社会環境、主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で、病原体が身体に侵入し発病することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②感染症を予防するには、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることが有効であること、また感染症にかかった場合は、疾病から回復することはもちろん、周囲に感染を広げないためにも、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①感染症の予防について、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等に係るリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。</p> <p>②性感染症の予防について、習得した知識を自他の生活と関連付け、疾病等にかかるリスクを軽減する方法を選択した理由を他者と話し合ったり、記述したりして伝えている。</p>	<p>①感染症の予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

4 単元計画

	第1時	第2時	第3時	第4時（本時）
主な学習内容	○感染症は、病原体が主な要因となって発生することについて理解することができるようにする。	○感染症の多くは発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることについて理解できるようにする。	○性感染症の疾病概念や感染経路や、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。	○エイズの疾病概念や感染経路や、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。

学習活動	<p>1 インフルエンザに感染する原因について考える。</p> <p>2 学習のねらいを知る。</p> <p>3 国によって流行する感染症が違うことについて考える。</p> <p>4 病原体の種類ごとの感染経路を調べる。</p> <p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(知識・技能①) (思考・判断・表現①)</p>	<p>1 インフルエンザの予防法について話し合う。</p> <p>2 学習のねらいを知る。</p> <p>3 感染症の予防方法について考える。</p> <p>4 自分が感染症にかかった場合に取りべき行動について考える。</p> <p>5 本時の学習のまとめをする</p> <p>(知識・技能②) (主体的に学習に取り組む態度①)</p>	<p>1 性感染症報告数のグラフを見て気付いたことを発表する。</p> <p>2 学習のねらいを知る。</p> <p>3 性感染症の疾病概念や種類を知る。</p> <p>4 性感染症を予防したり、広がりを防いだりする方法を考える。</p> <p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(知識・技能③) (思考・判断・表現②)</p>	<p>1 学習のねらいを知る。</p> <p>2 エイズの特徴、感染経路、予防法を調べる。</p> <p>3 調べたことを伝える。</p> <p>4 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(知識・技能③) (主体的に学習に取り組む態度①)</p>
------	---	--	--	---

5 展開例

(1) 本時の目標 (4時間計画の4時間目)

エイズの疾病概念や感染経路、感染リスクを軽減する効果的な予防方法があることについて理解できるようにする。【知識及び技能】

(2) 展開

□ : ねらい □ : 発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	知識構成型ジグソー法 (協調学習)	○ 授業前に学校全体で共通理解を図るとともに、学年だより等で学習内容を保護者等に周知し、理解を得るように配慮する。	・ホワイトボード
	1 課題提示 (3分)	○ 前時の性感染症を予防したり、広がりを防いだりする方法を確認する。 ○ 予防方法を考える時、病気を知ることが必要である見方を再確認する。	
	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> エイズの予防方法は、感染源をなくすことか？ </div>		
	2 課題理解度確認 (1分)		
	3 ジグソー班決め (1分)	○ 授業の流れをホワイトボードへ記載する。	
展開	4 エキスパート活動 (13分) A班 エイズの特徴 B班 エイズの病原体感染経路 C班 HIV感染症の予防方法	○ 教科書に記載の太文字のキーワードは必ず取り上げるようにする。	・教科書 ・学習カード ・タブレット
	5 ジグソー活動 (9分) A班 エイズの特徴 B班 エイズの病原体感染経路 C班 HIV感染症の予防方法	○ 教える人は、ポイントを意識して自分が調べた事をグラフや図、資料等をもとに説明する。学習カードにまとめやすいように視点を与えて説明をする。	・学習カード ・図や絵、別資料等 ・教科書

	A⇒B⇒C	○ 教えられる側は、学習カード（ウェビングマップ）に記入する。聞いているだけでなく、質問をして調べた事を引き出す。																						
まとめ	<p>6 グラフから読み取れることをジャムボードに記入し、根拠を考える。（6分）</p> <p>新規HIV感染者・AIDS患者の年齢別内訳（2015年） <small>出典：厚生労働省エイズ動向委員会</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢別</th> <th>HIV</th> <th>AIDS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10歳未満</td> <td>0.1%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>10歳代</td> <td>0.7%</td> <td>11.7%</td> </tr> <tr> <td>20歳代</td> <td>31.8%</td> <td>24.5%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>32.3%</td> <td>36.9%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>24.1%</td> <td>26.6%</td> </tr> <tr> <td>50歳以上</td> <td>11.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%とならない。</p> <p>HIV感染症は20～30歳代、AIDS患者は30～40歳代が多い。 2</p> <p>7 ジグソー班での個人の考えを発表し、班で根拠を考える。（8分）</p> <p>8 学習カード記入（7分）</p> <p>9 課題の達成状況確認（1分）</p> <p>10 学習のまとめ（1分）</p>	年齢別	HIV	AIDS	10歳未満	0.1%	0.2%	10歳代	0.7%	11.7%	20歳代	31.8%	24.5%	30歳代	32.3%	36.9%	40歳代	24.1%	26.6%	50歳以上	11.0%		<p>○ 個人で考える時間を確保する。</p> <p>◆ グラフから読み取れることをエイズの原因や感染経路と関連づけ、効果的な予防方法を言ったり書き出したりしている。 【知識・技能③】</p> <p>○ エイズの主な感染経路は性的接触によるものであり、潜伏期間がある等感染していることに気が付きにくいいため、感染が広がりやすい。 ○ 感染症を予防するには、感染症予防の三原則から考えることが大切になる。しかし、エイズの疾病概念や感染経路を考えると、現在は感染経路を断つことが効果的な方法である。</p>	<p>・Google ジャムボード</p> <p>・Google ジャムボード</p> <p>・学習カード</p>
年齢別	HIV	AIDS																						
10歳未満	0.1%	0.2%																						
10歳代	0.7%	11.7%																						
20歳代	31.8%	24.5%																						
30歳代	32.3%	36.9%																						
40歳代	24.1%	26.6%																						
50歳以上	11.0%																							

(4) 資料等

- ① 新しい保健体育（東京書籍）
- ② 生徒用タブレット
- ③ 学習カード

6 他教科・領域との関連

(1) 特別活動との関連

中学生は、性的な発達も著しく、情緒が不安定になるようなこともあり、様々な心の葛藤や遊びに傾斜する心と結び付き、性的な逸脱行動として表れることもある。そのため、性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、適切な行動がとれるように指導を行うことが大切である。

特に、性に関する情報があふれる現代社会にあっては、本題材での学習を踏まえ、自己の行動に責任をもって生きることの大切さや、人間尊重の精神に基づく男女相互の望ましい人間関係の在り方などと結び付けて指導していくことが有効である。例えば、「思春期の心と体の発育・発達」「性情報への対応」「エイズや性感染症の予防」「友情と恋愛と結婚」などについて、生徒の発達の段階等を踏まえた題材を設定し、資料や専門家の講話等を基にした話合いや討論、専門家の講話を聞くなどの活動の展開が考えられる。特に、性については、個々の生徒間で、発達の段階や置かれた状況の差異が大きいことから、事前に、集団指導として行う内容と個別指導との内容を区別しておくなど計画性をもって実施する必要がある。

(2) 総合的な学習の時間との関連

感染症は世界的な健康課題の1つである。よって、本単元で学習したことを基に、世界に目を向け、世界の福祉について学習を発展させ、より健康について関心を高めることが可能である。

中学校第1学年	題材名「思春期の不安や悩みの解消」
---------	-------------------

1 題材について

(1) 教育課程上の位置付け

第1学年 特別活動「学級活動（2）ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応」

(2) 題材設定の理由

思春期の生徒達は急速に発育・発達していく心と体の変化に悩み、戸惑い、インターネットや雑誌、友達などからのあやふやな情報を頼りに、間違えた行動選択をする危険性がある。

また、自我の目覚めとともに自己主張も強くなるため、周囲への反抗や自身の感情をコントロールできない状況も生じ、自己を見失う行動を起こしてしまうこともある。

そこで、二次性徴に伴い心と体の変化が著しいこの時期に、正しい知識を身に付け、自己理解を深めることによって、思春期特有の不安や悩みに適切に対処できると考え本題材を設定した。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い、実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだしている。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 自己の生活上の課題解決に他者と協働しながら取り組み、見通しをもったり振り返ったりしながら悩みや葛藤を乗り越えようとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
<ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康（保健体育） （イ）「生殖に関わる機能の成熟」 （ウ）「精神機能の発達と自己形成」の授業 ・事前に題材について予告（終わりの会） ・アンケートの実施（終わりの会） 	<p>○不安や悩みなどを調査し、表やグラフにまとめる。</p> <p>○これまでの生活を振り返る時間を設け、課題への意識を高められるようにする。</p> <p>○アンケート結果をいかして題材を決定する。</p> <p>○アンケート結果から、学級や個人の課題をつかみ、話し合い、自己決定へつなぐ活動を計画する。保健体育との関りから、保健体育科の教諭とも連携を図る。</p> <p>◆思春期の不安や悩み等の課題を見出している。 【思考・判断・表現】（アンケート）</p>

4 展開例

(1) 目指す生徒の姿

- ① 思春期の心や体の変化とそれに伴う不安や悩みについて理解できる。
- ② 不安や悩みを受けとめ、多様な意見をもとに、解決に向けた適切な意思決定ができる。

(2) 本時の展開

□ : ねらい □ : 発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料
導入	1 思春期の心や体の変化とそれに伴う不安や悩みについて知る。	○事前アンケート結果を見て意見を出し合う。 ○自分の心や体の変化に気づかせるとともに、友達も同じように不安や悩みを抱いていることを理解させる。	【資料Ⅰ】：アンケート
	2 保健の授業で、中学1年生に多い悩みや不安について学んだことを確認する。 (つかむ)	○保健の授業で学習した内容を補足説明する。中学1年生に多い悩みや不安(2014)を提示し、他の学校の中学生も、自分たちと同じ傾向にあることを知らせる。	【資料Ⅲ】保健体育の教科書(電子教科書の活用)
展開	思春期の不安や悩みへの対処方法を考えよう		
	3 思春期の不安や悩みには、二次性徴に伴う心と体の変化が関係していることを理解し、なぜ解決する必要があるか明確にする。 (さぐる)	○思春期に、不安や悩みがあるのは自然なことであり、不安や悩みを抱え込まないで適切に対処する必要があることを理解させる。 ◆思春期の不安や悩みを抱え込まないで適切に対処する必要があることを理解している。【知識・理解】(ワークシート)	【資料Ⅱ】ワークシート1
	4 アンケート集計結果より、話しあうテーマをしばり、不安や悩みの対処方法について、ブレインストーミングの手法を用いてグループで話し合う。 (見つける)	○話し合うテーマについては、集計結果の多いものや学級の状況等をもとに、自分達で決定させる。 ○司会と発表者などの役割分担をさせる。 ○できるだけ多く意見を出し合い、出された意見等を批判しないなど、ブレインストーミングの進め方を説明する。 ○出された対処方法について分類する。 ○一般論として理解するとともに、自分ごととしてとらえさせ、「自分だったらどうするのか」を考えさせる。	【資料Ⅱ】ワークシート2(1) 付箋など
5 グループで話し合った内容について紹介し合う。	○グループの発表者に紹介させる。 ○教師が指導すべき視点を明確にする。	ワークシート2(2)	
終末	6 話し合ったことを参考にし、これからの自分の不安や悩みへの対処の仕方考え方について自己決定をする。 (決める)	○自分にあつた対処方法が選択できるよう、他の人の意見も取り入れて、自分ができそうな対処方法について考える。 ○努力しようと思えるような意思決定に結び付ける。 ◆多様な意見をもとに、自分に合った方法を選択し意思決定している。 【思考・判断・表現】(ワークシート)	ワークシート2(3)
	7 今日の授業を振り返り、自己評価する。		

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
<ul style="list-style-type: none"> ・実践（日常生活） ・実践状況や成果、課題等の把握（保健体育） ・振り返り（終わりの会） 	<ul style="list-style-type: none"> ○受け止め方を見直したり、気分転換やリラクゼーションの方法を試したり、信頼できる人に相談する等自分に合った方法を実践する。 ○心身の機能の発達と心の健康（エ）「欲求やストレスへの対処と心の健康」と本時の内容を関連づける。 ○自分にあつた対処方法を実践し、上手くいった経験等の対処方法を紹介する。 ○実践の過程や成果を振り返り、今後へいかす。 ◆実践を振り返り、自分の健康で安全な生活を構築しようとしている。【主体的態度】（学期振り返りシート）

6 他教科等との関連

(1) より効果的な実践のために

思春期における性に関する不安や悩みは、生徒にとって深刻な問題であり、担任だけでは対応できないことが多くなる。学級担任が、日常的にスクールカウンセラー、養護教諭と連携した活動をすることで、相談しやすい雰囲気を築くことができる。また、性に関しての不安や悩みを解消できるだけでなく、性トラブルを未然に防ぐことができると考える。

(2) 保健体育科保健分野と関連

第1学年の「生殖に関わる機能の成熟」において、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解させる。

7 資料等

【資料Ⅰ】：アンケート（例）

【資料Ⅱ】：ワークシート（例）

【資料Ⅲ】：中学1年生に多い悩みや不安（2014）：保健体育の教科書（電子教科書の活用）

参考資料

(1) 保健体育教科書

(2) 山形県スクールカウンセラー 寒河江亜衣子(公認心理士) 中学生向け思春期講話資料より

【資料Ⅰ】 アンケート（例）

心と体のアンケート

みなさんは、大人に向かって日々成長しています。特に思春期には、心と体が大きく変化します。中学生になって、どんなことが変わってきたでしょう。

問) あなたは、今、どんな不安や悩み、気になることがありますか？自分の心や体について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| 1 周りの人が「自分をどう思っているか」気になる | () |
| 2 先生や家の人への不満が増え、反抗的になる | () |
| 3 「イライラ」「もやもや」する | () |
| 4 一人になりたい時がある | () |
| 5 髪型や服装など容姿のことが気になる | () |
| 6 人を好きになること、つきあうことについて悩みがある | () |
| 7 友だちと性に関する話をしたり、異性の画像を見たりしたことがある | () |
| 8 自分の体の変化について悩みがある | () |
| 9 射精や月経について、不安や悩みがある | () |

～思春期の不安や悩みの対処方法を考えよう～

1 思春期に不安や悩みが多くなるのはどうしてだろう？

○二次性徴に伴い、急速に発育・発達していく心と体の変化が関係している。

・性ホルモンの働き：身体の変化・性への関心など

・脳の発達：①思春期に感情をつかさどる領域が急激に発達する。

②健全な判断と衝動のコントロールをつかさどる領域は発達するが、①より遅く成熟する。

→つまり「感情が刺激されやすいが、健全な判断による衝動コントロールが難しい」

2 思春期の不安や悩みの対処方法を考えよう

（ ）班：項目（不安や悩みの内容）

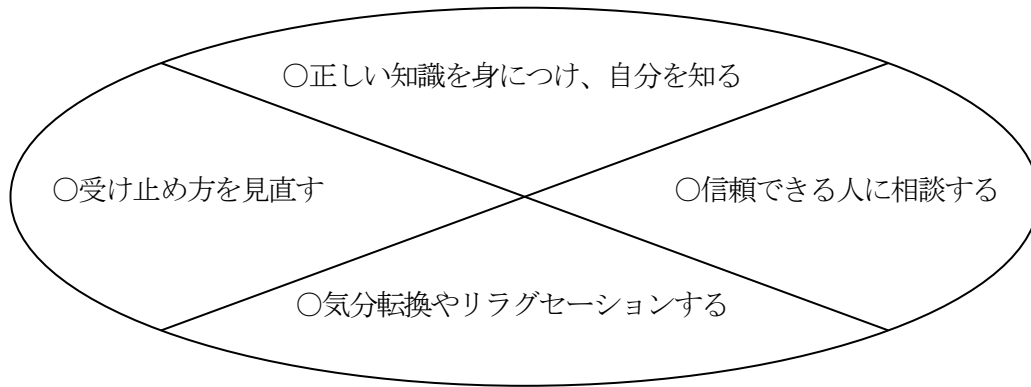
（1）上の項目（不安や悩みの内容）について、対処方法について考えてみよう。

① 自分の考え

② グループで話し合った内容

（2）他のグループで紹介があった対処方法を分類し、まとめてみよう。

分類（例）



（3）今日の授業を振り返って

自分が抱いていた不安や疑問についてわかったこと、自分ができそうな対処方法について書いてみよう。

【今日の自分】

今日の自分は進んで話し合いに参加しましたか。（ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ）

今日の自分は積極的に考えましたか。（ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ）

今日の授業から新しい発見はありましたか。（ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ）

今日の授業は、自分の成長の役にたちそうですか。（ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ）

中学校第2学年	題材名「性情報への対応、性犯罪被害・加害の防止」
---------	--------------------------

1 題材について

(1) 教育課程上の位置付け

第2学年 特別活動「学級活動（2）エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」

(2) 題材設定の理由

スマートフォンの普及で個人の情報発信が容易になり、SNS等を介した性被害が増加している。性に対する正しい理解を基盤に、生徒を取り巻く性に関する様々な危険から自分自身を守り、被害者にも加害者にもならないよう正しく判断行動できるように、本題材を設定した。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだししている。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
<ul style="list-style-type: none"> 「男女の理解と協力」「思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応」（学級活動） 事前に題材について予告（終わりの会） 	○自分のスマートフォン等の使用について、振り返ることができるようにする。

4 展開例

(1) 目指す生徒の姿

- ① 性犯罪の中でも特に身近に起こりうる、SNS等を利用する上での性犯罪被害の原因や背景について理解することができる。
- ② 性犯罪被害者・加害者にならないようにするにはどうしたらよいか、どのような方法があるのか考え、判断し、解決に向けた適切な意思決定をすることができる。

(2) 本時の展開

: ねらい : 発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 性犯罪被害にはどのようなものがあるかを知る。(つかむ)	○SNS等における性犯罪被害が身近なところであり、誰もが被害にあう可能性があることを確認する。 ・自撮り被害加害・なりすまし ・ウェブサイトトラブル等	【資料1】 「守りたい 大切な自分大切な誰か」（警察庁・文部科学省）
展開	自撮り被害や加害例を参考に、性犯罪被害者・加害者にならない方法を考えよう！		
	2 犯罪や危険に巻き込	○犯罪には必ず相手がいて、原因やきつ	

<p>まれる一般的な原因や対策を考える。(さぐる)</p> <p>3 自撮り被害加害について個人の考えをグループで共有する。(さぐる)</p> <p>4 被害者・加害者にならないためにはどうしたらよいか話し合う。(見つける)</p>	<p>かけを断ち切り、対策をとることが犯罪発生防止になる事を伝える</p> <p>◆性犯罪被害の原因や背景について、理解することができる。【知識・理解】(ワークシート)</p> <p>○個人でワークシートに記入をし、その後、グループで共有する。</p> <p><予想される反応> 原因、きっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味本位 ・直接会わないから危険意識が低い ・寂しさや不安を紛らわせる… ・ノリが悪いと思われたくない ・嫌われたくない <p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下着姿や裸は撮らない撮らせない ・フィルタリング機能等を活用する ・知らない人とメール等の交換をしない ・困ったことはすぐに相談する ・他人のID・PWを勝手に使わない ・軽い気持ちで行ったことも法律に違反すれば犯罪行為になることを知らせる。 ・誰でも、犯罪に巻き込まれる可能性があることについて理解させる。 ・大人や相談機関に相談する等の対応をとる <p>○生徒が個別に相談できるよう声掛けをする。</p> <p>○一般論として理解するとともに、自分ごととしてとらえさせ、「自分だったらどうするのか」を考えさせる。</p>	<p>【資料2】 ワークシート</p> <p>【参考資料】 マンガ「STOP!自画撮り」</p> <p>【参考資料】 警察庁：家庭のルールの例</p> <p>【参考資料】 「出会い系サイト規制法」 「リベンジポルノ防止法」</p> <p>【参考資料】 べにサポ山形 「学生用啓発リーフレット」</p>
<p>終末</p>	<p>5 性犯罪被害加害を防ぐ方法について、意思決定する。(決める)</p>	<p>◆他の人の意見を参考にして、自分自身を守る方法について意思決定することができる。【思考・判断・表現】(ワークシート)</p>

5 事後の指導

活動内容	活動内容 ○指導上の留意点 ◆評価
<ul style="list-style-type: none"> ・実践(日常生活) ・実践状況や成果、課題等の把握(個人面談) ・振り返り(終わりの会) 	<p>○自分自身を守る方法を実践する。</p> <p>○自分にあった対処方法を実践し、上手くいった経験やお勧めの対処方法を紹介する。</p> <p>○実践の過程や成果を振り返り、今後へいかす。</p> <p>◆実践を振り返り、自分の健康で安全な生活を構築しようとしている。</p> <p>【主体的態度】(学期振り返りシート)</p>

6 他教科等との関連

(1) より効果的な実践のために

思春期における性に関する不安や悩みは、生徒にとって深刻な問題であり、担任だけでは対応できないことが多くなる。学級担任が、日常的にスクールカウンセラー、養護教諭と連携した活動をすることで、相談しやすい雰囲気を築くことができる。また、性に関しての不安や悩みを解消できるだけでなく、性トラブルを未然

に防ぐことができると考える。

(2) 保健体育科保健分野との関連

第1学年の「生殖に関わる機能の成熟」において、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解している。第2学年の「傷害の防止」において、予測能力、回避能力を学習する。これらと関連させながら性トラブルを防ぐための対応と方法を身につけさせたい。

7 資料等

【参考資料】

- (1) ベにサポ山形 (<https://yvsc.jp/news/675>)
 - ・「中学・高校生向け 学生用啓発リーフレット」2020.09.02
- (2) 警察庁
 - ・なくそう子供の性被害、対策のための啓発資料、「STOP! 自画撮り」、
 - ・マンガ「STOP! ネット犯罪」(中学生用)、「性被害 相談窓口、支援の案内」(中高生用)
 - ・守りたい大切な自分大切な誰か
- (3) 全国被害者支援ネットワーク
 - ・「今」知っておきたい、「犯罪被害」のおはなし
- (4) 「リベンジポルノ防止法」私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律
 - ・「出会い系サイト規制法」インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律→子どもが誘うのも犯罪
- (5) こころのガイドブック～中学生・高校生のあなたへ 山形県臨床心理士会

【資料1】

【資料2】ワークシート例

性情報への対応、性犯罪被害・加害の防止

- 1 SNSで性情報に関わるトラブルとは、
どんな事があるのだろうか？

自分

2 犯罪危険に巻き込まれる原因・
きっかけは？

3 対策を考えよう！

~~犯罪~~

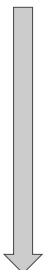
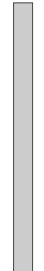

4 性被害者にも加害者にもならないためにはどうしたらよいだろうか？

相手

【資料3】



性に関する指導計画（高等学校 参考例）

		体育(科目保健)	特別活動	関連教科等 総合的な探究の時間
1 年	4 月  3 月	<p>(1) 現代社会と健康 (イ) 現代の感染症とその予防 エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。</p>	<p>【ホームルーム活動】 性に関する意識調査</p> <p>【ホームルーム活動】 ライフスキルトレーニング</p> <p>【講演会】 HIV 感染症の治療・予防・ケア</p>	<p>【家庭科（家庭基礎）】 人の一生と家族・家庭及び福祉</p> <p>【理科（生物基礎）】 ヒトの体の調節</p> <p>【総合的な探究の時間】 福祉・健康に関する領域から課題を設定し、追求、まとめを行う。</p>
2 年	4 月  3 月	<p>(3) 生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 ⑦思春期と健康 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。 ⑧結婚生活と健康 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにする。</p>	<p>【ホームルーム活動】 自分らしく生きる</p> <p>【講演会】 多様な性について理解を深める</p>	<p>【総合的な探究の時間】 福祉・健康に関する領域から課題を設定し、追求、まとめを行う。</p>
3 年	4 月  3 月		<p>【ホームルーム活動】 性行動と責任</p> <p>【講演会】 デート DV について理解を深める</p> <p>【講演会】 ライフプランセミナー</p>	<p>【公民（倫理）】 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方</p> <p>【総合的な探究の時間】 福祉・健康に関する領域から課題を設定し、追求、まとめを行う。</p>

1 単元の目標

- (1) 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。
- (2) 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。
- (3) 生涯を通じる健康について、自他や社会の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどを記述したりして、道筋を立てて説明するなどの学習活動に主体的に取り組むことができるようにする。

2 単元について

生涯を通じる健康については、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解を深める指導を行う単元である。

生涯の各段階においては、健康に関する様々な課題や特徴があることから、生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康とのかかわりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解させるとともに、生涯の各段階で、労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できる資質・能力を育成する必要がある。

そのために、思春期、結婚生活、加齢の各段階において、健康、行動、生活などに課題や特徴があること、また労働の形態や環境の変化に伴った健康及び安全の課題があること、それらを踏まえ、自他の健康管理、安全管理及び環境づくりを行う必要があること、労働に関わる社会資源などを適切に活用することなどを中心に学習していく。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①思春期には、心身の発達等に伴い健康課題が生じること、自分の行動や異性への理解や尊重する態度、性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②結婚生活における受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題には年齢や生活習慣などが関わること、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感などや母子の健康診査等の活用が必要であること、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響について、理解したことを言ったり書いたりしている。	①思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明している。	①思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康についての学習に、主体的に取り組もうとしている。

4 単元計画

	第1～3時	第4～6時
主な学習内容・学習活動	思春期と健康(本時)	結婚生活と健康
	心と体の健康について様々な課題があること。 思春期の心と体について男女差があること。 多様な性について個人差があること。 性意識には男女差があること。 不正な情報に惑わされないこと。	妊娠・出産期を健康に過ごすための支援方法があること。 母体の健康を維持すること。 人工妊娠中絶は、女性にとって大きな負担となること。
	1. 人生設計をするため、自分自身の事を考える。 2. 男女の体と性周期について理解する。 3. 多様な性について理解する。 4. DV、デートDVに関して、ロールプレイを通して、主体的に考える。 5. 多様な性について、グループで話し合う。 (知識・技能①) (思考・判断・表現①) (主体的に学習に取り組む態度①)	1. 妊娠の過程について理解する。 2. 妊婦体験を通して、グループで話し合う。 3. 避妊や人工妊娠中絶について理解する。 4. 予期せぬ妊娠についてグループで話し合う。 (知識・技能②) (思考・判断・表現②) (主体的に学習に取り組む態度①)

5 展開例

(1) 本時の目標

- 自分の行動や異性への理解や尊重する態度、性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解できるようにする。
- 思春期と健康について、グループでの話し合いなどで意見交換したり、自分の考えを発表したりする活動を通して、自他や社会の課題を発見する。

(2) 展開

□: ねらい □: 発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、出欠確認、グループにする 前回の振り返り 本時の目標を確認する 	○前回の振り返りを行い、本時の学習内容と課題を確認させ、学習意欲を持たせる。	
展開 1 25分	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">性意識の違いを理解し、性に関する情報などに適切に対処しよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 性意識の違いを理解する。 資料1を見ながら、グループで表から読み取れることを話し合い、発表 教師側の説明を聴く DVに関してのレディネステスト ロールプレイングを行う。 自分たちの周囲でこんなことが起きていないか思い出しながら見てみよう デートDVについて 「ロールプレイング」実践 グループで話し合う。 レディネステストの解答(解答はすべて空欄になる) 	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期には性的な関心が急速に高まるが、男女差があることに注意する。 ◆【思考・判断・表現】① 性意識について意見交換する活動を通して、自他や社会の課題を発見している内容を【観察・記述】で捉える。 ○DVやデートDVの知識や理解度を把握するためのものであることを確認する。 ○生徒にも参加させる。そのときには加害者側に生徒がならない配役にする。 ○主体的な立場で見るようにする。 ○男性でも女性の気持ち、女性でも男性の気持ちを考える。 ○間違った認識を確認し、今後に生かせるように説明する。 	資料1 資料2 資料3

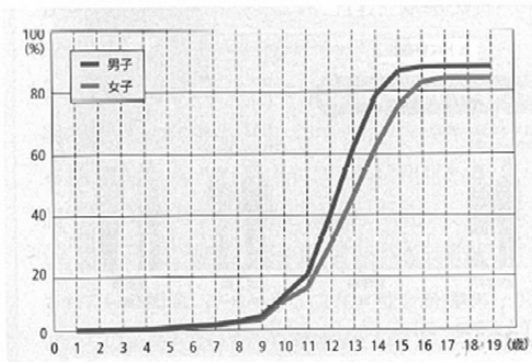
<p>展開 2 15分</p>	<p>3. 性に関する情報収集は何でできるか、考える。 ・資料4を見て、気づくことをグループで話し合い発表する。 ・教師側の説明を聴く。</p>	<p>○資料4はネット情報の割合は多くなってきていることも説明する。 ○誤った情報は安易な行動につながる可能性があることを確認する。 ○信頼する大人に相談することが一番であることを伝える。</p>	<p>資料4</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>4. 振り返りシート記入 何を理解したのか、感想や質問を書く。</p>	<p>○振り返りシートを記入することにより、本時の学習を振り返るように促す。 ◆【知識・技能】① 異性の理解と尊重の必要性について理解したことを言ったり書いたりしている。 (記述・発言)</p>	<p>資料5</p>

(3) 資料等

資料1 「性的なことに関心をもった年齢」
(日本性教育協会「青少年の性行動」2018年)

資料2

11 性的なことに関心をもった年齢 (高校生、累計)
(日本性教育協会「青少年の性行動」2018年)



思春期には性的な関心が急速に高まるが、男女間に差が見られる。

資料2

DV・デートDV レディネステスト

2年 組 名前: _____

★次のことがらで正しいと思うものには、口の中に✓をつけてみましょう。

- 1 DV (ドメスティック・バイオレンス) なんて、大人にしか起こらない
- 2 デートDVなんて、高校生に起きていない
- 3 デートで暴力をふるわれる女の子なんて少ない
- 4 デート相手から暴力をふるわれても、きっと1回だけ
- 5 望んでいないのにセックスしてしまふ人なんていない
- 6 一度セックスしたら、「相手は自分のもの」と思っている
- 7 デートでレイプされる子なんて自分が悪い
- 8 暴力はお互いに嫌になって、別れそうになったとき起きる
- 9 暴力をふるうのは、相手を好きじゃないからだ
- 10 暴力をふるわれるのは、ふるわれる方に理由がある
- 11 うんと親しくなれば、相手が嫌がることをしたり行動をしぼったりすることがあってもお仕方がない
- 12 女の子のNOは、本当はYESだ
- 13 女の子がどうしてもセックスは嫌なら避けるべきだ
- 14 セックスのとき男の子が避妊しなきゃならぬのは、女の子は無理強いできない
- 15 男の子にセックスを求められたら、女の子は愛情があるなら少くとも拒否するべきだ
- 16 付き合っていたら、相手が嫌がることでも無理にさせてもいい
- 17 相手のことが好きなんだから、相手の行動をしぼってあげてもいい
- 18 相手をおとしめるようなことを言ったり、力にしたり、怒鳴ったりするのは、暴力のうちに入らない
- 19 暴力をふるう人がもたら反発し、もうしないと言ったら、暴力はやめられるはずだ
- 20 たとえ暴力をふるったとしても、ちゃんと謝ったら許してあげられるべきだ

資料3

あなたのまわりで、こんなことは起こっていないかな? ケース1

<p>A さん</p> <p>昨日、手、押して来たかな? LINEしてみよう! <スマホを操作するマナーをする></p> <p><スマホを弄ながら、イライラしながら> あいつ、何やってんだよ!!! 電話つかないし、返信もこない!</p> <p>あつと、B!!! 何だ、昨日送ったの? LINE送ったのに、返信つかない! いったい何してんだよ!!!</p> <p>は? 送った、バカだろ!!! スマホを弄るの忘れるなんてありえぬ一!</p> <p>それどこに送っちゃったって、送だよ!!! 送けんよ!!! <目を凝らすマナーをする></p> <p>返信、何んだよ!!! 俺の言うことだけ聞いてりゃいいんだよ!!! <また目を凝らすマナーをする></p>	<p>B さん</p> <p>別に、何となく恥のことも思いついたらいいよ</p> <p>だから、私の方がその日は悪者でございませんでした。</p> <p>そして次の日、学校で...</p> <p>ごめん、ちよっと忙しくて、スマホ見るの忘れてた...</p> <p>あつと... 早くも送っちゃなくていいじゃん、忙しくてそれどころじゃなかったんだもん!!!</p> <p>真いつ!!!</p> <p>ごめん... ごめんなさい、真いつ! やめて!!!</p>
--	---

あなたのまわりで、こんなことは起こっていないかな? ケース2

<p>C さん</p> <p>俺には付き合ってから3ヶ月になる彼女がいる。毎日、一緒に帰ろうと思っ、いつものように寝顔で抱っこして帰る。でも、俺はそれ以外、スマホの画面に声をかけられたので、目を凝らして見ると、俺の顔を見ていた。それを...</p> <p>あ、待ってだよ、Dよ。俺、ちよっと話してただけじゃん。どういうつもりで、そんなに怒ることないじゃん!!!</p> <p>おい!!! 何なんだよ!!!</p>	<p>D さん</p> <p><悪かった表情で> あつと、C!!! 俺でもお前の顔としゃべってるわけ? どういうつもり?!</p> <p>私以外の女子と話すなんてあり得ない!!! 俺が初めて! 俺が初めて!!!</p> <p>あつと、スマホを弄して! <無理やりCのスマホを奪う></p> <p><Cのスマホを盗み取る></p>
---	---

あなたのまわりでみかかせませんか?

近頃のなまえ: _____

★あなたのまわりで、こんなことは起こっていないかな? 男子の気持ち・女子の気持ち・対峙案 (どうすればいいか) を描いてみよう。

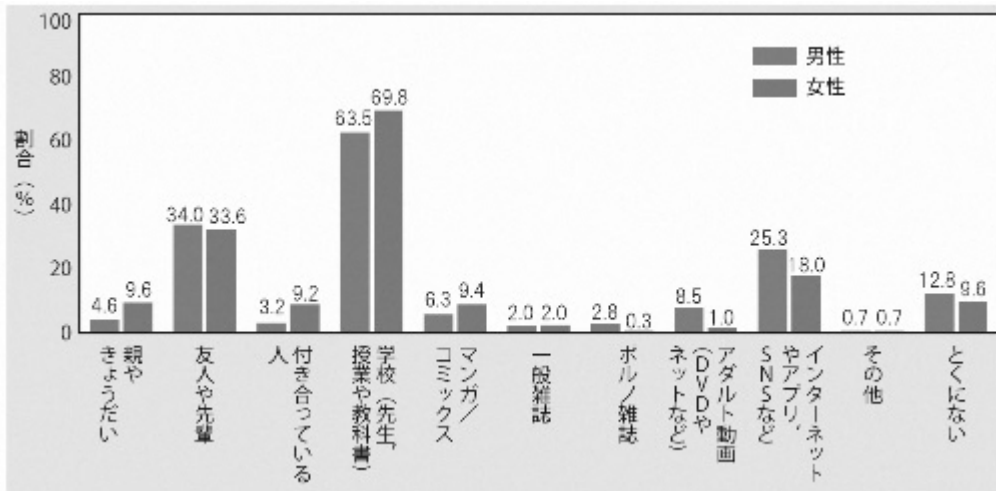
<ケース 1> 携帯電話にまつわるひとコマ

Aの気持ち	Bの気持ち
どうすればいい?	

<ケース 2> 学校でのひとコマ

Cの気持ち	Dの気持ち
どうすればいい?	

資料4 避妊方法についての知識の入手方法（複数回答） 出典：日本性教育協会「青少年の性行動」（2018年）



資料5

保健授業④ 組氏名 _____

○思春期のころについて知ろう②

デートDVについての知識を持とう

1 性意識の変化と男女差

- 性への(①)が高まる → (②) 差が大きい
- 性的関心が強くなる → (③) 差もある

2 性の尊重

男女差や個人差を理解せずに他人に接すると
→誤解やトラブルが発生しやすい

- (④)
- ストーカー

↓

トラブルを防止するために

- ・他の人の体と心を理解する
- ・相手の気持ちを(⑤)する

3 誤った性情報

- (⑥) →興味本位の取り扱い方
- 友人や先輩→(⑦)に欠ける場合がある → **注意が必要!!**

☆目の前の性情報を(⑧)に受け入れない
学校や病院など→正しい情報

4 性にかかわる意思決定・行動選択

明確な(⑨)・意志の伝達・選択結果の見通し・責任を自覚・
相手の生き方や考え方を尊重
→自らの性行動を(⑩)する・自分で取るべき行動を選択する。

5 デートDVについて

(1) レディネステスト(別紙)

(2) DV(⑪))とは

- ・配偶者やパートナーなど(⑫)な間柄で起こる暴力のこと。
- ・デートDVは、特に高校生、大学生などの(⑬)が交際相手からふるわれる暴力のこと。

→どんな事情でも(⑭)は許される行為ではない。
相手を自分の思い通りに(⑮)しようとする態度や行動がDVやデートDVである。

(3) ロールプレイ

- ・ケース1「携帯電話にまつわる1コマ」
- ・ケース2「学校での1コマ」

☆暴力をふるっていない(⑯)に相手を自分の思い通りにしようとするのはDVにつながる。もし、嫌だと感じているのであれば、相手に自分の気持ちを伝え、(⑰)ことが大切である。
→二人で話し合える状況ではない場合は第三者を入れることも大切である。

振り返り

5 とてもそう思う

4 少しそう思う

3 どちらともいえない

2 あまりそう思わない

1 全くそう思わない

☆今日の授業で学んだこと、疑問に思ったこと、悩み等何でも書いてください

☆今日の授業に積極的に参加できた

5-4-3-2-1

☆今日の授業で学んだことは今後生かせそうだ

5-4-3-2-1

6 他教科・領域との関連

特別活動との関連

特別活動においては、いつごろ結婚して出産期を迎えたらよいのかなどの、自分の人生計画を立てられるような内容が効果的であると考えられる。

高等学校2年	題材名「自分らしく生きる」
--------	---------------

1 題材について

(1) 学習指導要領及び解説の位置付け

○ホームルームにおける位置付け

心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。こと。

内容項目【第3－（2）エ】

節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進すること。

関連項目【第3－（2）オ】

○育成を目指す資質・能力

・性を自分のこととして捉え、多様な性について理解することができる。

・自らの性を見つめ直し、自分らしく生きることについて考えることができる。

(2) 題材設定の理由

近年、性の多様性についての社会的関心が高まっており、メディア等でも取り上げられる機会が多くなった。身近なテーマでありながら、差別的な情報や意識が広く共有されている現状があり、学校現場でも理解されている状況ではない。人権問題を認識するとともに、性の多様性について正しい理解を深め、多様な性を個性として認められるような態度を育てたいと考え、本題材を設定した。

(3) 指導にあたって

事前学習で科目保健「思春期と健康」で、思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを学習している。

本題材での指導では、性を自分のこととして捉え、多様な性について理解し、自分らしく生きることについて考えることができるように指導する。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
性の多様性について関心を持ち、正しく理解している。	自らの性を見つめ直し、自他の考えを尊重して、自分らしく生きることについて考えることができる。	適切な行動を選択できるように、主体的に取り組もうとしている。

3 事前の指導

学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
レインボーフラッグから、性の多様性について関心を持つ。	○性の多様性を象徴する旗であることを説明するとともに、性的マイノリティの存在を認識させ、関心を高めさせる。 ◆レインボーフラッグが意味しているものを理解することができる。 【知識】（ワークシート）

4 展開例（本時）

本時の目標 性を自分のこととして捉え、多様な性について理解することができるようにする。

（知識・技能）

自らの性を見つめ直し、自分らしく生きることについて考えることができるようにする。

（思考・判断・表現）

□：ねらい □□□□：発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1. 本時の目標を確認する。		ワークシート
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自らの性を見つめ直し、自分らしく生きることについて考える</div> ・現在の状況について、ワークシートに記入する。	○ワークシートの約束について説明する。	

	<ul style="list-style-type: none"> 「性」について、ワークシートに記入する。 		
展開①	<ul style="list-style-type: none"> DVD「自分が自分らしく生きるために」をみる。 印象に残ったことを、ワークシートに記入する。 多様なセクシュアリティ・多様なジェンダーの人が生きていくために必要なことは何か考えよう。 性のあり方は人それぞれ違うことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 性のあり方は多様であること、人の数だけ存在することも伝える。 性を自分のこととして捉え、多様な性について理解することができる。 【知識・技能】(観察・ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> DVD「自分が自分らしく生きるために」 ワークシート
展開②	<ul style="list-style-type: none"> セクシュアルマイノリティの社会的な問題を理解する。 誰もが使いやすいトイレを考えよう。(個人→グループ) 誰もが使いやすいトイレについてワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> セクシュアルマイノリティの困り感を説明する。 誰もが自分らしく生きるためにどうするか 誰もが使いやすいトイレか、問題点はないか、グループで話し合う。 自らの性を見つめ直し、自分らしく生きることについて考えることができる 【思考・判断・表現】(ワークシート) 	ワークシート
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「性」について、ワークシートに記入する。 本時の学習を振り返り、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容について、振り返る。 	ワークシート

5 事後の指導

学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
どのようなセクシュアリティの人も安心して生活できる環境や社会につながる取り組み事例を調べて、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 多様な性について社会全体で取り組んでいることに気づく。 発表に主体的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察)

6 資料等

DVD「自分が自分らしく生きるために」 制作：一般財団法人Get in touch

ワークシート 今日テーマ(自分らしく生きる) _____

年次 氏名: _____

今日の授業では、このワークシートを使います。次の約束を守ってください。

約束: ① このワークシートは、授業の中で、先生の指示にしたがって進めます。
② 質問に対して、自分の考えをすなおに書いてください。
③ 他人のワークシートを覗かないでください。

① 現在のあなたの状況について、当てはまるところに○印をつけてください。

質問	とても当てはまる	まあまあ当てはまる	まあまあ当てはまらない	まったく当てはまらない
① 自分のことが好き				
② 自分を大切にしていると思う				
③ 家族との関係に満足している				
④ 学校や社会での生活に満足している				

② 「性」について、当てはまるところに○印をつけてください。

質問	とても当てはまる	まあまあ当てはまる	まあまあ当てはまらない	まったく当てはまらない
① 「性」について理解していると思う				
② 「性」について関心を持っていると思う				
③ 「性」について知りたいことがある				

③ 「自分が自分らしく生きるために」をみて

【印象に残ったこと】

.....

.....

.....

【多様なセクシュアリティ・ジェンダーの人が生きていくために必要なことは？】

.....

.....

.....

【多様なセクシュアリティ・多様なジェンダーの人が生きていくために必要なことは？】

.....

.....

.....

④ あなたなら、どんなトイレを考えますが、(イラストや図を書いてもいいです) 誰もが使いやすいトイレをポイント

.....

.....

.....

.....

⑤ 現在のあなたの状況について、当てはまるところに○印をつけてください。

質問	とても当てはまる	まあまあ当てはまる	まあまあ当てはまらない	まったく当てはまらない
① 自分のことが好きに思える				
② 自分を大切にしようと思う				
③ 家族との関係を満足より良くしたいと思う				
④ 学校や社会での生活を満足より良くしたいと思う				

⑥ 「性」について、どう思いますが？ 当てはまるところに○印をつけてください。

(②と同じで書いてもよい)

質問	とても当てはまる	まあまあ当てはまる	まあまあ当てはまらない	まったく当てはまらない
① 「性」について理解で感かと思う				
② 「性」について関心を持つで感かと思う				
③ 「性」について知りたかと思う				

⑦ 今日授業をみて、気づいたことやこれからどうしたいかを書きましょう。

.....

.....

.....

1 題材について

(1) 学習指導要領及び解説の位置付け

○ホームルームにおける位置付け

心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。こと。

内容項目【第3－（2）エ】

節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進すること。

関連項目【第3－（2）オ】

○育成を目指す資質・能力

- ・性的に健康であるということや、性行動の選択により性感染症や望まない妊娠などのリスクや責任が生じることについて、理解することができる。
- ・自他の心身を大切にしようと思い、さまざまな状況や場面に応じて、自らが今後とるべき性行動を考えることができること。

(2) 題材設定の理由

高校生は、個人差はあるものの異性への関心が高くなる。性を考えることは、大人として自立するための大切な過程であるが、自分の存在に自信が持てないなど、時には様々な心の葛藤や遊びなどに傾斜する心と結びつき、性的な逸脱行動も危惧されることから、個々の生徒理解に基づく適切な指導が大切である。

(3) 指導にあたって

本題材の指導では、性を自分のこととして捉え、性行動の選択によりリスクと責任が生じることが理解できるように指導する。

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
性行動のリスクと責任について理解している。	性行動のリスクと責任について、自他の考えを尊重して、行動選択をすることができる。	適切な行動を選択できるように、主体的に取り組もうとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
「自他の人格を尊重した行動ができる～性トラブルを考える～」 ・自他を見つめる力（いろいろな考え方を知る）	○友人から性に関する悩みを相談されたとき、どのような受け答えをすればよいか考え、実践させる。 ◆他者の気持ちや立場を理解し、相手を気遣うことができる。 【思考・判断・表現】（観察・ワークシート）

4 展開例(本時)

本時の目標 性行動のリスクと責任について、理解することができるようにする。(知識・技能)

性行動のリスクと責任について、正しい行動を選択することができるようにする。

(思考・判断・表現)

□ : ねらい □□□□ : 発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1. 本時の目標を確認する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">性行動のリスクと責任について、正しい行動選択をする</div> ・現在の状況について、ワークシートに記入する。 □「性」と聞いて、どんなイメージがありますか。	○ワークシートの約束について説明する。	ワークシート

	<ul style="list-style-type: none"> 「性」のイメージを考え、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「性」について、「何も感じない」人が多いことを説明する。 	
展開①	<ul style="list-style-type: none"> 「2人の未来をシミュレーション!!」に取り組み、性行動の大変さについて、ワークシートに記入する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「2人の未来をシミュレーション!!」をして、感じた性行動の大変さについて書きましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> グループ内で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○シミュレーションを通して、性行動のリスクと責任の大きさを説明する。 ○性的に健康な条件について説明する。 ○性行動のリスクと責任について説明する。 <p>◆性行動のリスクと責任について理解することができる。【知識・技能】</p>	「2人の未来をシミュレーション!!」資料1
展開②	<ul style="list-style-type: none"> 交際の場面でのコミュニケーションについて、ワークシートに記入する。 <p>2. 青少年の性行動の実態について説明する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分ならどんなことを言うか、またはどんな言葉をかけてほしいか、セリフを考えましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> グループ内で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○性行動のリスクと責任、性行動の実態を踏まえたものになっているか、確認する。 	ワークシート
まとめ	<p>3. 本時の学習内容について、振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、ワークシートに記入する。 	<p>◆評価（ワークシートから）</p> <p>性行動のリスクと責任について、正しい行動選択をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	ワークシート

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
いくつかの性行動に関する事例に基づいて、適切な対処について考え、グループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○これからのライフプランに関連付けてイメージできるようにする。 ◆さまざまな状況や場面に応じて、自らが今後とるべき性行動を考えることができる。 <p>【思考・判断・表現】（観察・ワークシート）</p>

6 資料等

ワークシート（今日のテーマ：性行動と責任）

年 氏名： _____

今日の授業では、このワークシートを使います。次の約束を守ってください。

約束：① このワークシートは、授業の中で、先生の指示にしたがって進めます。

② 隣席に対して、自分の考えをすなおに書いてください。空欄はだけです。

③ 他人のワークシートをのぞかないでください。

④ あなたの現在の状況について、当てはまるものに○印をつけましょう。

質問	当てはまる 当てはまる	ほとんど 当てはまる	どちらか 当てはまる	当てはまる 当てはまる
① 自分のことが好き				
② 自分を大切にしようと思う				
③ 家族との関係に満足している				
④ 学校や社会での生活に満足している				
⑤ 「性」は自分に関係があることだと思う				

② 「性」と関わり、どんなイメージがありますか？ 当てはまるものに○印をつけましょう。（いくつでもよい）

はずかしい ・ 大切なこと ・ 興味がある ・ いやらしい ・ 後ろめたい
美しい ・ 何も感じない ・ その他（ ）

③ 「2人の未来をシミュレーション!!」をやってみて、どう感じましたか？

（当てはまるものに○をつけ、その理由を書きましょう。）

喜びや性感を感じながら性交をするのは、
大変だと思った ・ 大変だとは思わなかった
その理由（どこが大変だと思ったか）や分からないワードがなければ書いてください。

.....

.....

④ 自分ならどんなことを言いますか？ または、どんな言葉をかけられたいですか？

ひきだしの中にセリフを覚えて書きましょう。

②もちろん好きだよ。ずっと一緒にいたいよ。

④僕じゃあ、でもその前に、.....

⑤そりゃ、中には興味あるけど、そんなにいそぐことないと思うんだ。

ずっと一緒にいたいから。

⑤ あなたの現在の状況について、当てはまるものに○印をつけましょう。

質問	当てはまる 当てはまる	ほとんど 当てはまる	どちらか 当てはまる	当てはまる 当てはまる
① 自分のことが好きになれそう				
② 自分を大切にしようと思う				
③ 家族との関係を現在より良くしたいと思う				
④ 学校や社会での生活を現在より良くしたいと思う				
⑤ 「性」は自分に関係があることだと思う				

⑥ 「性」のイメージについて、変化はありましたか？ 当てはまるものに○印をつけましょう。

（いくつでもよい）②と同じでも変わっていてもよい）

はずかしい ・ 大切なこと ・ 興味がある ・ いやらしい ・ 後ろめたい
美しい ・ 何も感じない ・ その他（ ）

⑦ 今日授業を受けて、勉強になったことやこれからどうしたいかを書きましょう。

.....

.....

設定

2人の未来をシミュレーション!!



2人は高校生のカップルです。付き合ってからもうすぐ1年。今日はクリスマスイヴ。パートナーの部屋で2人きりで過ごしていたら、なんだかいい雰囲気になってきました…。

番号に○をつつけながら、質問に答えていってね!

1	パートナーから『Hしたい』と言われました。あなたの気持ちは? A: Hしたい→2△ B: Hしたくない→3△
2	2人の気持ちは一絡みしたいです。 A: ムードが大事!!このままHする。→4△ B: まずは2人で話し合う・考える。→5△
3	嫌われたくないから、 本当は嫌だけど、Hする。→4△ B: 今はしたくないと正直に言う。→6△
4	今からいよいよHです。 A: コンドームを使う。(「使って」という)→7△ B: コンドームを使わない。(「使って」と言えない)→8△
5	色々心配だね…。 A: 避妊について話し合う。→9△ B: 性感染症について話し合う。→10△ C: やっぱり不安になってきたからHしない。→6△
6	パートナーから『嫌いな?』と言われたら… A: 好きだからHする。→2△ B: 話し合ってから分かってもらう。→15△
7	コンドームをつけるのは… A: 最初からちゃんとした。→14△ B: 射精する直前につければ大丈夫。→8△
8	 妊娠です

9	A: コンドームを使う。→7△ B: 膈外射精する。→8△ C: ピルを飲む。→11△	10	A: エイズ検査を受けに行く。→12△ B: コンドームを使う。→7△
11	A: ピルを飲んでいたら安心。これだけでOK。 B: 念のため、コンドームも合わせて使う。 →7△	12	お互い結果は『陰性』でした。→5△ (よかったね!)
13	 感染症が原因で、 子どもを作れなくなることもあるよ。	14	避妊に成功しました。 でもね… コンドームを使っても 10%のカップルは妊娠しているんだよ。 Hするということは、 必ず妊娠の可能性があるんだよ。
15	2人の絆は、もっと強くなりました。 お互いを大事にする良いカップルです。 コミュニケーションもばっちりです。 	資料1	大切なのはお互いが 納得するまで話し合うこと。 すてきな未来を築いてください。

【コラム】子供の性被害を防ぐために必要なこと

私は、平成28年べにサポやまがたのセンター長になりました。正式には「やまがた性暴力被害者サポートセンター」です。私が医師になったのは昭和57年です。学生時代に性暴力被害者の診療の講義はなかったと思いますが、現在は、産婦人科の診療指針に入っています。性犯罪被害は長い間タブー視されてきたのです。魂の殺人ともいわれる、性被害は未然に防がなければなりません。不登校や、拒食症の原因が性被害、性的虐待であることは珍しくありません。人は誰でも幸福に暮らす権利を持っており、その後の人生をめちゃくちゃにしてしまう性被害はぜひとも防がねばならないのです。今回、十数年ぶりにこの「性に関する指導資料」が作成されました。作業部会の先生方の綿密な討議は、子供たちを思う心にあふれ本当に頭が下がります。しかし、資料の性格上、泣く泣く、削らざるを得ないものも多々あることを知りました。私は産婦人科医ですので、外部講師として、性教育に招かれることもあり、現場の先生たちが、扱えないことを、さらっと触れることもあります。しかし、学習は積み重ね、繰り返しです。現場の先生たちには、子供の知識、スキルの定着のため、ぜひ勉強していただきたいと思います。「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」では、年代別に学習者ができるようになることを設定しております。子供の性被害を防ぐために何が必要かは、ここに書かれています。一部抜粋させていただきます。

<5～8歳の学習目標>

- ・からかい、いじめ、暴力とは何かを明らかにする。(知識)
- ・いじめ、暴力は間違った行為であること、そしてそれが家族や他のおとなからのものであっても、被害者は決して悪くないことを認識する(態度)
- ・仲間の中でのいじめや暴力に対応できる安全な行動をはっきりと示す(スキル)
- ・性暴力、ネット上での子供に対する性的搾取も含め、子供虐待を明らかにする(知識)
- ・おとなや知り合い、信頼する人、たとえば家族によるものだったとしても、子供への性的虐待を含め、子供虐待は子供の権利の侵害であること、そして被害者が決して悪くないということ認識する(態度)
- ・おとなが性的虐待をしようとした場合にとれる行動をはっきりと示す(「いやだ」「あっちに行け」と言うこと、信頼できるおとなに話すなど)(スキル)
- ・親や保護者、信頼できるおとなを特定し、虐待を受けた場合に虐待されたことをどのように伝えるかをはっきりと示す(スキル)

べにサポの電話相談で問題になっていることは、小学校、中学校の頃のいじめ、性的虐待での悩みを成人してから繰り返し相談して来られる方が多いことです。相談できる場が少なかったということでしょう。また、診療の場でも、べにサポの相談でも問題になっていることは、性被害に巻き込まれても本人が性被害と認識できない例が多いことです。巧妙な加害者はそこに付け込んできます。上記の学習目標が設定されているのは本当に大切なことなのです。子供たちの一番身近にいる信頼できるおとなとして学校の先生方にはぜひ一緒に勉強していただきたいと思います。

産婦人科医 林 淑子

性に関する指導計画（特別支援学校 参考例）

★特別支援学校における性に関する指導の進め方

- ・性に関する指導の基本的な目標を踏まえ、障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に即した効果的な学習指導を行う。児童生徒の実態を踏まえ、指導方法、指導内容や表現が適切な教材・教具を使用する。
- ・幼稚部から高等部まで複数の学部が設置されていることから、体育、保健体育、家庭、理科など関連する各科間での連携を図り、指導内容や指導方法について共通理解をして指導にあたる。
- ・「道徳科」「特別活動」「総合的な学習の時間」における取組を充実させる。
- ・指導内容については保護者に対して事前に十分説明し、指導時の児童生徒の様子を伝え、家庭での様子についても情報を得るなど、保護者との連携を密にする。
- ・児童生徒の実態やレディネス等は様々であるため、発達段階別のグループ指導や男女別のグループ指導、個別指導を充実させる。（第2章実践編に掲載している小学部、高等部の指導例は、中学部でも生徒の実態に合わせて活用できる）

		体育（保健領域）	特別活動	関連教科等 総合的な学習の時間
小学部 低学年	1年	健康な生活	自分の体をきれいに トイレの場所の区別、使用の仕方(男女の違い) 自分や友達の性別（恥ずかしさの認知） 公共トイレのルールやマナー	【道徳】 友達と仲良く
	3年		自分や友達の誕生を喜ぶ	【生活】 身近な動植物にふれる
小学部 高学年	4年	体の発育・発達	身だしなみを整える(着替え・髪をとかす・鼻をかむ等) 体の「かくすところ」 (プライベートゾーン)を知る 実践例：「知っておこう プライベートゾーン」 トイレ・更衣場所等の区別（男女の違い）	【道徳】 他者との関わり 【道徳】 自分や相手を大事にする
	6年	心の健康	入浴の方法・約束（宿泊学習時の指導） 自分の身を守る方法(大声を出す・知らない人についていけない)	【理科】 身近な動植物を育てる
		保健体育（保健分野）	特別活動	関連教科 総合的な学習の時間
中学部	1年	(2) 心身の発達と心の健康 (ア) 身体機能の発達 (イ) 生殖に関わる機能の成熟 (ウ) 精神機能の発達と自己形成 (1) 健康な生活と疾病の予防 (オ) 感染症の予防 ①エイズ及び性感染症	身だしなみを整える ・清潔な下着・下着のつけ方 ・水着時の腋毛の処理・洗顔やひげ剃り 「かくすところ」の約束 人との接し方 ・意志の伝達方法・態度・言葉づかい・距離感 思春期の体の変化 ・月経の手当と過ごし方、精通・射精の対応	【技術・家庭】 自分の成長と家族 情報セキュリティと情報モラル（SNSの正しい使い方） 【理科】 動物の体のつくりと はたらき 生物の連続性 (動植物の受精など)

中学部	3年	の予防	思春期の心の変化 ・気になる異性と思いやり・個人差と男女差 他人とちょうど良い距離 距離を越えてきた人への対応 ・嫌なときには嫌と言う・逃げる・信頼できる人に相談する	
		体育(科目保健)	特別活動	関連教科 総合的な探究の学習
高等部	1年	(1) 現代社会と健康 (イ) 現代の感染症とその予防 ・性感染症、エイズの予防 ・心の健康と自己実現 ・ストレスへの対処 ・心身の相関とストレス ・欲求と適応機制	自分の身体と身の清潔 ・周りの人を不快にさせない 対人関係の礼儀作法 ・話し方・聞き方・自己表現の方法 ・人との接し方・距離感 思春期の体と心の変化 ・成長の個人差、プライバシー ・困ったときは相談しよう 身近な性に関する情報 ・危険な性情報があることを知る ・性情報に対する適切な行動 異性との関わり方を学ぶ ・異性への関心や性的欲求の高まりについて知り、異性を尊敬する態度を身に付ける 実践例：「すてきな恋愛をするためのマナー」 不審者について ・性加害者に間違われる行動 ・性加害者に間違われたときの対処法	【家庭総合】 女性と男性の協力 【情報】 情報社会への参加と情報技術の活用 【理科】 動物の誕生
	3年	(2) 生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 ・健康制度とその活用 ・医療制度とその活用	妊娠・出産について考える ・妊娠の成立・胎児の成長 家族計画の考え方を ・子どもをもつこと ・避妊について・人工妊娠中絶と健康 性感染症について ・症状とその対応	【家庭総合】 子どもをもつこと

知的障がい特別支援学校(小) 題材名「知っておこう プライベートゾーン」

1 題材について

本題材は、学習指導要領第6章特別活動の第2〔学級活動〕の内容（2）「日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」のウ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」をもとに現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り、安全に行動する」ことを目指す。

本題材では、男女の体の違いやプライベートゾーン(かくすところ)について知り、なぜ大切なのかを理解し、自分の体も友達の体も大切にしていこうとする気持ちを育てたい。また、自分や相手の体を大切にしながら生活するための約束を確認し、実生活に生かせるようにしていきたい。

2 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
プライベートゾーンの場所を知り、大事な場所であることを、発言や指さして答えている。	生活場面でのよいこと、悪いことを考えて、○×カードで伝えている。	体の違いやプライベートゾーンに意識を向けて、説明を聞いたたり、答えたりしようとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
これまでの経験を思い出しながら、正しい水着の着替え方や着替える場所について、クイズに答える	<p>○プールサイドや人前で着替えるのは恥ずかしいことを伝える。</p> <p>○自校の更衣室(男女)の写真を撮り、提示し考えさせる。</p> <p>○男女別に、ラップタオルを使用しての水着の着替えと、ラップタオルを使用しない着替えの方法の絵を提示し考えさせる。</p> <p>◆これまでの経験を思い出し、写真や絵に意識を向けて説明を聞いたたり、クイズに答えたりしようとしている。</p> <p>【主体的な態度】(観察・発言)</p>

4 展開例

・本時の目標

プライベートゾーンについて知り、自分や相手の体を大切にしながら生活するための約束を理解することができるようにする。

□□□□ : ねらい □□□□□□ : 発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	<p>1 今日の学習の確認</p> <p>水着にかくれている大事なところを何というか知っていますか？</p> <p style="text-align: center;">自分の体や相手の体を大切にするための方法について知ろう。</p>	<p>○視覚的な資料を作成し、興味を持てるようにする。</p> <p>○今日は「プライベートゾーン」について学習することを伝える。</p>	<p>・場面イラスト</p> <p>・映像</p>
展開	<p>2 プールに入るときの水着姿から、男女の体の違いを見て、プライベートゾーンを具体的に確認する。</p> <p>どこが「プライベートゾーン」なのか。みんなで確かめてみましょう。</p>	<p>○男女の水着の違いの絵を見せる。</p> <p>○水着にかくれている部分を「プライベートゾーン」という。プライベートゾーンはかくすところと印象づける。</p> <p>○むね、おしり、せいきは大切な部分であること。なぜ大切なのか説明する。</p> <p>○髪の毛、顔、くちびるも、勝手にさわったりしないことを説明する。</p> <p>◆プライベートゾーンは大切な場所であることを、発言や指さして答えることができたか。</p> <p>【知識・理解】(観察・発言)</p>	<p>・場面イラスト</p>

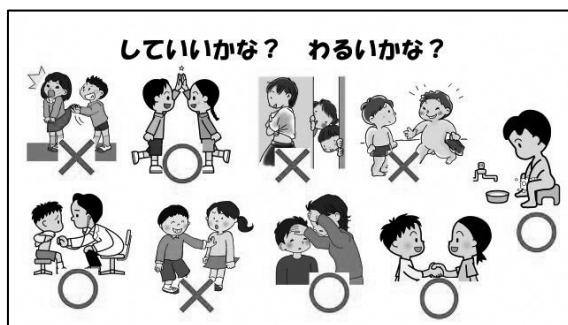
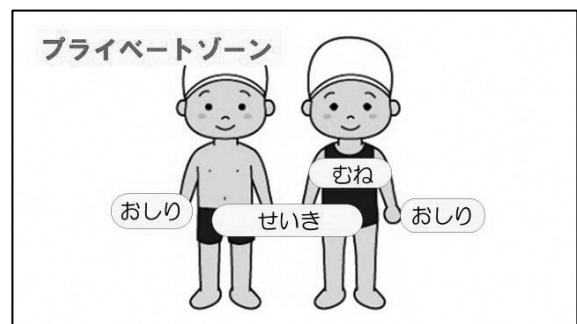
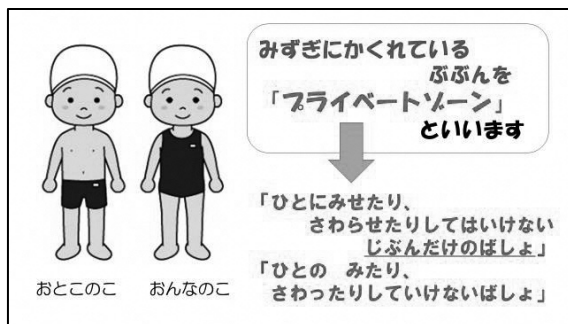
展開	<p>3 毎日の生活の場で、してよいこと・悪いことをクイズ形式で考える。</p> <p>(×の場面) どうして×なのかな?</p>	<p>○なぜ悪いのか、プライベートゾーンと関連づけながら説明する。</p> <p>○自分のかくすところを人に見せない、人がいる前で触らないことを説明する。</p> <p>○他の人のプライベートゾーンを触ったり、自分のプライベートゾーンを見せたりするのはいけないこと、そのようなことがあったら、大人の人に知らせることを説明する。</p> <p>◆様々な場面でのよいこと悪いことを考え、○×のカードで答えることができたか。 【思考・判断・表現】(観察・発言)</p>	<p>・○×カード</p>
	<p>4 お風呂やトイレのマークを見せ、公共の場でのマナーを確認する。</p>	<p>○男女のマークを見せる。</p> <p>○学校や校外学習で使用するトイレには、男女の区別があること、公衆浴場も同様であることを説明する。</p>	<p>・男女マークの写真</p>
まとめ	<p>5 学習のまとめ</p> <p>プライベートゾーンを触ったり見せたりする人がいたらどうしますか?</p>	<p>○学習したことを確認しながら、日常生活の約束を振り返る。</p> <p>○自分のプライベートゾーンを触られそうになったり、プライベートゾーンを見せたりする人がいたら、大声を出してすぐ逃げて、大人の人に知らせよう。</p>	

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
<p>友達が黙って髪の毛を触ってきたり、学校帰り一人にいるときに体を触られたりした時の対応などについて、ロールプレイで練習する</p>	<p>○なぜこのような対応が必要なのかを子どもの実態に応じて指導する。</p> <p>○「いやだ」「止めて」と言う練習をさせる。</p> <p>○すぐ逃げる(歩く・走る)ができるように練習させる。</p> <p>○すぐに知らせるのは、家族や学校の先生であることを繰り返す。</p> <p>○実践状況に応じて、個別に励ましや賞賛・アドバイスをする。</p> <p>◆ロールプレイを通して、自他の体に違いやプライベートゾーンに意識を向けて、説明を聞いたり答えたりしようとしているか。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察・発言)</p>

6 資料等

・参考資料 「少年新聞社 セドック」



第2章 実践編 特別支援学校（特別活動）

知的障がい特別支援学校(高) 題材名「すてきな恋愛をするためのマナー」

1 題材について

本題材は、中学校学習指導要領特別活動〔学級活動〕の内容（２）ウ「思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応」や、高等学校学習指導要領等別活動〔ホームルーム活動〕の内容（２）イ「男女相互の理解と協力」をもとに設定する。現在及び生涯にわたって健康に生きていくためには適切な意思決定、行動選択が必要であることを理解し、事件や事故等から身を守り、安全に行動できることを目指す。

本題材を通して、男女交際には、相手を敬い思いやる気持ちを持って接することが必要であることを知り、今の自分たちにふさわしい男女交際のマナーを学べるようにしたい。また、身体的な成熟に伴う性的な発達により性衝動が生じたり異性への関心などが高まったりすることから、性に関する適切な態度や行動の選択が必要であることを理解できるようにしたい。（必要に応じて具体的な避妊の方法を学ぶ。）

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
①男女の体の特徴や機能の違いについて、理解している。 ②性行動で、大事にすべきことを理解している。	交際する時のマナーについて考え、大事だと思うことを伝えている。	よりよい男女交際をするためのマナーを進んで身につけ、よりよい生活を築きたいという思いを持とうとしている。

3 事前の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
アンケート（資料1）を記入する。 ・異性への関心、異性への関わりについて、自分の思いをチェックする。	○異性への関心について、自分自身のこれまでの経験を考えさせる。 ○絵を見て、異性との関わり方や接し方についてどう思うか考えさせる。

4 展開例（展開部分は2時間扱いにしてもよい。4、5については、実態に応じて指導する。）

・本時の目標

男女交際には、相手を思いやる気持ちやマナーが大切であることを理解し、自分の体、相手の体を知り、相手の気持ちを考え、性に関する態度や行動に対しては慎重な判断が必要であることを理解することができる。

□ : ねらい □ : 発問・指示など

	主な学習活動・学習内容	○指導上の留意点 ◆評価	資料等
導入	1 本日の学習内容について知る。	※ここでは、基本として押さえない項目についての展開例を記載したので、グループの構成メンバーに合わせて指導者が内容を調整する。	
	□ 交際する時に大事にすることを知ろう。		
展開	2 なぜ、異性が気になり近づきたいと思うようになるのか、また、その行動に男女差があるのかを知る。 3 交際をするときのマナーを考える。 □ 交際する時にどんなことを大切にしたらよいでしょうか。	○脳やホルモンの働き、成長曲線等で原因を指導する。 ○自分の体と相手の体の機能の違いを知り、お互いに尊いものであることに気づかせる。 ◆男女の体の特徴や機能の違いについて知ることができたか。【発言・ワークシート】（知識・技能①） ○自分の欲求を満たすことだけで行動に移すのではなく、相手を思いやる気持ちを忘れないことが大切であることを理解できるようにする。	・イラスト ・模型等

	<ul style="list-style-type: none"> ・交際を強要しない ・金銭的に負担をかけ合わない ・「イエス、ノー」をはっきり表現する。 ・相手を思いやるなど 	<p>◆交際する時のマナーとして大事だと思うことを考えることができたか。</p> <p>【思考・判断・表現】(発言・ワークシート)</p>	
展開	<p>4 性交とはどういう行為なのかを知り、自分がそういった状況に置かれたときにどのような行動をとるべきか考える。</p> <p>5 お互いに認め合い信頼できる関係になった場合でも、赤ちゃんはまだ欲しくないというときには避妊があることを知り、具体的な避妊の方法を学ぶ。</p>	<p>○性交で妊娠する(赤ちゃんができる)ということを確認し、望まない妊娠によりお互いが傷つくことがないようにするために、今の自分たちはどうするべきかを考えさせる。</p> <p>また、以下の点にも触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※母親(女性)のからだに大きな危険が伴うこと ※新しい生命を絶ってしまわなければならないこと ※精神的にも傷つくこと <p>○具体物を使用して避妊方法を学ぶ。</p> <p>◆性に関する態度や行動で大事にすべきことを理解することができたか。【知識・技能②】(発言・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・模型
まとめ	<p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>○(高校生は)まもなく社会に出ることから、責任を持って生活することの大切さを伝える。</p> <p>○卒業後の選択肢はいろいろあること、よりよい生活を築くためにサポートの専門機関とつながることができることを伝え、これからの生活に希望を持たせる。</p>	

5 事後の指導

活動内容	○指導上の留意点 ◆評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの話を聞く。 ・よりよい生活を築くために大切なことを考える。 	<p>○先輩の話を聞き、卒業後の生活について様々な選択肢の1つとしイメージしながら聞くことができるようにする。</p> <p>○ワークシート(資料2)を使い、よりよい生活を築くために、現実的な家族計画を立てるために、社会的条件、経済的条件が大切であることに気づかせる。</p> <p>◆ゲストティーチャーの話を聞き、よりよい生活を築きたいという思いを持つようとしているか。【主体的に学習に取り組む態度】(発言・ワークシート)</p>

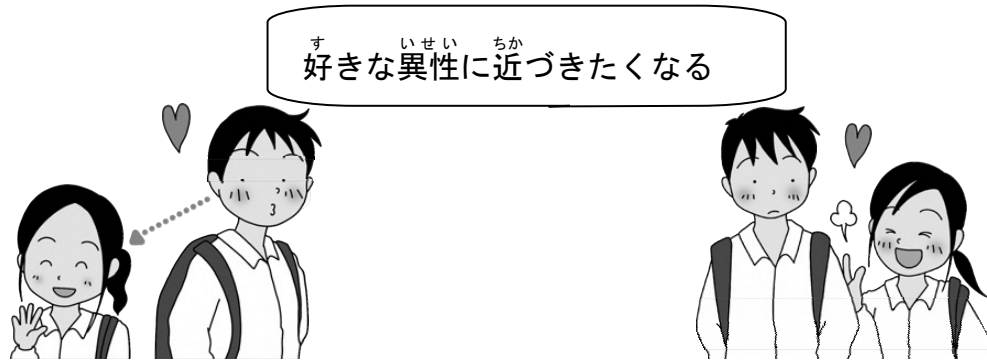
6 資料等

○参考資料「ワークシートから始める特別支援教育のための性教育」ジース教育新社(一部抜粋)

著者 千葉県立柏特別支援学校

- ・資料1 事前アンケート
- ・資料2 事後指導ワークシート

1 異性への関心



こんな経験はありますか？ ○をつけてみましょう。

ある	ときどきある	ない	わからない

2 異性とのかかわり

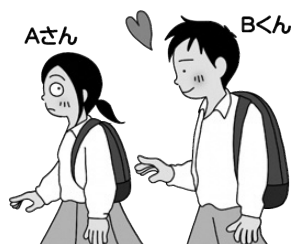
(1) 次の絵を見て、どう思いますか。○をつけましょう。

① Aさんが、大好きなBさんに、急に抱きついた。



	よい
	わるい
	どちらともいえない
	わからない

② Bくんが、大好きなAさんの後ろに、ぴったりくっついて歩いていた。



	よい
	わるい
	どちらともいえない
	わからない

③ Bくんが、大好きなAさんから返信や返事がないのに、1日に何度も何度もメールやSNSで連絡をした。



	よい
	わるい
	どちらともいえない
	わからない

1 家族計画とは、どういうことか

(1) 家族計画とは


子どもを何人つくるか、いつつくるかを考えることを家族計画といいます。

将来どんな仕事について、どれだけ給料を得て、生活をどのように送るのかを

家族とよく話し合った上で、現実的な家族計画を立てるようにしましょう。

(2) あなたが今、家族を持つ場合、社会的・経済的条件を考えてみましょう。

あてはまる項目に○をつけましょう。

社会的条件	がっこう つうがく 学校に通学できる	はたら 働くことができる	ふくし 福祉サービスを 受けることができる
			
経済的条件	せいかつひ 生活費がある しょくひ こうねつひ 食費や光熱費など	じゅうきよ 住居がある かぞく す いえ やちん 家族で住む家、家賃	よういくひ 養育費がある あか だいい おむつ代、ミルク代
			

第3章 資料編

この資料編は、学校現場の先生方に知っておいていただきたい内容を整理したものです。

実際の指導は、学習指導要領に基づいて行っていただきますようお願いします。

- 1 学習指導要領について(小・中・高)
- 2 性感染症・人工妊娠中絶の実態について
- 3 発達段階の特徴、発達課題について
- 4 性に関する相談窓口一覧、「性に関する指導」協力団体一覧

1 学習指導要領について

総則

【小学校学習指導要領（平成29年3月）第1章総則 第1の2（3）】※中学校、高等学校においても同様

(3) 学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。

特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。

【小学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月）抜粋】

健康に関する指導については、児童が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力を育成することが大切である。（略）さらに、心身の健康の保持増進に関する指導においては、情報化社会の進展により、様々な健康情報や性・薬物等に関する情報の入手が容易になっていることなどから、児童が適切に行動できるようにする指導が一層重視されなければならない。なお、児童が心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるようにする指導に当たっては、第1章総則第4の1（1）に示す主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方の観点から、学校の教育活動全体で共通理解を図り、家庭の理解を得ることに配慮するとともに、関連する教科等において、発達の段階を考慮して、指導することが重要である。

体育・健康に関する指導は、こうした指導を相互に関連させて行うことにより、生涯にわたり楽しく明るい生活を営むための基礎づくりを目指すものである。

したがって、その指導においては、体づくり運動や各種のスポーツ活動はもとより、保険や安全に関する指導、給食を含む職に関する指導などが重視されなければならない。このような体育・健康に関する指導は、体育科の時間だけでなく家庭科や特別活動のほか、関連の教科や道徳科、総合的な学習の時間なども含めた学校の教育活動全体を通じて行うことによって、その一層の充実を図ることができる。

各学校において、体育・健康に関する指導を効果的に進めるためには、全国体力・運動能力、運動習慣等調査などを用いて児童の体力や健康状態等を的確に把握し、学校や地域の実態を踏まえて、それにふさわしい学校の全体計画を作成し、地域の関係機関・団体の協力を得つつ、計画的、計画的に指導することが重要である。

また、体育・健康に関する指導を通して、学校生活はもちろんのこと、家庭や地域社会における日常生活においても、自ら進んで運動を適切に実践する習慣を形成し、生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、児童が積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質・能力を身に付け、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮することが大切である。

【中学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月）抜粋】※高等学校においても同様

さらに、心身の健康の保持増進に関する指導においては、情報化社会の進展により、様々な健康情報や性・薬物等に関する情報の入手が容易になっていることなどから、生徒が健康情報や性に関する情報等を正しく選択して適切に行動できるようにするとともに、薬物乱用防止等の指導が一層重視されなければならない。なお、生徒が心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるようにする。

指導に当たっては、第1章総則第4の1（1）（高等学校は第1章総則第5款1（1））に示す主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方の観点から、学校の教育活動全体で共通理解を図り、家庭の理解を得ることに配慮するとともに、関連する教科等において、発達の段階を考慮して、指導することが重要である。

体育・保健体育

小学校

【小学校学習指導要領（平成29年3月）体育科 保健領域 抜粋】

2 内容 G 保健

- (2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- (イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。

【小学校学習指導要領解説 体育編（平成29年7月） 抜粋】

(2) 体の発育・発達

(イ) 思春期の体の変化

- ㊦思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることを理解できるようにする。
- ㊧思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、また、異性への関心も芽生えることについて理解できるようにする。さらに、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

中学校

【中学校学習指導要領（平成29年3月）保健体育科 保健分野 抜粋】

2 内容

(1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。

(オ) 感染症は、病原体が主な原因となって発生すること。また、感染症の多くは、感染源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

【内容の取扱い】

後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症について取り扱うこと。

(2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。

(イ) 思春期には、内分泌の動きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。

【内容の取扱い】

妊娠や出産が可能となるような成熟が始まるという観点から、受精・妊娠を取り扱うものとし、妊娠の経過は取り扱わないものとする。また、身体の機能の成熟とともに、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることなどから、異性への尊重、情報への適切な対処や行動の選択がひつようとなることについても取り扱うものとする。

【中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成29年7月） 抜粋】

(1) 健康な生活と疾病の予防

(オ) 感染症の予防

① エイズ及び性感染症の予防

エイズ及び性感染症の増加傾向と青少年の感染が社会問題になっていることから、それらの疾病概念や感染経路について理解できるようにする。また、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることを理解できるようにする。例えば、エイズの病原体はヒト免疫不全症ウイルス（HIV）であり、その主な感染経路は性的接触であることから、感染を予防するには性的接触をしないこと、コンドームを使うことなどが有効であることにも触れるようにする。

なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

(2) 心身の機能の発達と心の健康

(イ) 生殖にかかわる機能の成熟

思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。また、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

高等学校

【高等学校学習指導要領（平成30年3月）保健体育 抜粋】

3 内容

(1) 現代社会と健康

現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

(イ) 現代の感染症とその予防

感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。

(3) 生涯を通じる健康

生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

(ア) 生涯の各段階における健康

生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること

【高等学校学習指導要領解説 保健体育編（平成29年3月） 抜粋】

(1) 現代社会と健康

(イ) 現代の感染症とその予防

感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解できるようにする。

また、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。その際、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。

(3) 生涯を通じる健康

(ア) 生涯の各段階における健康

⑦思春期と健康

思春期における心身の発達や性的成熟の伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得る

ことなどに配慮することが大切である。

⑧結婚生活と健康

結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。また、健康生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。なお、妊娠のしやすさを含む男女それぞれの生殖に関わる機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。

特別活動

「性に関する指導」に係わる部分

小学校

【小学校学習指導要領（平成29年3月）より抜粋】

第6章 特別活動

〔学級活動〕

2 内容

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

【小学校学習指導要領解説 特別活動編（平成29年7月）より抜粋】

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

(略)・・・心身ともに健康で安全な生活態度の形成は、教育活動全体を通して総合的に推進するものであるが、学級活動においてもその特質を踏まえて取り上げる必要がある。(略) また、授業時数に限りがあることから、「(2)ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成」については、体育科、家庭科はもとより、各教科、総合的な学習時間等とも関連を図りながら指導することが大切である。

保健に関する指導としては、心身の発育・発達、心身の健康を高める生活、健康と環境とのかかわり、病気の予防、心の健康などがある。これらの題材を通して、児童は自分の健康状態について関心をもち、身近な生活に置ける健康上の問題を見付け、自分で判断し、処理する力や、心身の健康を保持増進する態度を養う。さら、性や薬物等に関する情報の入手が容易になるなど、児童を取り巻く環境が大きく変化している。こうした課題を乗り越えるためにも、現在及び生涯にわたって心身の健康を自分のものとして保持し、健康で安全な生活を送ることができるよう、必要な情報を児童が自ら収集し、よりよく判断し行動する力を育むことが重要である。

なお、心身の発育・発達に関する指導に当たっては、発達の段階を踏まえ、学校全体の腰痛理解を図るとともに、家庭の理解を得ることなどに配慮する必要がある。また、内容によっては養護教諭などの協力を得て指導に当たる必要がある。

中学校

【中学校学習指導要領（平成29年3月）より抜粋】

第5章 特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

2 内容

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

イ 男女相互の理解と協力

男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること

ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応

心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事。

【中学校学習指導要領解説 特別活動編（平成29年7月）より抜粋】

イ 男女相互作用の理解と協力

（略）・・・具体的には、男女相互の理解と協力、人間の尊重と男女の平等、男女共同参画社会と自分の生き方などの題材を設定し、アンケートやインタビューを基にしたり、新聞やテレビ等の資料を参考にしたりして、話し合など活動の工夫を行うことが考えられる。

また、社会科、保健体育科、技術・家庭科、道徳科などの学習とも関連させ、共に充実した学校生活を築くような主体的な意識や態度を育成するとともに、家庭や社会における男女相互の望ましい人間関係の在り方などについても、幅広く考えていくことが大切である。

なお、この内容については、性に関する指導との関連を図ることが重要であり、内容項目のウとして挙げている「性的な発達への対応」とも関連付けて、生徒の発達の段階や実態、心身の発育・発達における個人差などにも留意して、適時、適切な指導を行うことが必要である。加えて、生徒の発達の段階を踏まえることや教育の内容について学校全体で共通理解を図るとともに保護者の理解を得ること、事前に集団指導として行う内容と個別指導との内容を区別しておくなど、計画性を持って実施することが求められるところであり、適切な対応が必要である。

ウ 性的な発達への対応

（略）・・・具体的な活動の工夫として、自分が不安に感じる事、悩みやその解決方法、身近な人の青年時代等の題材を設定し、生徒が自由に話し合ったり、先輩や身近な大人にインタビューして発表したり話し合ったりするなど様々な方法が考えられる。また、思春期の心と体の発育・発達、性情報への対応や性の逸脱行動に関する事、エイズや性感染症などの予防に関する事、友情と恋愛と結婚などについての題材を設定し、資料をもとにした話し合いや、専門家の講話を聞くといった活動が考えられる。なお、保健体育（保健分野）をはじめとした各教科、道徳科等の学習との関連、学級活動の他の活動との連携について学校全体共通理解した上で、教育の内容や方法について保護者の理解を得ることが重要である。

また、思春期の心と体の発達や性については、個々の生徒の発達の段階や置かれた状況の差異が大きいことから、事前に、教職員が、集団指導と個別指導の内容を整理しておくなど計画性をもって実施する必要がある。また、指導の効果を高めるため養護教諭やスクール・カウンセラーなどの専門的な助言や協力を得ながら指導することも大切である。

高等学校

【高等学校学習指導要領（平成30年3月）より抜粋】

第5章 特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔ホームルーム活動〕

2 内容

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

イ 男女相互の理解と協力

男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること

オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

【高等学校学習指導要領解説 特別活動編（平成30年7月）より抜粋】

イ 男女相互作用の理解と協力

高校生の時期は、身体的にはほぼ成熟し、男女それぞれの性的な特徴が明確になってくる。それについて、異性への関心も高まり、異性との交友を望むようになり、意識する異性の対象がかなり特定化される傾向も強まっていく。 (略)・・・具体的には男女相互の理解と協力、人間の尊重と男女の平等、男女共同参画社会と自分の生き方などの題材を設定し、アンケートやインタビューを基にしたり、新聞やテレビ等の資料を参考にしたりして、話し合うなど活動の工夫を行うことが考えられる。

なお、「男女相互の理解と協力」については、性に関する指導との関連を図ることが大切である。性に関する指導については、青少年の性意識の変化、性モラルの低下などが指摘されていることを十分考慮し、特別活動全体を通じて行う人間としての在り方生き方に関する指導との関連を重視するとともに、特に保健体育科の「保健」との関連を図り、心身の発育・発達における個人差にも留意して、生徒の実態に基づいた指導を行うことが大切である。

オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

(略)・・・また、性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、適切な行動がとれるように指導することも大切であり、性的情報の氾濫する現代社会において、自己の行動に責任をもって生きることの大切さや、人間尊重の精神に基づく男女相互のよりよい人間関係の在り方などと結び付けて指導していくことが重要である。

(略)・・・内容によっては、養護教諭や関係団体などの協力を得ながら指導することも大切である。

2 性感染症・人工妊娠中絶の実態について

(1) 性感染症の種類 病名と男女別の症状

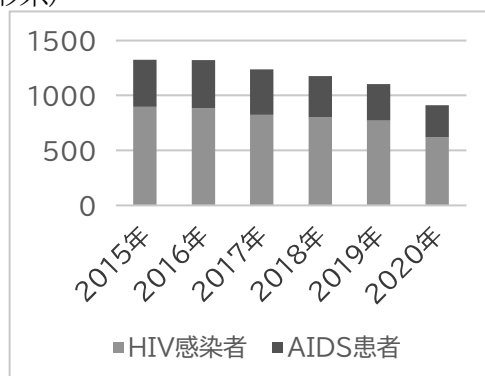
病名	男性の症状	女性の症状
梅毒	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みやかゆみのないできもの、しこり、ただれが性器や肛門、口の中にできる ・症状がでなかつたり、消えたりする場合がある ・治療せずにいると全身の皮疹・リンパ節の腫脹、さらには全身に多様な症状をきたすことがある ・妊婦の感染により早産や死産、胎児の重篤な異常につながる可能性がある ・妊娠の早期に発見し、治療すれば胎児の影響も低くなる可能性がある 	
エイズ (後天性免疫不全症候群)	<p>【急性感染期～3か月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急激なウイルスの増殖 ・ヘルパーTリンパ球の崩壊 ・発熱、倦怠感等の症状 <p>【無症状期5～10年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症状が無くてもHIV感染症進行がストップしているわけではない ・HIVはヘルパーT細胞を壊し続ける <p>【エイズ発症期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーT細胞が減り、免疫が正常に働かなくなる ・本来なら自分の力で抑えることのできる病気にかかるようになりエイズ発症 	
性器クラミジア感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・おしっこをした時の軽い痛み ・尿道から膿が出たり、かゆくなったりする ・症状がある人は半分くらい ・不妊の原因になることもある 	<ul style="list-style-type: none"> ・症状はほとんどない(初期のおりものや軽い下腹部の痛み程度) ・進行すると不正出血や性交したときは痛みがある。 ・不妊の原因になったり、妊娠中だと早期流産になったりすることがある
淋菌感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・おしっこをした時の激しい痛み ・尿道からやや黄色い白みがかった膿がでる ・精巣のあたりが腫れて熱が出る ・不妊の原因になることもある 	<ul style="list-style-type: none"> ・症状はほとんどない(初期におりものが增える、熱が出る、下腹部の痛みが出る程度)
尖圭コンジローマ	<ul style="list-style-type: none"> ・亀頭や陰のう、肛門のまわりに薄いピンク色のイボができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・外陰部、膣、肛門のまわりに薄いピンク色のイボができる
	<ul style="list-style-type: none"> ・男性女性ともに、イボの数が増え鶏のとさかのようなになる ・自覚症状はほとんどない(かゆみや軽い痛みを感じる程度) 	
性器ヘルペス	<ul style="list-style-type: none"> ・性器にかゆみのある1ミリから2ミリほどの水泡ができる ・太ももやリンパ節に腫れや痛みがあり、尿道分泌物がでる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大陰唇や小陰唇から、膣前庭部、会陰部にかけて水泡や潰瘍ができる ・太もものリンパ節の腫れや痛みがあり、子宮頸管や膀胱まで感染が広がることもある

(参考)：性感染症とその症状(厚生労働省)
梅毒ってなに？(厚生労働省)
HIV エイズってなに？(厚生労働省)

(2) 山形県における性感染症の実態

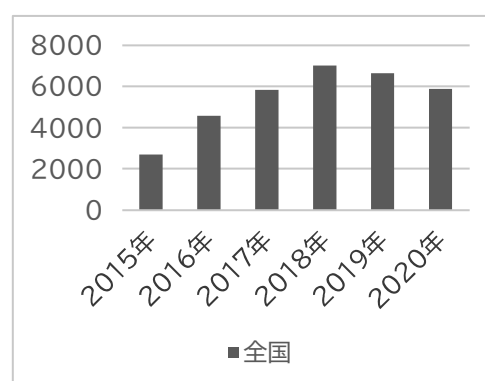
① HIV感染者及びエイズ患者の年次推移（全国・山形県）

年	全国		山形県	
	HIV感染者	AIDS患者	HIV感染者	AIDS患者
2015年	898	428	2	0
2016年	885	437	3	0
2017年	824	413	0	1
2018年	800	377	1	2
2019年	770	333	3	1
2020年	619	292	2	1



② 梅毒患者の年次推移（全国・山形県）

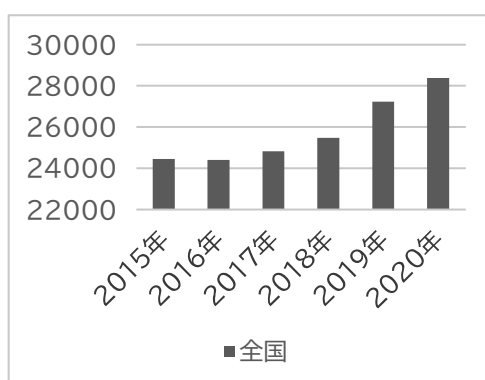
年	全国	山形県
	新規発生件数	新規発生件数
2015年	2,690	11
2016年	4,575	19
2017年	5,826	13
2018年	7,007	12
2019年	6,639	21
2020年	5,876	8



③ 性器クラミジア感染症（全国・山形県）

<定点報告>

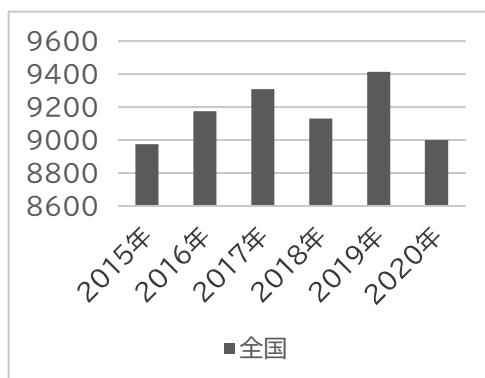
年	全国	山形県
	新規発生件数	新規発生件数
2015年	24,450	222
2016年	24,397	230
2017年	24,825	220
2018年	25,467	210
2019年	27,221	170
2020年	28,381	174



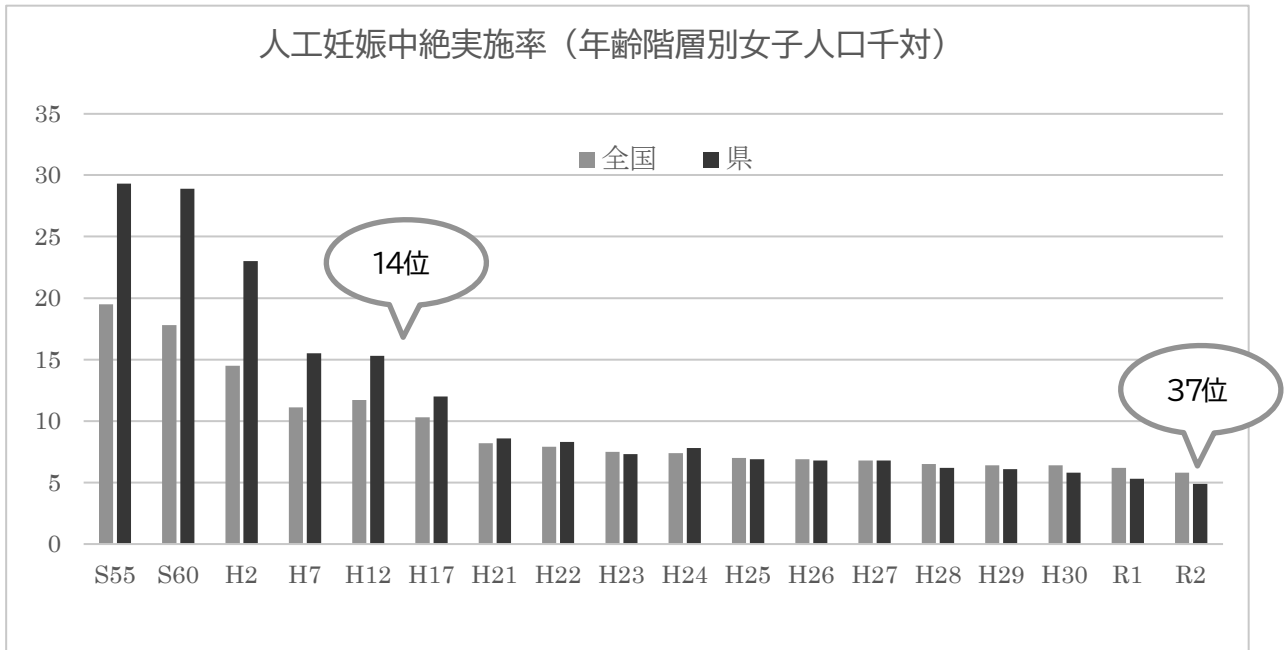
④ 性器ヘルペスウイルス感染症（全国・山形県）

<定点報告>

年	全国	山形県
	新規発生件数	新規発生件数
2015年	8,974	86
2016年	9,175	72
2017年	9,308	72
2018年	9,129	91
2019年	9,413	78
2020年	9,000	84

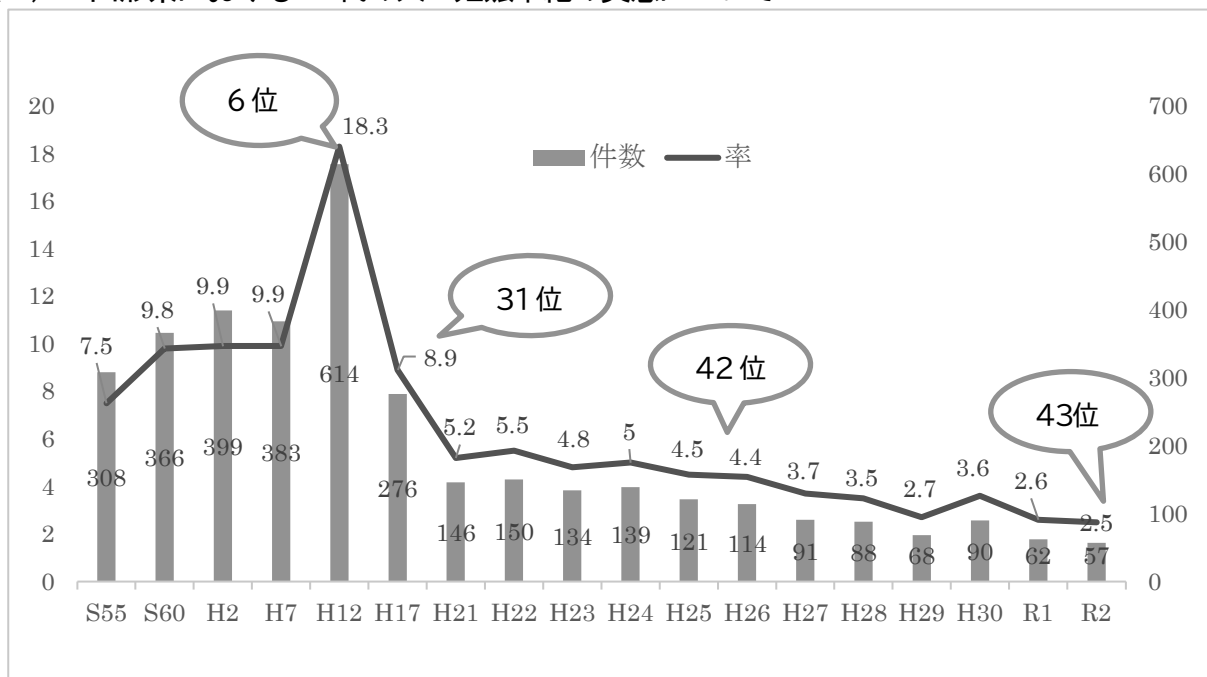


(3) 山形県における人工妊娠中絶の実態について



上の表はすべての年齢階層の人工妊娠中絶の実施率です。本県は、全国より高い数値でしたが、平成25年度から全国のと同等もしくは低い値になっていることがわかります。

(4) 山形県における10代の人工妊娠中絶の実態について



上の表は10代の人工妊娠中絶の実施率です。本県は、平成12年には全国6番目に高い値でしたが、平成20年以降は全国40位以下を推移しています。

3 発達段階の理解

保健教育は、子どもたちの発育・発達の段階を考慮して学校の教育活動全体を通じて適切に行われる必要があります。以下では、各段階に応じた特性を例示します。

	身体面の発育、発達、健康	社会性・人や集団との関わり	生活習慣の形成、知的能力等
小学生	<ul style="list-style-type: none"> ○低学年から中学年までは、身長、体重ともに緩やかに増加する。 ○思春期に入る頃には急速に発育し、大人の体に近づく。また、発育の個人差、男女差が顕著になる。 ○自己肯定感を持ち始める時期ではあるが、反面、発達の個人差も大きくみられることから、自己に対する肯定的な意識を持たず、劣等感を持ちやすくなる時期でもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○低学年では、学校の中の児童相互の関係は、個々の児童の段階にある。また、感情的な言動等が多く、入学期に小学校生活や集団生活にうまく適応できないこともある。 ○中学年では、集団における個々の結び付きや集団としての閉鎖性が次第に増え、それぞれの小集団が分立し、集団同士の対立や安易に賛成するような行動もみられるようになってくる。その後、集団の活動目標の達成に主体的に関わったり、共同的な活動に取り組んだりするようになるが、男女の活動の違いも見られるようになり、問題や葛藤も生じやすくなる。 ○高学年では、中学年までの経験を生かして、自分たちで決めた集団の活動目標をできるだけ大切にし、これを達成しようとする感情や意識が強くなる。さらに、リーダーシップを発揮しようとするなどの意識や態度も育ち、役割や責任を自覚して活動するようになる。 ○思春期特有の不安定な感情がより大きくなり、人間関係に悩んだり、先頭に立って活動することに消極的になる児童も少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○低学年では、児童自らが健康課題に気づいたり、その課題を解決しようとしたりすることは難しい。身近な大人を手本として行動を模倣する時期。 ○中学年では、生活行動の拡大により低学年で身についた生活習慣が崩れたり、自らの問題点を発見しようとする姿勢や望ましい解決方法についても曖昧であったりして、頭でわかっているも実践行動に結びつかない場合も多い。 ○高学年では、自他あるいは個・集団を理解して判断力も高まり、主体的な生活が可能になってくる。

	身体面の発育、発達、健康	社会性・人や集団との関わり	生活習慣の形成、知的能力等
中学生	<ul style="list-style-type: none"> ○発育急進期を迎えるが、個人差がある。 ○心理的に不安定な時期。 ○中学生の行動変容は、科学的あるいは感情的な背景を必要とすることが多い。 ○規則などでの管理的側面や一方的な知識の導入だけでは効果が少ないと一般的に言われている。 ○身体的にも抵抗力が向上してくることから健康を意識する場面が少なく、健康行動よりも、単に外面的な美しさを求めるような行動様式を取ることもある。 ○生活範囲の拡大や課外活動等への参加に伴う生活時間の変化や夜型の生活になるなど生活習慣に大きな変化がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分独自の内面の世界があることに気づく。 ○内面の世界が周りの友達にもあることに気づき、友人との関係が自分に意味を与えてくれると感じる。 ○大人の社会と関わる中で、大人もそれぞれ自分の世界をもちつつ、社会で責任を果たしていることに気づく。 ○社会的関心の広がり、進路選択など新しい環境や課題に直面していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○抽象的思考が発達する。 ○自分の思考過程を自覚して制御できるようになる。 ○未来への見通しをもって物事を考えられる時間的展望が成立する。 ○自我同一性が芽生える。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> ○身体的な発育・発達に心理的な発達が十分に伴わず、心身のバランスを崩し不適応に陥ってしまうこともある。 ○身体的にほぼ成熟し、男女それぞれの性的な特徴が明確になってくる。 ○異性への関心も高まり、意識する異性の特定がかなり特定化される傾向が強まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの行動は自ら選択決定したいという独立や自立の要求が高まる。 ○集団の規律や社会のルールに従い、互いに協力し合いながら各自の責任を果たすことによって、集団や社会が成り立っていることを客観的に理解できる段階にあり、人間関係に広がりが見られるとともに所属する集団や社会の中で責任や役割を担う機会が増えてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期の混乱から脱しつつ、大人の社会を展望するようになり、大人の社会でどのように生きるのかという課題に対して、真剣に模索する時期。 ○自他の生命をかけたえんないものとして尊重する態度や規律ある習慣を確立するとともに、危険を予測できる力や危険を回避し的確に行動できる力、さらに、事故の安全を確保するのみならず、身の回りの人の安全を確保する態度を育むことも求められる。

(参考) : 「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き (文部科学省)
「生きる力」を育む中学校保健教育の手引き (文部科学省)
「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引き (文部科学省)

子どもの発達段階と心の問題

小学校

中学校

高等学校

低学年

高学年

学童期

青年前期

青年中期

心身の発達段階

・知能、言語による表現力の発達
・身体的能力の発達
・他人と共感する能力の発達

・反抗、ギャングエイジ、退行
・独立への不安
・自我の不安定化
・発達の個人差
「9歳の壁」

・反抗 葛藤
・攻撃
・身体の変化の受け入れ
・親友を求め、客観視する能力の発達
・性的変化と不安
・強いものへの憧れ

・独立と親への心理的抵抗
・異性に対する関心への移行段階
・異性への関心
・自己愛模索
・親たちへの過少評価

体や行動に現れやすいサインや疾患

小1プロブレム

保健室登校

中1ギャップ

家庭内暴力

分離不安

不登校

怠学

緘黙 チック

いじめ

過換気症候群

対人恐怖症

神経性習癖
・指しゃぶり
・爪かみ
・抜毛 など

心身症

強迫性障害

統合失調症

転換性障害(ヒステリー)

LGBTs

解離性障害

学習障害(LD)

気分障害(うつ病など)

注意欠陥/多動性障害(ADHD)

手首自傷(リストカット)

広汎性発達障害(PDD)

行為障害

摂食障害

自殺企図

・自閉症

・自閉症スペクトラム(ASD)

反抗挑戦性障害

パニック障害

デートDV

性の逸脱行動

児童虐待

外傷性ストレス症候群

喫煙・飲酒・薬物乱用

社会的ひきこもり

4 性に関する相談窓口一覧【県民相談相互支援ネットワーク一覧】

令和3年6月現在

主な受付内容	相談先	電話番号	受付時間
女性を中心としての 悩み・相談等	県男女共同参画センター 「チェリア相談室」	023-629-8007	※1
DV(配偶者などからの 暴力)等に関する相談	女性相談センター「中央配偶 者暴力相談支援センター」	023-627-1196	月～金 8:30～17:15
ストーカー・DV に関す る相談	県警察本部人身安全少年課	023-626-0110	24 時間
性犯罪被害等に関する 相談	県警察本部警察安全相談室 「性犯罪被害相談電話」	#8103または 0120-39-8103	24 時間
子ども女性電話相談	県福祉相談センター	023-642-2340	年末年始を除く毎日 8:30～22:00
青少年悩みごとに関す る相談	県警察本部人身安全少年課 「ヤングテレホンコーナー」	023-642-1777	※2 24 時間
不登校・子育てなど教育 に関する悩み・相談	県教育センター 「教育相談ダイヤル」	023-654-8181	月～金 8:30～20:30 土・日・祝 8:30～17:30
いじめ・その他子供の SOSに関する相談	県教育センター 「子供 SOS ダイヤル」	0120-0-78310	24 時間
児童虐待等に関する相 談	中央児童相談所	023-627-1195	月～金 8:30～17:15
	庄内児童相談所	0235-22-0790	
非行など少年の問題に 関する相談	山形法務少年支援センター (山形少年鑑別支所)	023-642-3445	月～金 9:00～12:15 13:00～17:00
心の健康に関する相談	県精神保健福祉センター 「心の健康相談ダイヤル」	023-631-7060	月～金 9:00～12:00 13:00～17:00
	県精神保健福祉センター 「心の健康インターネット相談」	※3	24 時間
心と体の健康相談	最寄りの保健所		月～金 8:30～17:15
身近な不安や犯罪に関 する相談	県警察本部警察安全相談室 「警察総合相談」	#9110または 023-642-9110	24 時間
性暴力被害に関する相 談	やまがた性暴力被害者 サポートセンター (べにサポやまがた)	023-665-0500	月～金 10:00～21:00
犯罪被害に関する相談	県犯罪被害者総合相談窓口	023-630-3047	月～金 9:00～16:00
男性専用電話相談	県男女共同参画センター 「男性ほっとライン専用電話」	023-646-1181	毎月第1・第2・第3 水曜日 19:00～21:00
悩み全般(生活、自殺、 心、性、DV,外国人、被 災等)	よりそいホットライン	0120-279-338	24 時間

※1「チェリア相談室」月・火・水・木・土9:00～17:00 金・日・祝13:00～17:00

休館日(毎月第1・第3・第5月曜日、毎月第3日曜日・年末年始)を除く

※2「少年メール相談」 県警ホームページからご利用いただけます

※3山形県精神保健福祉センターホームページよりアクセス

【「性に関する指導」協力団体】

協力団体名	連絡先
一般社団法人 山形県医師会 	〒990-2473 山形市松栄一丁目6番73号 TEL：023-666-5200（代表）FAX：023-647-7757 ホームページ http://www.yamagata.med.or.jp/ Eメール ken-ishi@yamagata.med.or.jp
山形県産婦人科医会 	〒990-2473 山形市松栄一丁目6番73号（山形県医師会館内） TEL：023-666-5200（代表）FAX：023-647-7757 ホームページ https://www.yamagata-aog.jp/ Eメール yama.aog@gmail.com
公益社団法人 山形県看護協会 	〒990-2473 山形市松栄一丁目5番45号 TEL：023-685-8033 FAX:023-646-8868 ホームページ http://www.nurse-yamagata.or.jp/
一般社団法人 山形県助産師会 	〒990-2406 山形市神尾10 ホームページ http://www.yamagata-josanshi.net Eメール josansi55yamagata@yahoo.co.jp

【参考文献】

- ▶ 「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き（平成31年3月 文部科学省）
- ▶ 「生きる力」を育む中学校保健教育の手引き（令和2年3月 文部科学省）
- ▶ 「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引き（令和3年3月 文部科学省）
- ▶ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（令和2年3月 国立教育政策研究所）
- ▶ 現代的健康課題を抱える子どもたちへの支援（平成29年 文部科学省）
- ▶ 学校における性教育の考え方、進め方（平成11年3月 文部省）
- ▶ 高等学校学習指導要領解説「保健体育／体育編」（平成30年 文部科学省）
- ▶ 中学校学習指導要領解説「保健体育編」（平成29年 文部科学省）
- ▶ 小学校学習指導要領解説「体育編」（平成29年 文部科学省）
- ▶ 小学校学習指導要領解説「特別活動編」（平成29年 文部科学省）
- ▶ 小学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」（平成29年 文部科学省）
- ▶ これからの中学校保健学習（平成21年2月 財団法人 学校保健会）
- ▶ 小学校における「性といのちの手引き」（平成18年 山形県教育委員会）
- ▶ 「いのちの教育」の指針（平成17年3月 山形県教育委員会）
- ▶ 「生命（いのち）の安全教育」（文部科学省 内閣府）
- ▶ 「#つながるBOOK」（一般社団法人日本家族計画協会）
- ▶ 国際セクシャリティー教育ガイダンス【改訂版】（ユネスコ）

山形県子どもの健康づくり連携事業
山形県 性に関する指導資料 作成協力者

【令和元年度】

◇子どもの健康づくり連絡協議会委員

委員長	佐藤 裕恒	山形県教育庁スポーツ保健課長
委員	吉岡 信弥	山形県教育庁スポーツ保健課 保健管理指導医（吉岡病院院長）
〃	黒田 伸幸	山形県連合小学校長会 （山形市立南小学校長）
〃	阿部 雄宏	山形県中学校長会 （天童市立第三中学校長）
〃	石山 宣浩	山形県高等学校長会 （山形県立山辺高等学校長）
〃	草間 智弘	山形県特別支援学校長会 （山形県立酒田特別支援学校長）
〃	相澤久美子	山形県小・中・高等学校教育研究会 養護教諭連絡協議会会長 （山形市立第四中学校養護教諭）
〃	佐藤 正幸	山形県健康福祉部健康づくり推進課長

◆作業部会員

畔柳まゆみ	山形大学 地域教育文化学部	准教授
林 淑子	林内科・レディースクリニック	医師
井上 聡子	さとこ女性クリニック	医師
叶内 実佳	新庄市立升形小学校	養護教諭
村井 有	鶴岡市立朝陽第二小学校	養護教諭
相澤久美子	山形市立第四中学校	養護教諭
村田 記子	米沢市立第二中学校	養護教諭
長岡奈保子	県立山形東高等学校	養護教諭
西塚有佳里	県立加茂水産高等学校	養護教諭
伊藤 公子	県立山形盲学校	養護教諭
三谷 裕理	村山教育事務所	指導主事
地主 忠亮	置賜教育事務所	指導主事
佐藤 晴彦	庄内教育事務所	指導主事
黒沼 昌志	最上教育事務所	指導主事

【令和2年度】

◇子どもの健康づくり連絡協議会委員

委員長	佐藤 裕恒	山形県教育庁スポーツ保健課長
委員	吉岡 信弥	山形県教育庁スポーツ保健課 保健管理指導医（吉岡病院院長）
〃	金子 孝宏	山形県連合小学校長会 （山形市立西山形小学校長）
〃	阿部 雄宏	山形県中学校長会 （天童市立第三中学校長）
〃	石山 宣浩	山形県高等学校長会 （山形県立山辺高等学校長）
〃	草間 智弘	山形県特別支援学校長会 （山形県立酒田特別支援学校長）
〃	長岡奈保子	山形県小・中・高等学校教育研究会 養護教諭連絡協議会会長 （県立山形東高等学校養護教諭）
〃	荒木 泰子	山形県健康福祉部健康づくり推進課長

◆作業部会員

畔柳まゆみ	山形大学 地域教育文化学部	准教授
林 淑子	林内科・レディースクリニック	医師
井上 聡子	さとこ女性クリニック	医師
叶内 実佳	新庄市立升形小学校	養護教諭
青柳 圭	鶴岡市立黄金小学校	養護教諭
相澤久美子	山形市立第四中学校	養護教諭
村田 記子	米沢市立第二中学校	養護教諭
長岡奈保子	県立山形東高等学校	養護教諭
西塚有佳里	県立加茂水産高等学校	養護教諭
伊藤 公子	県立山形盲学校	養護教諭
三谷 裕理	村山教育事務所	指導主事
地主 忠亮	置賜教育事務所	指導主事
佐藤 晴彦	庄内教育事務所	指導主事
黒沼 昌志	最上教育事務所	指導主事

【令和3年度】

◇子どもの健康づくり連絡協議会委員

委員長	佐藤 裕恒	山形県教育庁スポーツ保健課長
委員	吉岡 信弥	山形県教育庁スポーツ保健課 保健管理指導医（吉岡病院院長）
〃	金子 孝宏	山形県連合小学校長会 （山形市立南沼原小学校長）
〃	戸田 一彦	山形県中学校長会 （天童市立第一中学校長）
〃	渡辺 浩之	山形県高等学校長会 （山形県立山辺高等学校長）
〃	草間 智弘	山形県特別支援学校長会 （山形県立酒田特別支援学校長）
〃	長岡奈保子	山形県小・中・高等学校教育研究会 養護教諭連絡協議会会長 （県立山形東高等学校養護教諭）
〃	城戸ロ一子	山形県健康福祉部 がん対策・健康長寿日本一推進課長

◆作業部会員

畔柳まゆみ	山形大学 地域教育文化学部	准教授
林 淑子	林内科・レディースクリニック	医師
井上 聡子	さところ女性クリニック	医師
叶内 実佳	舟形町立舟形小学校	養護教諭
青柳 圭	鶴岡市立黄金小学校	養護教諭
小池 伸子	山形市立第五中学校	養護教諭
村田 記子	米沢市立第二中学校	養護教諭
長岡奈保子	県立山形東高等学校	養護教諭
西塚有佳里	県立加茂水産高等学校	養護教諭
伊藤 公子	県立山形盲学校	養護教諭
三谷 裕理	村山教育事務所	指導主事
船山 広昭	置賜教育事務所	指導主事
守屋 孝子	庄内教育事務所	指導主事
荒木 健治	最上教育事務所	指導主事

【教育庁スポーツ保健課編集担当者】

山形県教育庁スポーツ保健課長	佐藤 裕恒 (R1～R3)
山形県教育庁スポーツ保健課保健食育主幹	田村 光絵 ((R1～R2)
山形県教育庁スポーツ保健課保健食育主幹	伊藤 由美子 (R3)
山形県教育庁スポーツ保健課課長補佐	渡邊 隆 (R1～R2)
山形県教育庁スポーツ保健課課長補佐	小笠原 美鈴 (R3)
山形県教育庁スポーツ保健課学校保健主査	佐藤 英史 (R1～R3)
山形県教育庁スポーツ保健課主査	末野 美帆 (R1～R2)
山形県教育庁スポーツ保健課主事	国井 紗恵 (R1)
山形県教育庁スポーツ保健課主査	五十嵐 久恵 (R2～R3)
山形県教育庁スポーツ保健課主事	北楯 彩乃 (R2～R3)
山形県教育庁スポーツ保健課主査	庄司 真希 (R3)

山形県 性に関する指導資料

発行年月 令和4年3月

発行者 山形県学校保健連合会・山形県教育委員会
〒990-8570

山形県山形市松波二丁目8-1

電話 023-630-2891

